

印西市の公共施設に関する
市民アンケート結果
報告書

平成 28 年 6 月

目次

1. 調査概要	1
1.1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査票配布数／回収数	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査対象者	1
(5) 調査期間	1
(6) 調査項目	1
(7) 調査地区区分	2
(8) 調査対象施設分類	3
(9) 集計等に関する留意事項	3
2. 結果考察	4
2.1. 設問毎の回答まとめ	4
2.2. 施設分類毎の回答まとめ	6
3. 調査結果	9
3.1. 回答者の属性	9
3.2. 調査結果の概要	11
(1) 問1 公共施設の利用状況 ①利用頻度	11
(2) 問1 公共施設の利用状況 ②利用しない理由	19
(3) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ①主な交通（移動）手段	20
(4) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ②所要時間	21
(5) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ①施設量	22
(6) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ②サービス内容	31
(7) 問4 公共施設の存続優先度 ①優先度	40
(8) 問4 公共施設の存続優先度 ②優先度が低い理由	50
(9) 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度	52
(10) 問6 公共施設の保全・活用方策	53
(11) 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響	54
(12) 自由意見	56
3.3. 施設分類毎の集計結果	62
4. 資料	71
4.1. 市民アンケート調査票	71
4.2. 市民アンケート依頼資料	79

1. 調査概要

1.1. 調査の概要

(1) 調査目的

印西市公共施設等総合管理計画を策定するにあたり、市民の皆様の公共施設の利用状況及び管理・運営に関する意識を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

(2) 調査票配布数／回収数

配布：3,000 票 / 回収：1,502 票 回収率 50.1%

(3) 調査方法

郵送配布による無記名式アンケート調査

※配布時に「公共施設を取り巻く現況を解説した参考資料」を添付

(4) 調査対象者

18歳以上の印西市民

※平成27年10月現在の住民基本台帳から無作為抽出

(5) 調査期間

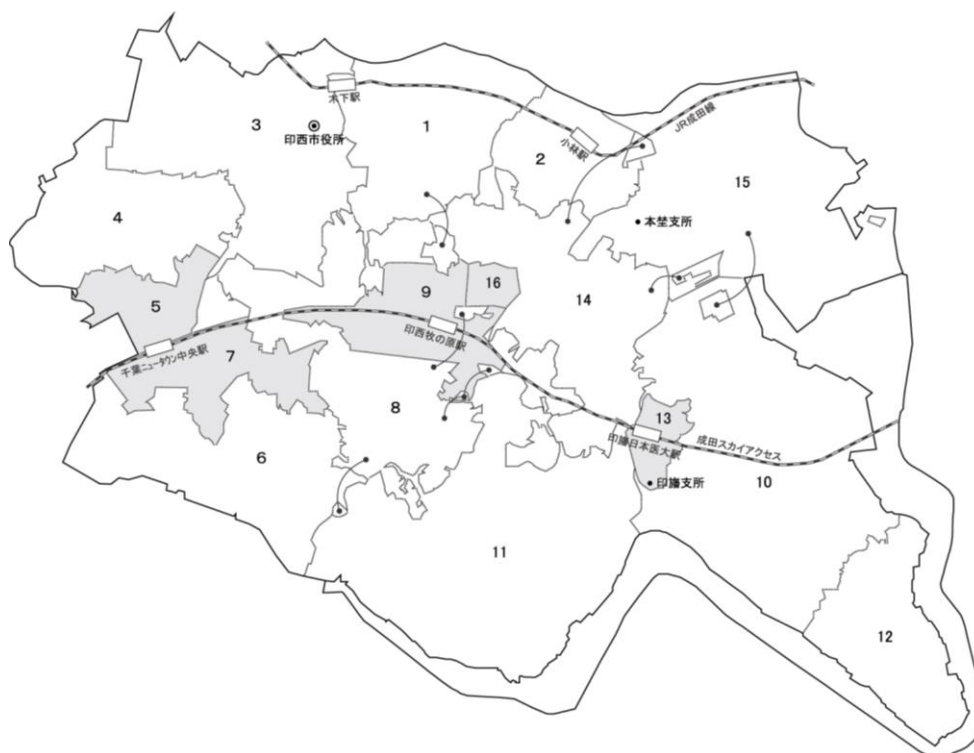
平成27年12月4日（金）から12月24日（木）までの約3週間

(6) 調査項目

- 問1 公共施設の利用状況
- 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間
- 問3 公共施設の施設量とサービス内容
- 問4 公共施設の存続優先度
- 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度
- 問6 公共施設の保全・活用方策
- 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響
- 自由意見

(7) 調査地区区分

調査地区は、本市市民満足度・重要度調査で用いた区分で設定しました。
 なお、本調査結果では、各地区の説明は地区番号を用いて行っています。



—	地区番号	地区名
印西地域	1	木下、木下南一～二丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東一～四丁目、平岡
	2	小林、小林北一～六丁目、小林浅間一～三丁目、小林大門下一～三丁目
	3	大森、鹿黒、鹿黒南一～五丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前
	4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
	5	小倉台一～四丁目、大塚一～三丁目、牧の木戸一丁目、木刈一～七丁目、中央北一～三丁目
	6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一～二丁目、結縁寺、多々羅田
	7	内野一～三丁目、原山一～三丁目、高花一～六丁目、戸神台一～二丁目、中央南一～二丁目、武西学園台一～三丁目
	8	草深、泉
	9	西の原一～五丁目、原一～四丁目、東の原一～三丁目、牧の原一～六丁目
印旛地域	10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫
	11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田
	12	平賀、平賀学園台一～三丁目
	13	美瀬一～二丁目、若荻一～四丁目、舞姫一～三丁目
本埜地域	14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木
	15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林
	16	滝野一～七丁目

※図表とも色付き地区は、ニュータウン地区です。

出典：「平成 27 年度印西市市民満足度・重要度調査報告書」(平成 28 年 3 月)

(8) 調査対象施設分類

(1) 市民文化系施設

文化ホール、公民館、地域交流館、コミュニティセンター、集会所、青年館、
地区構造改善センターなど

(2) 社会教育系施設

図書館、医科器械歴史資料館、歴史民俗資料館

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

松山下公園体育館、テニスコート、野球場など

(4) 子育て支援施設

幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館、子育て支援センター、
子どもふれあいセンターなど

(5) 保健・福祉施設

保健センター、福祉センター、高齢者就労支援センター など

(6) 行政系施設

印西市役所、支所・出張所

(7) 学校教育系施設

小学校、中学校、給食センター、教育センター

※インフラ施設などの市民の一般利用が無い施設は除く

※学校教育系施設は一部設問のみ

(9) 集計等に関する留意事項

○回答率について

- ・回答率（各回答の百分比）は少数点以下第1位を四捨五入しています。また、グラフ中、四捨五入で「0」となるものは数値表示を省略しています。
- ・各回答の百分比は、四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。

○表記について

- ・グラフで使用している「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・集計結果の表やグラフでは、スペースの都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。
- ・数値を記述するにあたり「割」での表記を用いている場合があります。その際の目安は、概ね以下のとおりとしています。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

2. 結果考察

2.1. 設問毎の回答まとめ

【問1】 公共施設の利用状況

- 「行政系施設」、「社会教育系施設」、「市民文化系施設」は比較的に利用されているとみることができま
すが、公共施設全般としては、十分に利用されているとはいえない状況となっています。
- 利用しない理由として、「利用する必要があるため」が突出していますが、「市民文化系施設」と「保
健・福祉施設」では、約 2 割の方が「施設の存在やサービス内容を知らないため」を理由として挙げ
られています。
- 「利用したことがない」の回答割合が最も高い「子育て支援施設」の利用しない理由は、「利用する必
要がないため」が 8 割台半ばと突出しておりますが、【問3】の公共施設の施設量では、「もっと多い
方が良い」の回答割合が他施設に比べて最も高く、【問4】の公共施設の存続優先度でも「優先度が
高い」の回答割合が「学校教育系施設」に次いで高くなっています。

【問2】 公共施設利用時の交通手段と所要時間

- 基本的に「自家用車」での利用割合が高いことから、「スポーツ・レクリエーション系施設」「行政系
施設：市役所」以外の施設分類で、4 割を超える方が 15 分以内に到達できる利用環境がある調査結果
となっています。
- 所要時間が 30 分以上かかるという回答割合が高い施設は、「スポーツ・レクリエーション系施設」「行
政系施設：市役所」で、1 割以上を占めています。

【問3】 公共施設の施設量とサービス内容

- 「子育て支援施設」を除くすべての施設で施設量は「ちょうど良い」の回答が最も高くなっています。
「子育て支援施設」「スポーツ・レクリエーション施設」においては、「もっと多い方が良い」の回答
が他施設より高くなっています。
- サービス内容の満足度は、「社会教育系施設」、「行政系施設：支所・出張所」を除くすべての施設にて、
「どちらともいえない」の回答が最も高くなっています。

【問4】 公共施設の存続優先度

- 「子育て支援施設」「学校教育系施設」「行政系施設：支所・出張所」が上位となっています。公共施設全体としては縮減の方向性を認知しつつも、これらの施設分類の重要性について認識されている事が分かります。また、「学校教育系施設」、「子育て支援施設」については30-40歳代の子育て世代からのニーズが他世代に比べ高くなっており、需要に対応していくことが必要です。
- 施設未利用者の回答傾向として、少子高齢化社会の進行と密接に関連する「子育て支援施設」「保健・福祉施設」の優先度が高い結果となっています。
- 「行政系施設：市役所庁舎、支所・出張所」においては、優先度が高い一方、他施設との統合の可能性や管理・運営に要する費用について、考慮が求められていることが分かりました。

【問5】 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度

- 6割台半ばの方（「よく知っている（14%）」「なんとなく知っている（49%）」）が、すべての公共施設や機能を維持し続けることが難しいなど、社会情勢の変化を認知されているとみることができます。

【問6】 公共施設の保全・活用方策

- 民間のノウハウを取り入れることによるコストカットについて実施すべきとの意見が突出して多く、次いで施設の総量縮減・機能集約、近隣市との施設共用についての意見となっています。今後、縮減等を検討する際は、このような視点が求められていると言えます。
- 問4の存続優先度が低い理由に関する設問では、「市民文化系施設」、「スポーツ・レクリエーション系施設」を除くすべての施設で、「他の施設に統合ができそうだから」が回答の1割台半ば以上を占めています。複合化検討の際にはこれらの施設を対象とすることも考えられます。

【問7】 公共施設の統廃合と交通手段への影響

- 全体としては、交通手段や駐車場が整備されれば、公共施設の統廃合に伴い距離が遠くなる事が許容されるとみることができます。
- 年齢別に確認すると、年齢層が上がるごとに「公共交通機関等が充実されれば利用できる」が増える一方、「駐車場が広ければ利用できる」が減る傾向です。今後、少子高齢化が進展する事を踏まえると、「公共交通機関等の充実」への期待が高いとみることができます。

2.2. 施設分類毎の回答まとめ

市民文化系施設

- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は「30分未満」が多い結果になっています。次いで、徒歩での利用が多く、所要時間は「15分未満」が多い結果になっています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が6割を超えています。これらのことから、公共交通機関の充実や自家用車で来館しやすい環境の整備等が行われれば、統廃合等についての理解が得られると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、サービス向上のため施設運営のあり方そのものの見直しを期待されていると考えられます。また、これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」や「施設の長寿命化に関する方策」が期待されていると考えられます。

社会教育系施設

- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は「15分未満」が最も多い結果になっています。次いで、徒歩での利用が多く、所要時間は「15分未満」が多い結果になっています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が6割台半ばを超えています。これらのことから、公共交通機関の充実や自家用車で来館しやすい環境の整備等が行われれば、統廃合等についての理解が得られると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、両項目とも平均値より高いため、現状のサービス水準を維持しつつさらなる向上が期待されていると考えられます。また、これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」が特に期待されていると考えられます。

スポーツ・レクリエーション施設

- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は「15-30分未満」が最も多い結果になっています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「たまにしか利用しない施設なら構わない」が最も高い結果になっており、他施設に比べ利用者が限られている事が推測できます。また、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計は、5割を超えています。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、両項目ともほぼ平均値であるため、サービス水準の向上を図るとともに、運営方法等の見直しが期待されていると考えられます。また、これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」が特に期待されていると考えられます。

子育て支援施設

- 施設量では、「もっと多い方が良い」が5割を占めており、全ての施設分類において、最も多い結果になっています。
- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は「15分未満」が最も多い結果になっています。次いで、徒歩での利用が多く、こちらも所要時間は「15分未満」が多くを占めています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が5割を超えています。公共交通機関の充実や自家用車で来館しやすい環境の整備等が行われれば、統廃合等についての理解が得られると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、優先度が最も高いながらも、満足度は他施設より低いため、サービス水準の向上が特に期待されていると考えられます。また、推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」や「近隣の市との施設の共用に関する方策」が期待されていると考えられます。

保健・福祉施設

- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は、自分で運転される方は「15分未満」が多く、他の方に送迎してもらう方は「15-30分未満」が多い結果になっています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」が最も多く、「駐車場が広ければ利用できる」と合わせると回答の6割台半ばを占めています。自家用車の利用がいずれ困難になることへの懸念等により、代替交通手段の充実が期待されていると考えられます。一方、交通手段等の整備により利便性が向上すれば、統廃合等についての理解が得られると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、優先度は平均値ながらも比較的満足度が低いため、それぞれの向上を図ることが期待されていると考えられます。これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」が特に期待されており、また、他施設に比べ、「民間施設利用への助成に関する方策」の充実も期待されていると考えられます。

行政系施設：市役所庁舎

- 多くの利用者は「自家用車」で来庁されており、その所要時間は「15-30分未満」が最も多い結果になっています。次いで、自転車での利用が多く、同様に「15-30分未満」が多くを占めています。他施設に比べ、時間を要されている事が分かる結果となっています。
- 「公共交通機関等が充実できれば利用できる」が最も多く、「駐車場が広ければ利用できる」と合わせると回答の約8割を占めています。公共交通機関の充実や自家用車で来庁しやすい環境の整備等が期待されていると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、それぞれの向上のため、施設運営のあり方そのものを見直しが期待されていると言えます。また、これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」や「施設総量削減に関する方策」、「近隣の市との施設の共用に関する方策」等が中心に期待されていると考えられます。

行政系施設：支所・出張所

- 多くの利用者は「自家用車」で来館されており、その所要時間は「15分未満」が最も多い結果になっています。また、他の交通手段でも、所要時間は「15分未満」が最も多い結果になっています。
- 統廃合による交通手段への影響に関する設問では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が6割台半ば以上を占めています。これらのことから、公共交通機関の充実や自家用車で来館しやすい環境の整備等が行われれば、統廃合等についての理解が得られると考えられます。
- サービス内容と存続優先度の関係からは、現状のサービス水準を維持しつつも、施設運営方法等のあり方の見直しが期待されていると考えられます。また、これらを推進するための方策として、「民間ノウハウ・資金活用に関する方策」や「施設の長寿命化に関する方策」が期待されていると考えられます。

3. 調査結果

3.1. 回答者の属性

【回答者数=1,502】

性別						
男性		女性				無回答
43.9% (659人)		55.1% (827人)				1.1% (16人)
年齢						
18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答
10.9% (164人)	15.3% (230人)	15.8% (237人)	17.5% (263人)	23.4% (351人)	16.5% (248人)	0.6% (9人)
職業						
会社員 (公務員含む)	自営業 (農業従事含む)	パートタイマー・ アルバイト (契約社員含む)	学生	無職 (家事専業含む)	その他	無回答
34.0% (510人)	6.7% (101人)	17.9% (269人)	4.1% (61人)	33.4% (501人)	3.3% (49人)	0.7% (11人)
家族構成						
ひとり暮らし (単身世帯)	夫婦のみ	親と子 (2世代)	親と子と孫 (3世代以上)	その他	無回答	
5.5% (83人)	25.6% (385人)	55.3% (831人)	9.7% (145人)	3.0% (45人)	0.9% (13人)	
地域活動の参加状況						
常に参加している	ほとんど参加している	たまに参加している	参加していない	無回答		
8.1% (122人)	16.7% (251人)	38.5% (578人)	35.8% (537人)	0.9% (14人)		

居住地区			
	地区番号	地区名	回答数
印西地域	1	木下、木下南一～二丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東一～四丁目、平岡	6.4% (96人)
	2	小林、小林北一～六丁目、小林浅間一～三丁目、小林大門下一～三丁目	7.6% (114人)
	3	大森、鹿黒、鹿黒南一～五丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前	2.1% (31人)
	4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉	1.1% (17人)
	5	小倉台一～四丁目、大塚一～三丁目、 牧の木戸一丁目、木刈一～七丁目、中央北一～三丁目	17.5% (263人)
	6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一～二丁目、結縁寺、多々羅田	3.1% (46人)
	7	内野一～三丁目、原山一～三丁目、高花一～六丁目、 戸神台一～二丁目、中央南一～二丁目、武西学園台一～三丁目	20.6% (310人)
	8	草深、泉	3.1% (47人)
	9	西の原一～五丁目、原一～四丁目、東の原一～三丁目、牧の原一～六丁目	14.4% (217人)
印旛地域	10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫	2.7% (41人)
	11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田	2.3% (35人)
	12	平賀、平賀学園台一～三丁目	3.5% (52人)
	13	美瀬一～二丁目、若荻一～四丁目、舞姫一～三丁目	4.9% (73人)
本埜地域	14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木	1.7% (26人)
	15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、 甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林	2.3% (35人)
	16	滝野一～七丁目	5.4% (81人)
		無 回 答	1.2% (18人)

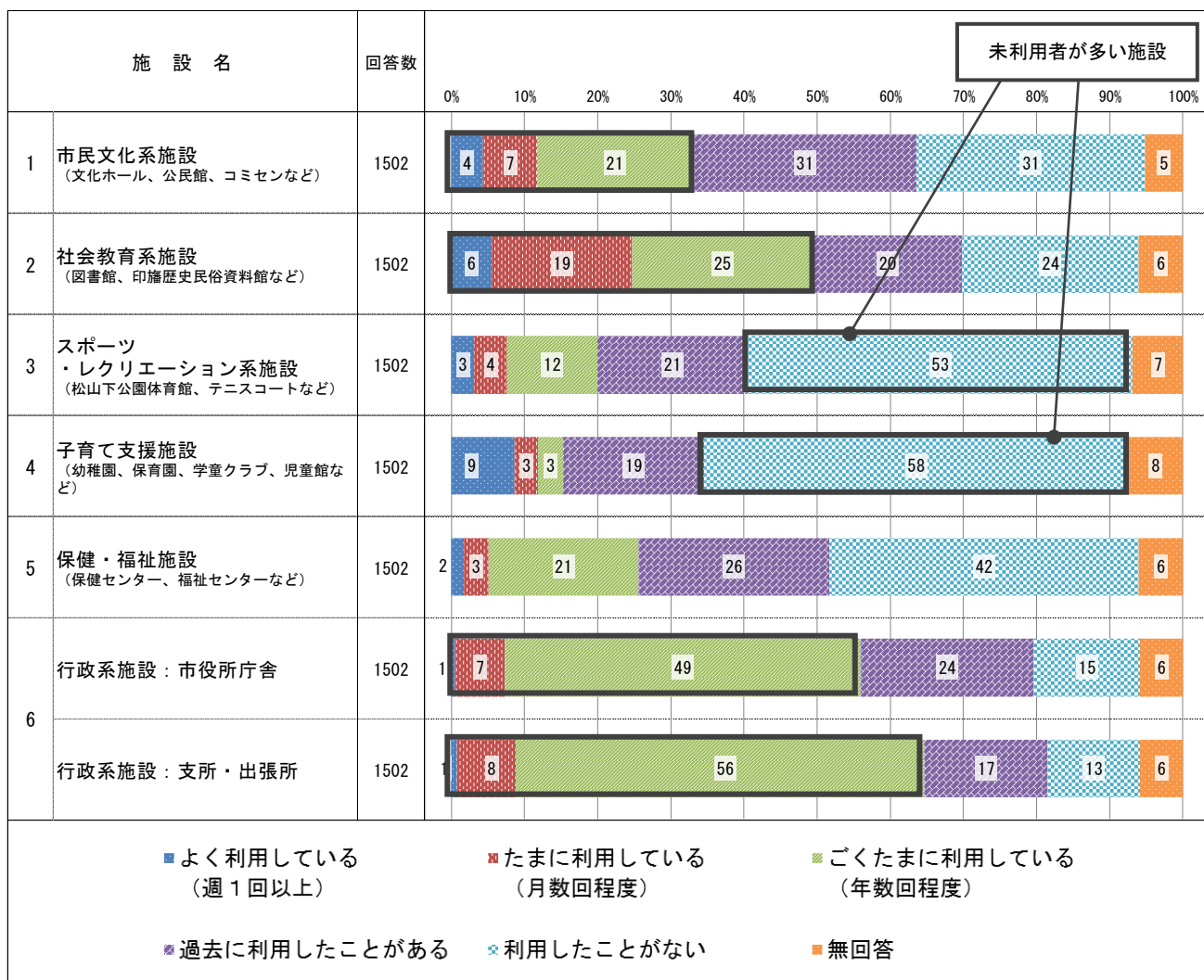
※色付き地区は、ニュータウン地区です。

3.2. 調査結果の概要

(1) 問1 公共施設の利用状況 ①利用頻度

あなたは下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選んでください。

- 「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合が最も高い施設は行政系施設（支所・出張所：65%、市役所庁舎：57%）です。次いで、社会教育系施設（50%）、市民文化系施設（32%）が高くなっています。
- 「利用したことがない」の回答割合が最も高い施設は子育て支援施設（58%）です。次いで、スポーツ・レクリエーション施設（53%）が高くなっています。

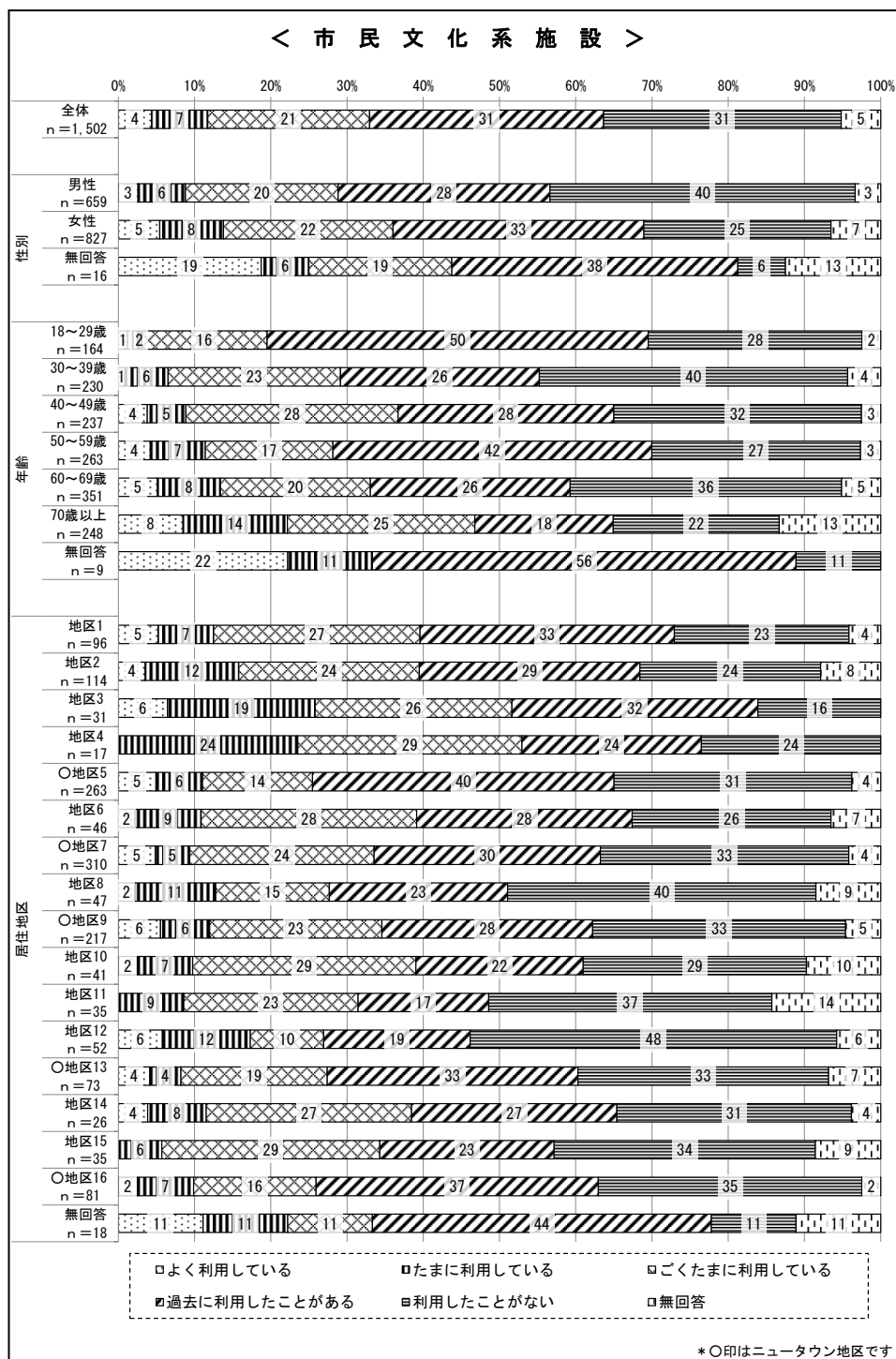


は、傾向が顕著な回答を示しています。

<属性別の回答傾向>

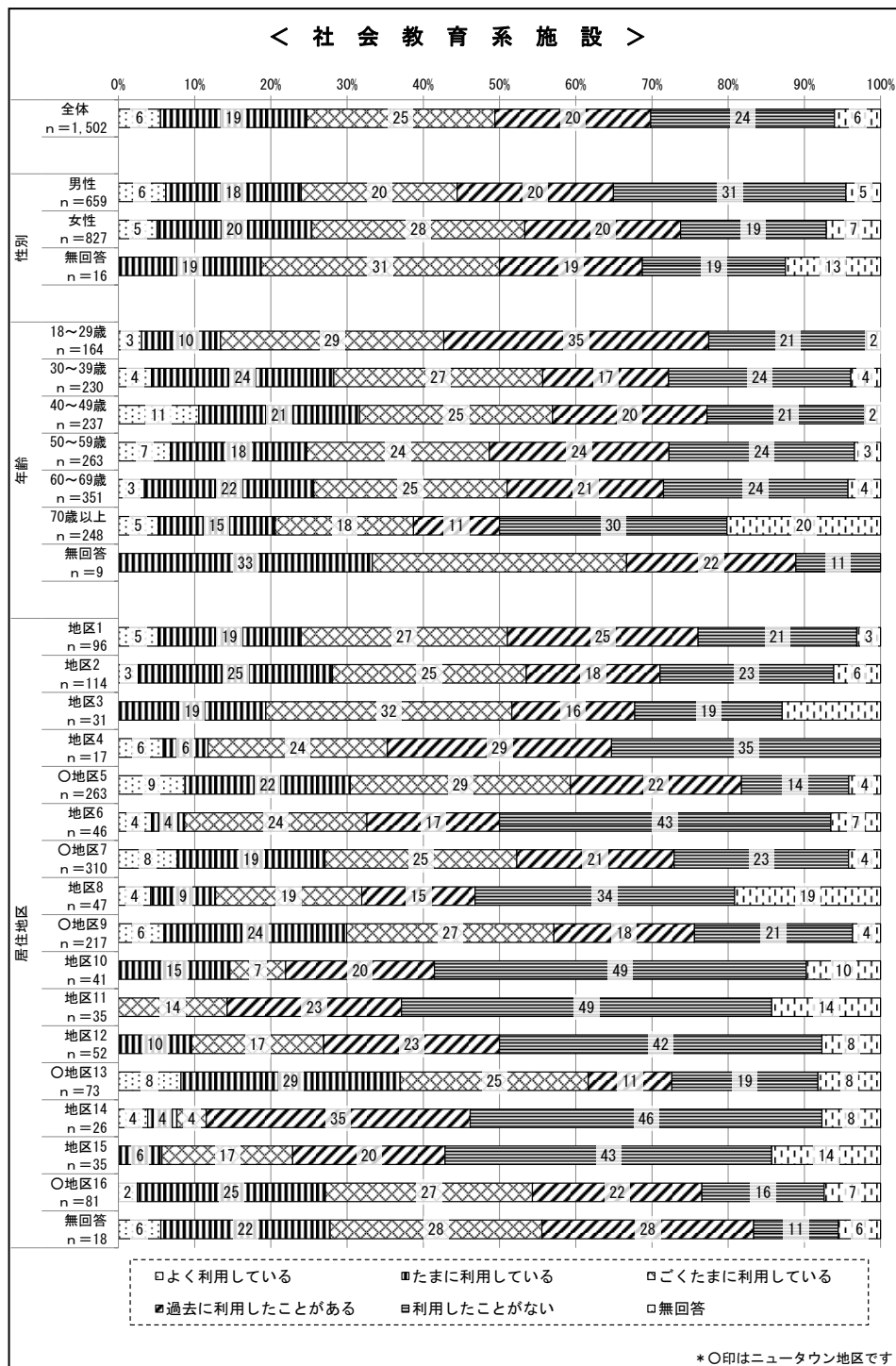
■市民文化系施設

- 男女別にみると、「女性（35%）」の方が「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は高いです。
- 年齢別にみると、「70歳以上（47%）」の利用割合が最も高く、次いで「40-49歳（37%）」となっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、利用割合が高い傾向にあります。特に「地区4（53%）」「地区3（51%）」の利用割合が高くなっています。



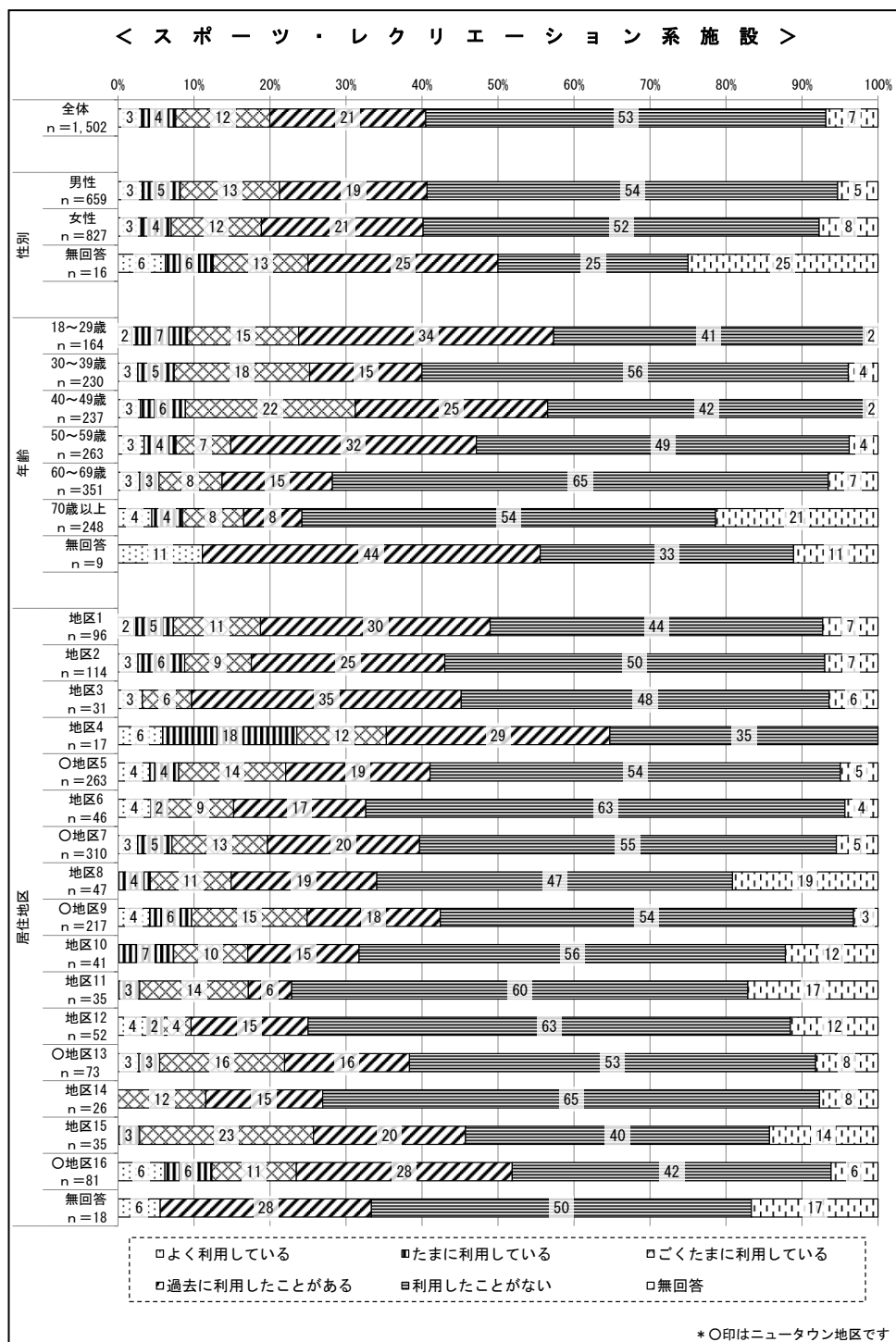
■社会教育系施設

- 男女別にみると、「女性（53%）」の方が「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は高いです。
- 年齢別にみると、「40-49歳（57%）」の利用割合が最も高く、次いで「30-39歳（55%）」となっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン外の地区に比べ、ニュータウン地区の方が、利用割合が高い傾向にあり、特に「地区13（62%）」「地区5（60%）」の利用割合が高くなっています。



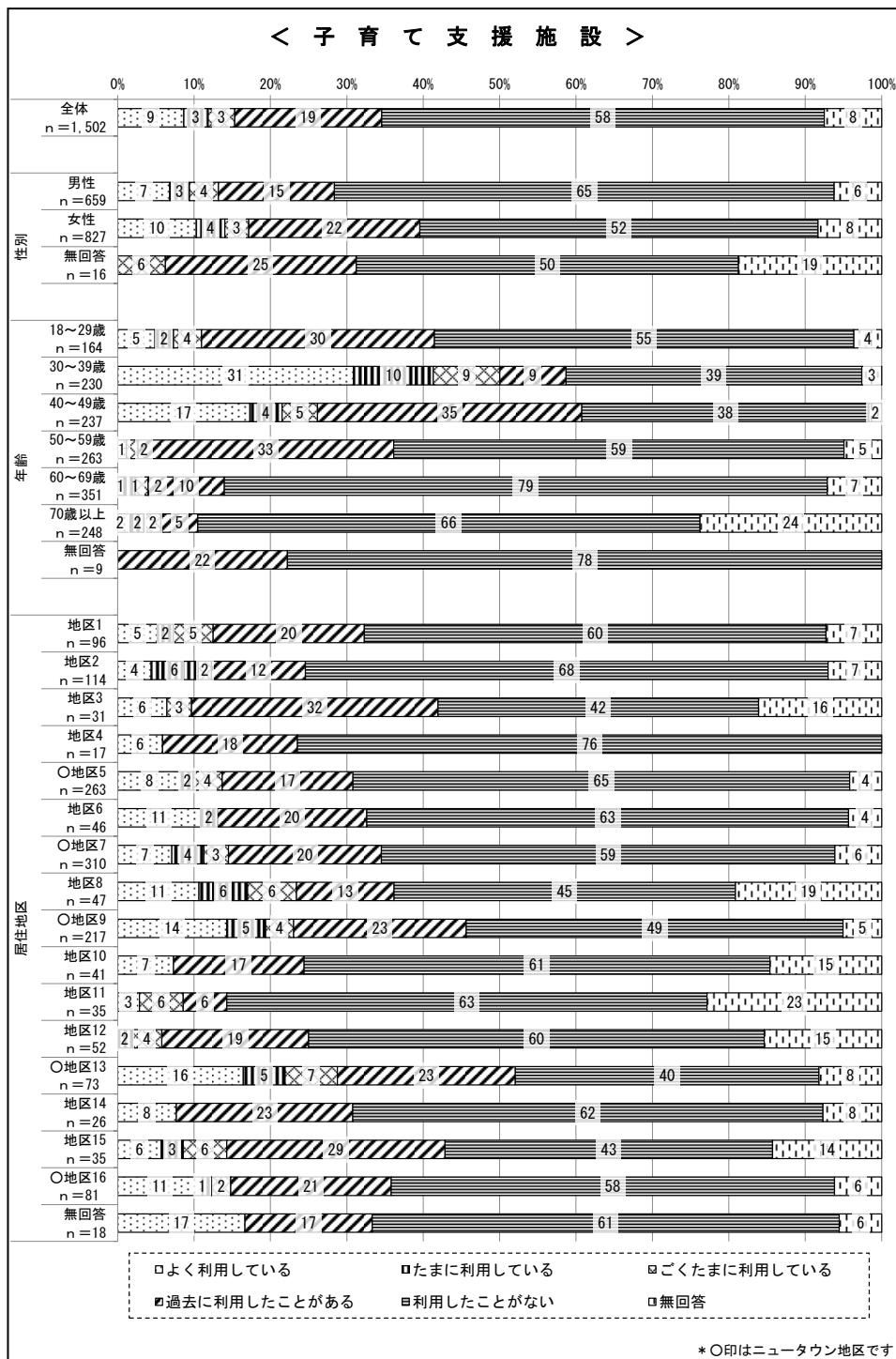
■ スポーツ・レクリエーション系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は「40-49歳（31%）」が最も高く、次いで「30-39歳（26%）」となっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、利用割合が高い傾向にあります。特に、「地区4（36%）」「地区15（26%）」の利用割合が高くなっています。



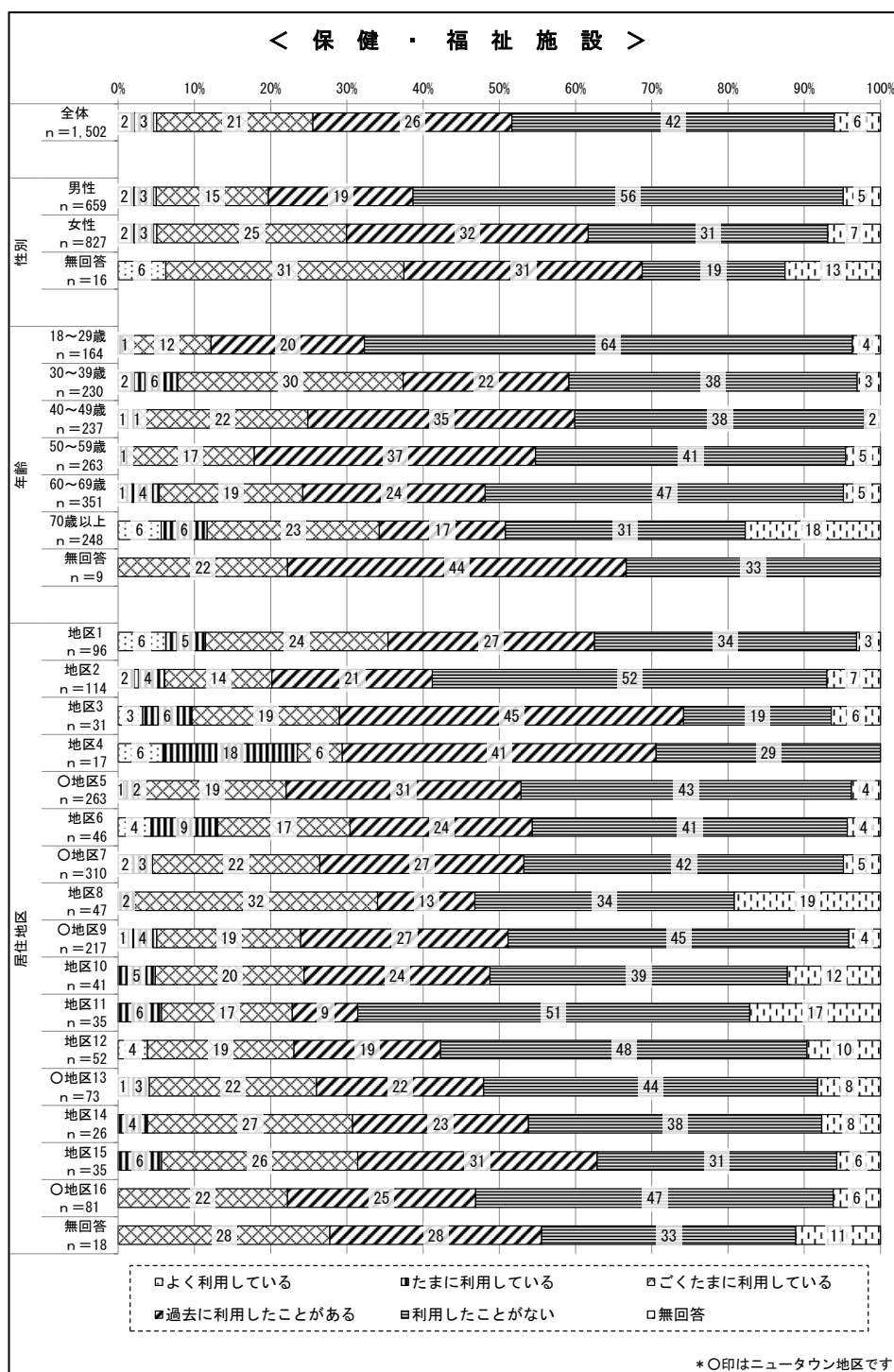
■子育て支援施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は「30-39歳（50%）」が最も高く、次いで「40-49歳（26%）」となっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン外の地区に比べ、ニュータウン地区の方が、利用割合が高い傾向にあり、特に「地区13（28%）」「地区9（23%）」「地区8（23%）」の利用割合が高くなっています。



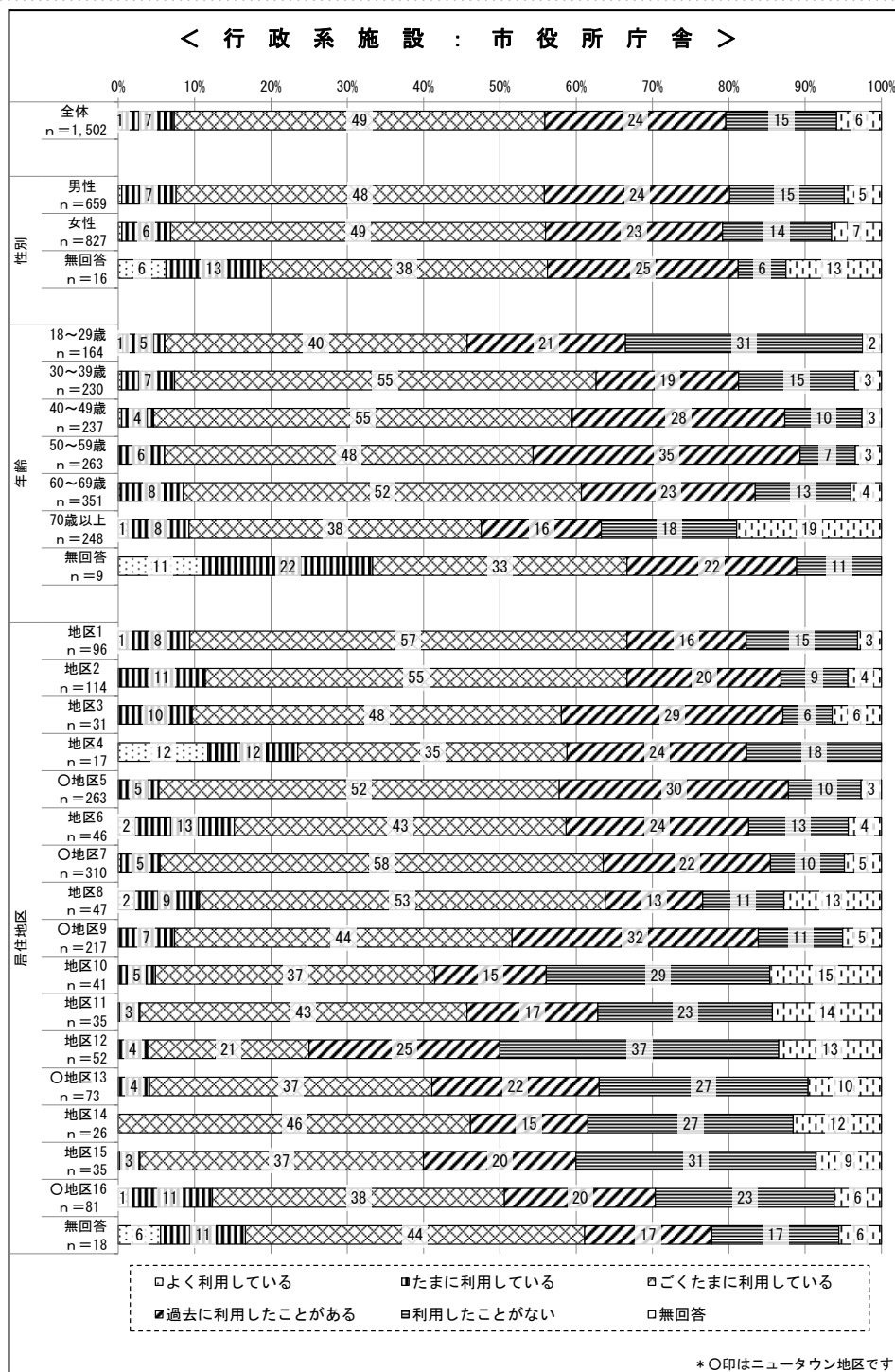
■保健・福祉施設

- 男女別にみると、「女性（30%）」の方が「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）が高いです。
- 年齢別にみると、「30-39歳（38%）」「70歳以上（35%）」の順に利用割合が高くなっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、利用割合が高い傾向にあり、特に「地区1（35%）」「地区8（34%）」の利用割合が高くなっています。



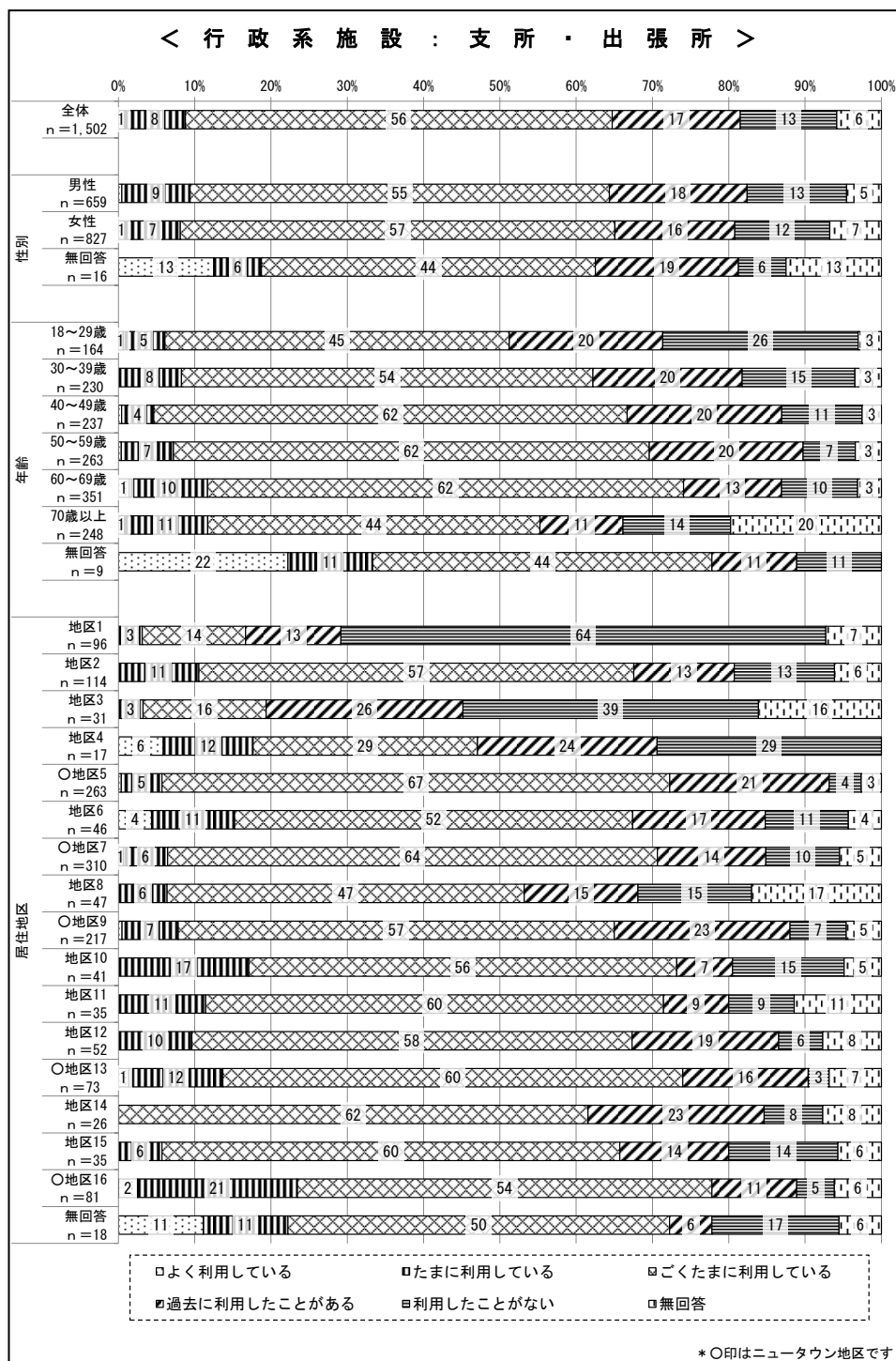
■行政系施設：市役所庁舎

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は、「18-29歳（46%）」「70歳以上（47%）」を除く年齢層では利用割合が5割台半ばを超えており、「30-39歳（62%）」「60-69歳（60%）」の順に高くなっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン地区内外の傾向の差が見られませんが、「地区10-15」の利用割合が5割を切っており、特に「地区12（25%）」の利用割合が低くなっています。



■行政系施設：支所・出張所

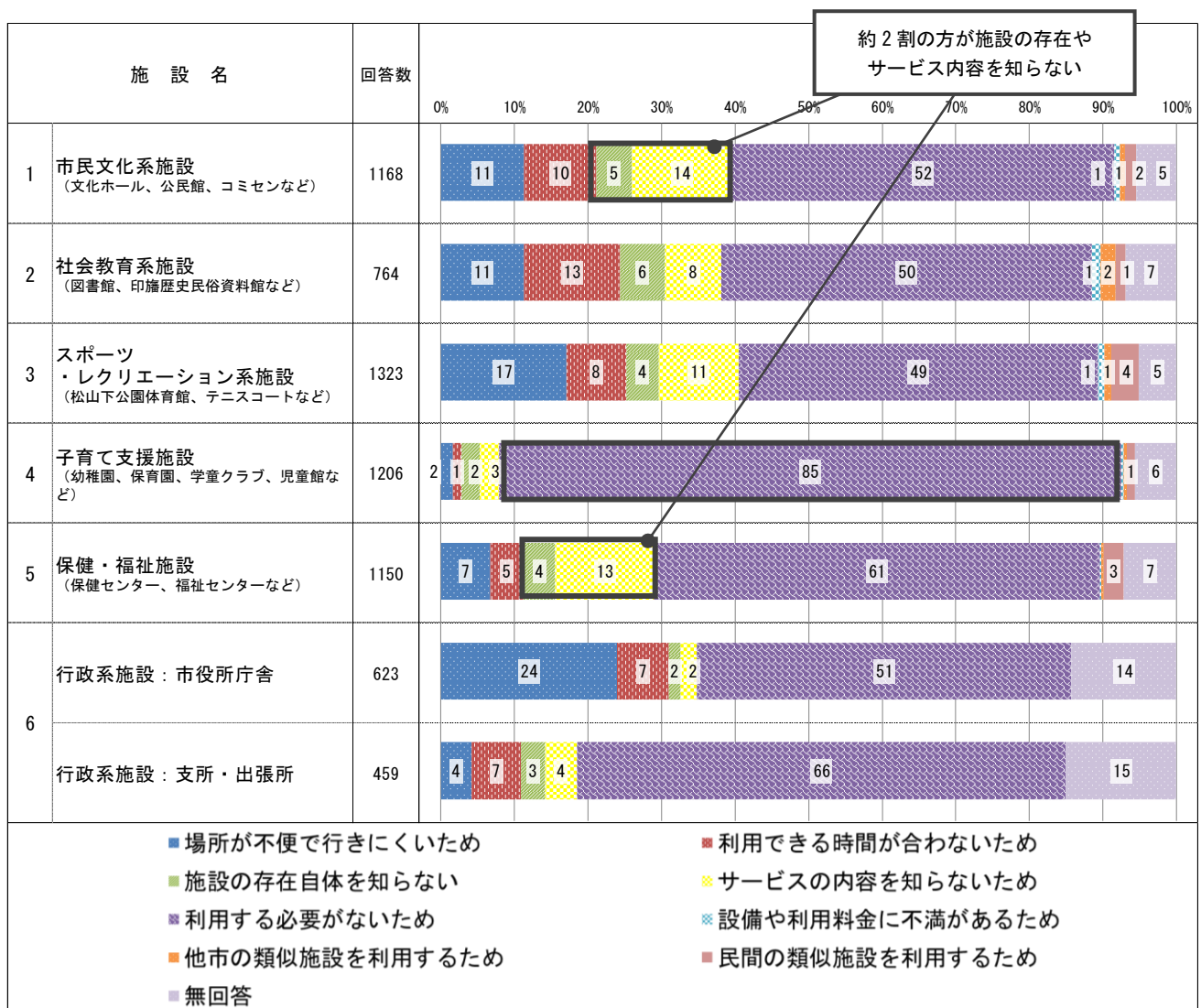
- 男女別にみると、「傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合（以下「利用割合」とする）は全体的に高い傾向にあります。どの年齢層でも利用割合が5割を超えており、「60-69歳（73%）」「50-59歳（69%）」の順に高くなっています。
- 地区別にみると、利用割合はニュータウン地区内外の傾向の差はみられませんが、「地区3（19%）」「地区1（17%）」の利用割合は低くなっています。



(2) 問1 公共施設の利用状況 ②利用しない理由

「①利用頻度」で「過去に利用したことがある」又は「利用したことがない」を選択した場合は、「②利用しない理由」よりその理由を選んでください。(複数可)

- 公共施設を利用しない理由は、すべての施設で「利用する必要がないため」が突出して高くなっています。
- 行政系施設：市役所庁舎（24%）とスポーツ・レクリエーション系施設（17%）では「場所が不便で行きにくい」が他施設に比べ回答割合が高くなっています。
- 社会教育系施設（13%）と市民文化系施設（10%）では「利用できる時間が合わない」が、他施設に比べ回答割合が高くなっています。
- 市民文化系施設、保健・福祉施設、スポーツ・レクリエーション系施設は「施設の存在自体を知らない」と「サービス内容を知らない」の合計割合が、約2割を占めています。

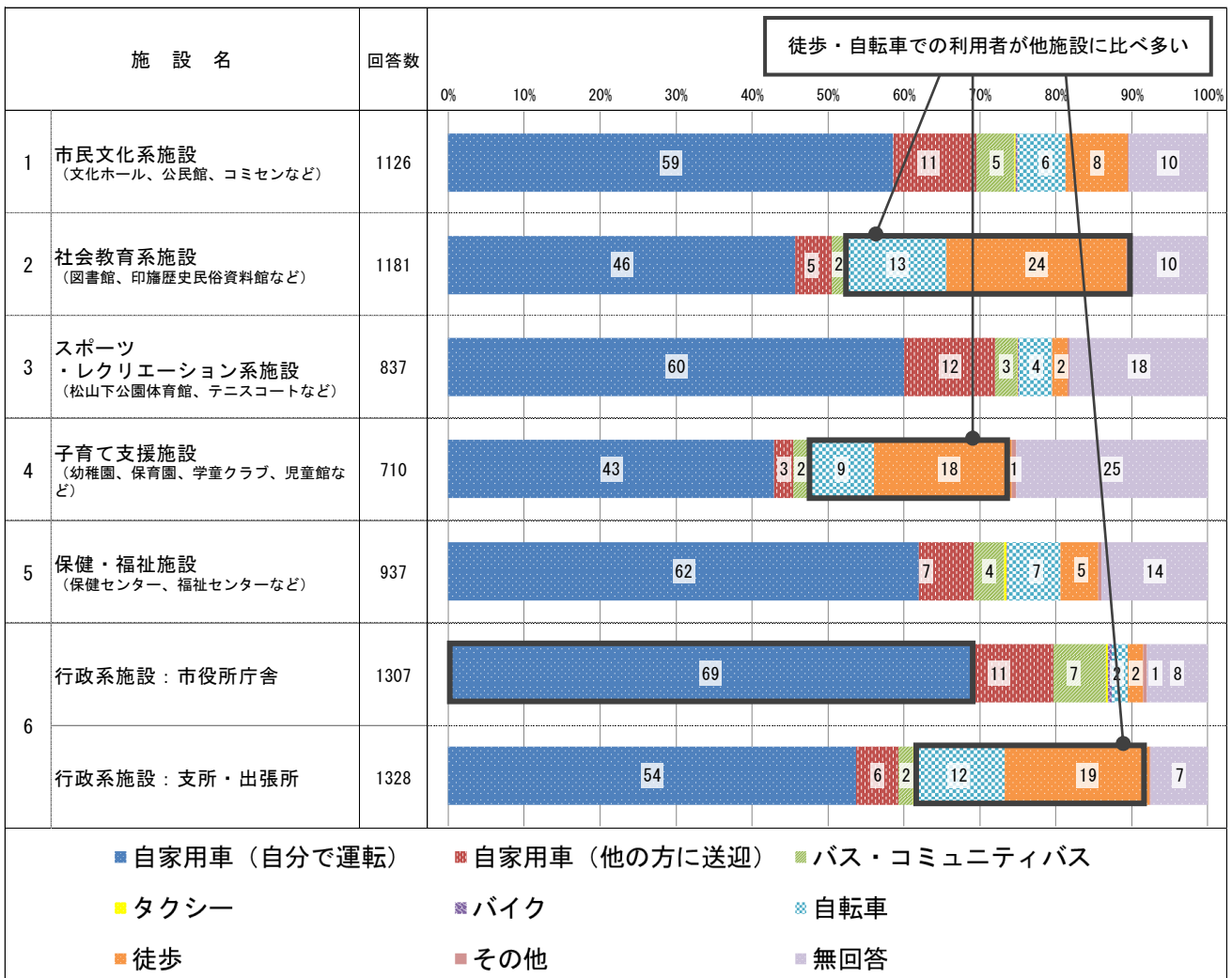


は、傾向が顕著な回答を示しています。

(3) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ①主な交通（移動）手段

あなたは下表に示す公共施設を利用されたとき、主にどの交通（移動）手段を使われましたか。対象施設ごとに、主な交通手段を一つずつ選んでください。

- すべての施設で「自家用車（自分で運転）」の回答割合が突出して高くなっています。
- また、社会教育系施設と子育て支援施設を除く施設は、「自家用車（自分で運転）」と「自家用車（他の方に送迎）」の合計が回答割合の6割以上を占めています。
- 社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所、子育て支援施設では「徒歩」と「自転車」の合計が、回答割合の約3割以上を占めています。
- その他の記述回答では、行政系施設：市役所庁舎への交通手段として、「電車」を使っている旨の回答がありました。

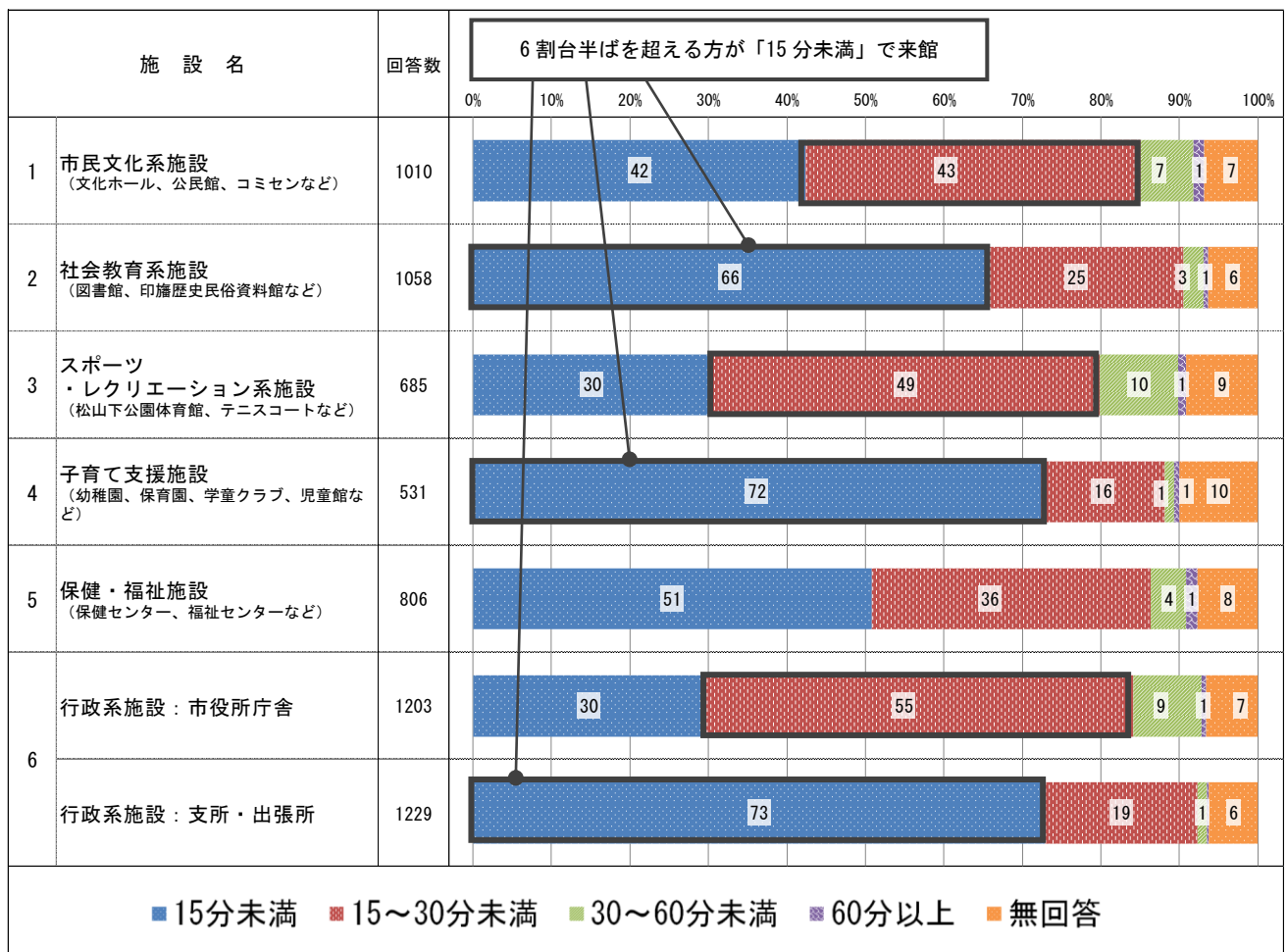


徒歩・自転車 は、傾向が顕著な回答を示しています。

(4) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ②所要時間

主な交通（移動）手段の所要時間はどれぐらいでしたか。対象施設ごとに、所要時間を一つずつ選んでください。なお、交通（移動）手段で「利用しない（したことがない）」を選択した場合は、所要時間の記入は不要です。

- 行政系施設：支所・出張所（73%）、子育て支援施設（72%）、社会教育系施設（66%）では、6割台半ばを超える方が「15分未満」で来館されています。
- 行政系施設：市役所庁舎（55%）、スポーツ・レクリエーション系施設（49%）、市民文化系施設（43%）では、「15-30分未満」の回答が、他施設に比べ高くなっています。
- すべての施設において、多くの方の所要時間は「30分未満」となっています。



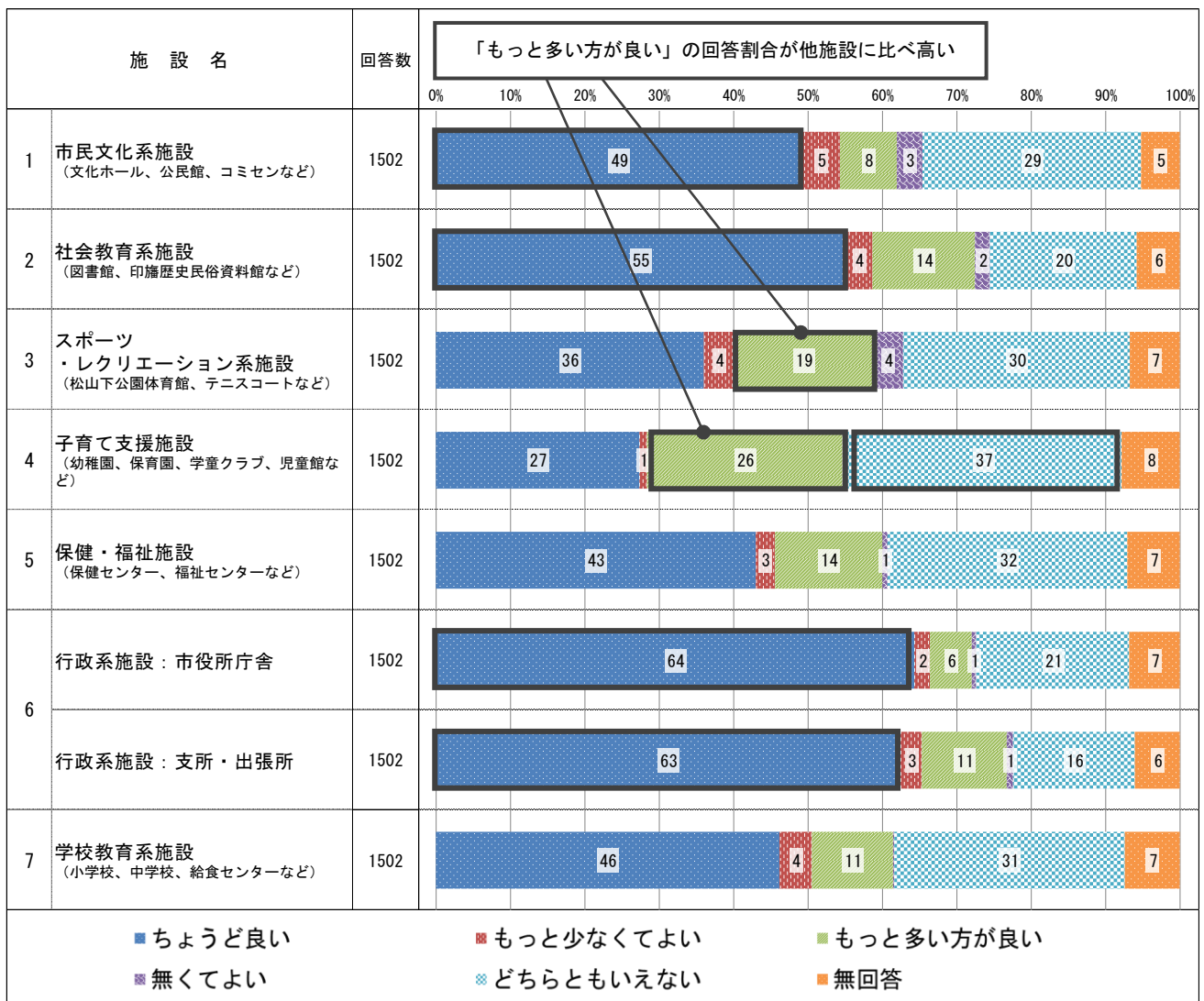
6割台半ばを超える方が「15分未満」で来館 は、傾向が顕著な回答を示しています。

(5) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ①施設量

あなたは、下表に示す公共施設の量に満足していますか。対象施設ごとにあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

○子育て支援施設を除いた施設は、「ちょうど良い」の回答割合が最も高くなっています。
 特に行政系施設：市役所庁舎（64%）、行政系施設：支所・出張所（63%）、社会教育系施設（55%）、市民文化系施設（49%）では高くなっています。

○子育て支援施設（26%）、スポーツ・レクリエーション系施設（19%）では、他施設に比べ、「もっと多い方が良い」の回答割合が高くなっています。

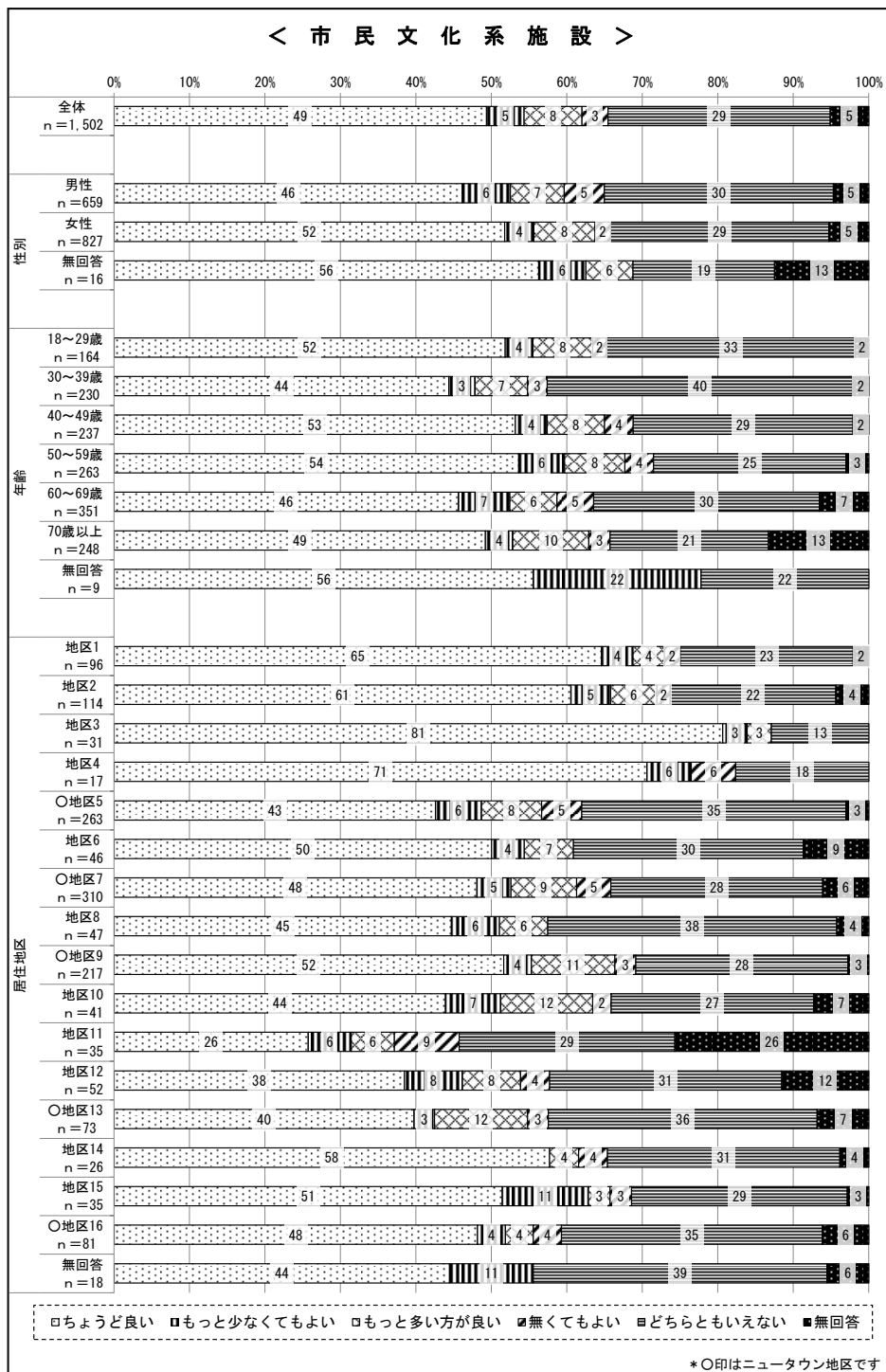


 は、傾向が顕著な回答を示しています。

<属性別の回答傾向>

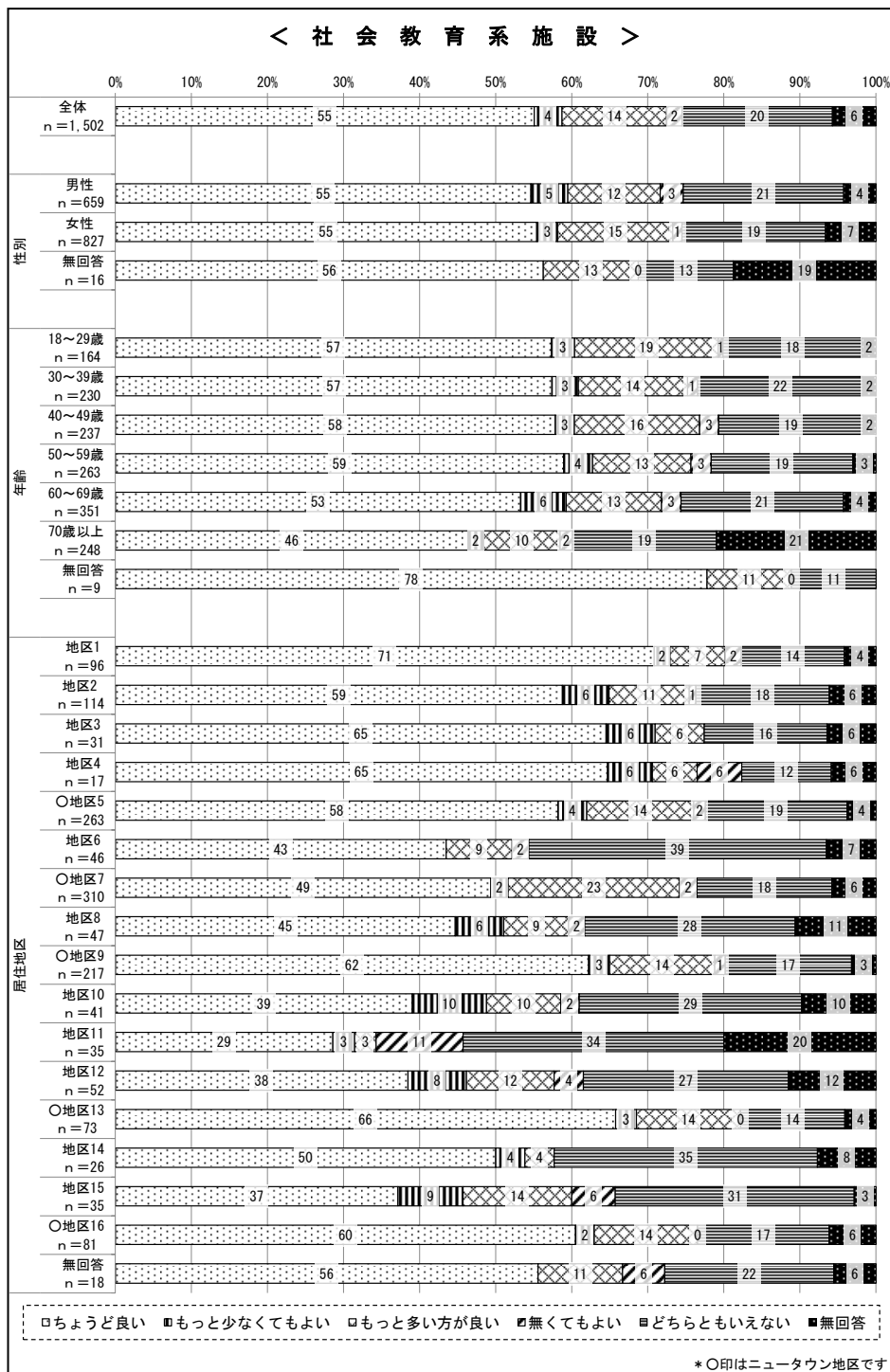
■ 市民文化系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別でみると、全年齢層とも「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。傾向の差はほとんどみられません。
- 地区別にみると、「地区 11」を除き「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「地区 15 (11%)」のみ「もっと少なくとも良い」が1割を超えています。



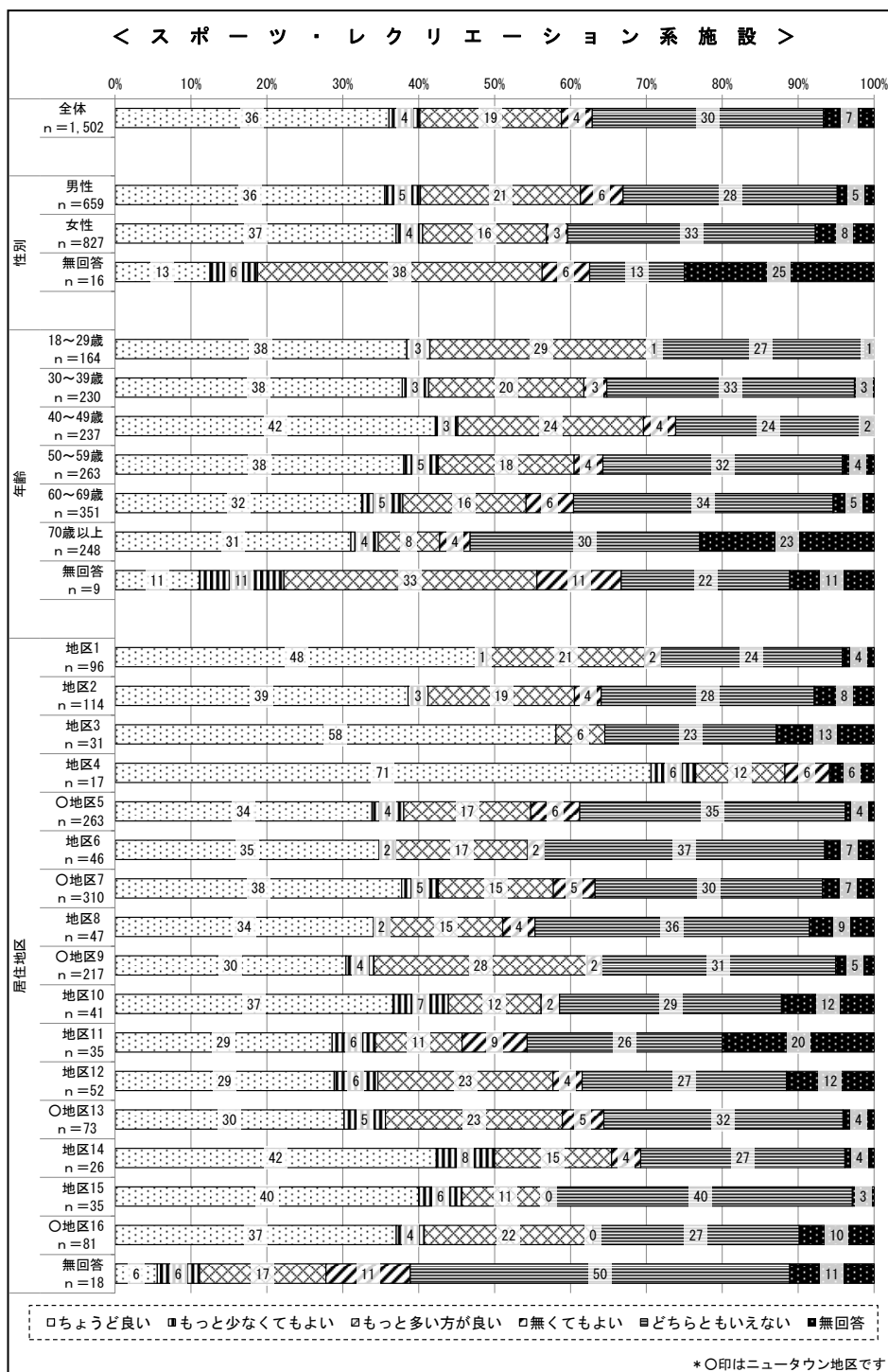
■社会教育系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別でみると、全年齢層とも「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。傾向の差はほとんどみられません。
- 地区別にみると、「地区 11」を除き「ちょうど良い」が最も高くなっており、次いで「地区 7」を除き「どちらともいえない」が高くなっています。また、「地区 11 (3%)」と「地区 14 (4%)」においては、「もっと多い方が良い」の回答が少ない結果となっています。



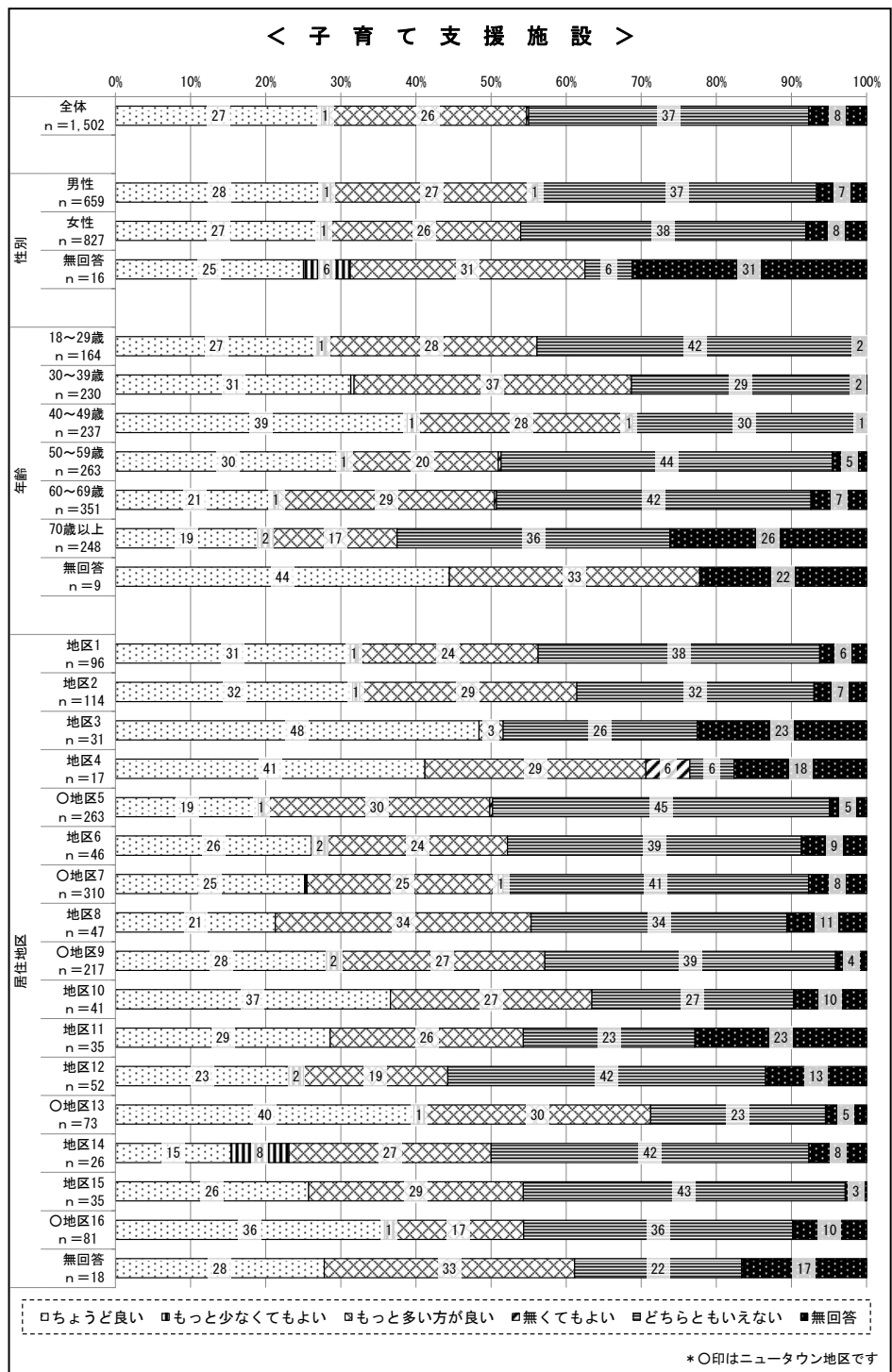
■ スポーツ・レクリエーション系施設

○男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
 ○年齢別でみると、ほとんどの年齢層で「もっと多い方が良い」が1割台半ばを超えています。一方、「70歳以上（8%）」では、低い結果となっています。
 ○地区別にみると、「地区4（71%）」「地区3（58%）」「地区1（48%）」では、「ちょうど良い」の回答割合が最も高くなっており、「地区4」が全地区の中で最も高くなっています。



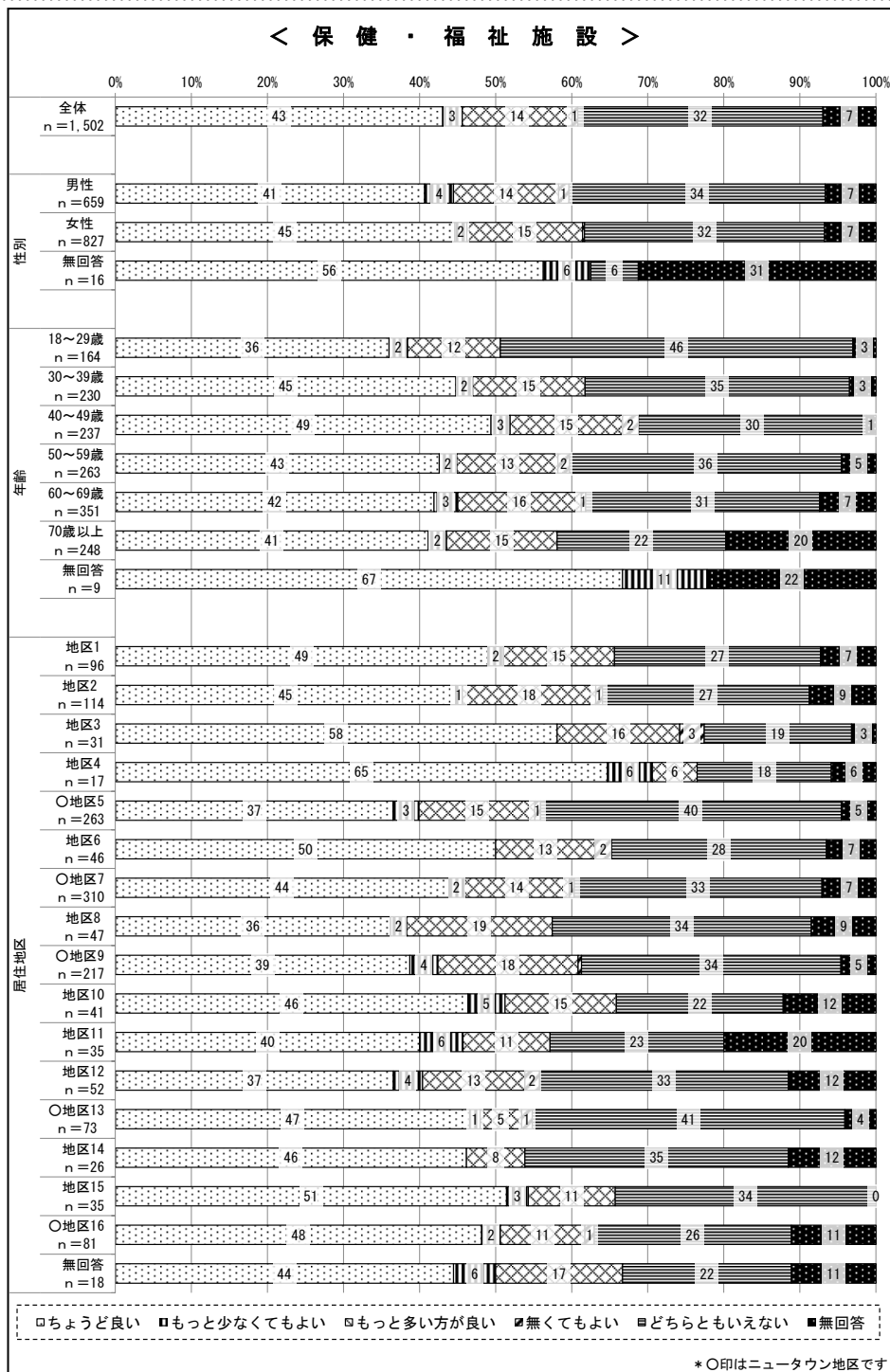
■子育て支援施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別でみると、全ての年齢層で「もっと多い方が良い」が約2割を超えています。特に「30～39歳（37%）」「40～49歳（28%）」では、約3割以上を占めています。
- 地区別にみると、「地区3」「地区12」「地区16」を除き「もっと多い方が良い」が約2割を超えており、「地区8（34%）」が最も高い結果にあります。また、「地区14（8%）」のみ、約1割の方が「もっとも少なくても良い」と回答されています。



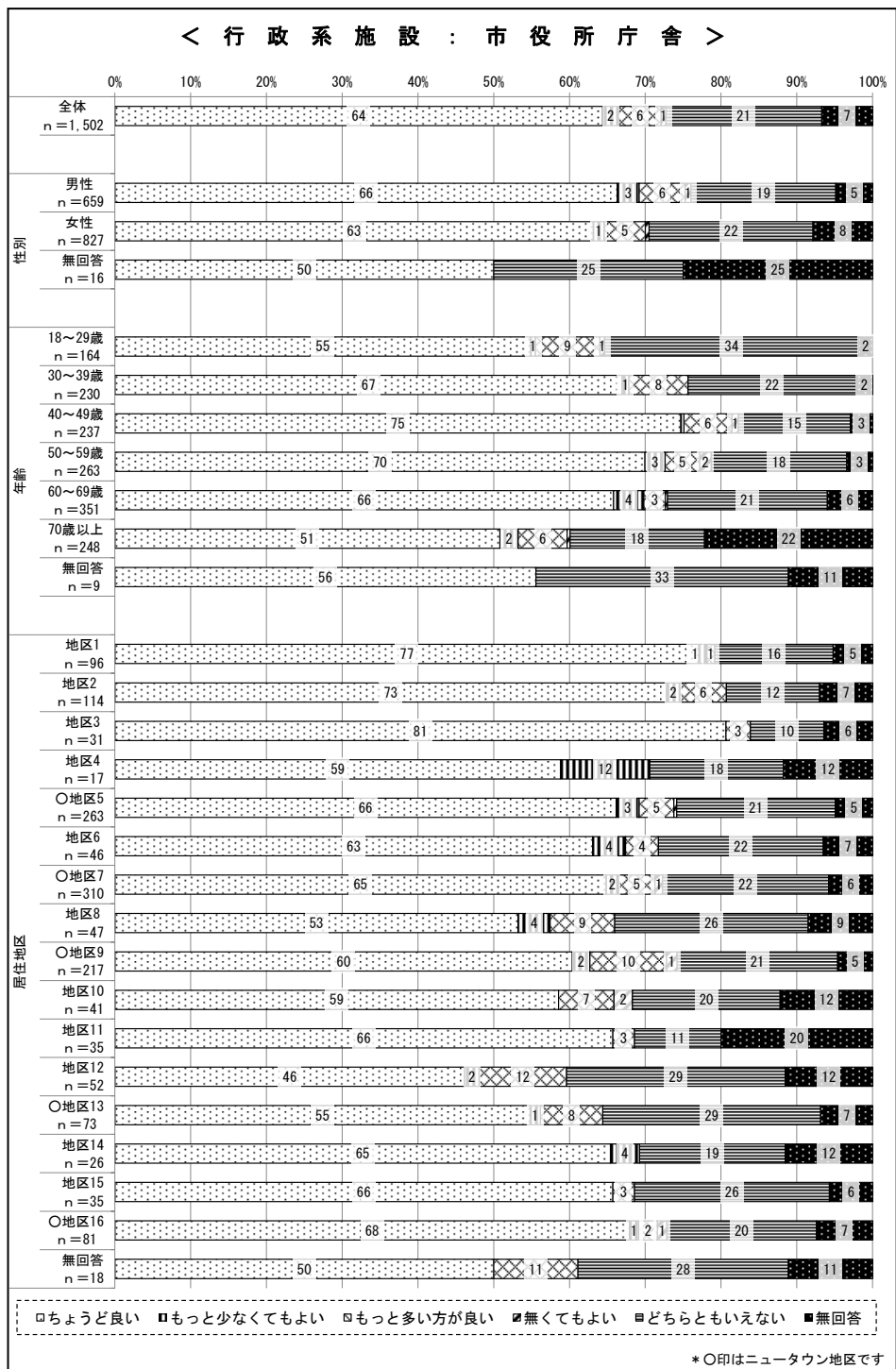
■保健・福祉施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別でみると、「18-29歳」以外の全年齢層では「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「無くてもよい」「もっと少なくても良い」の回答はほとんどありません。
- 地区別にみると、「地区5」を除き「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「地区2 (18%)」「地区8 (19%)」「地区9 (18%)」では、「もっと多い方がよい」が他の地区に比べ高くなっています。



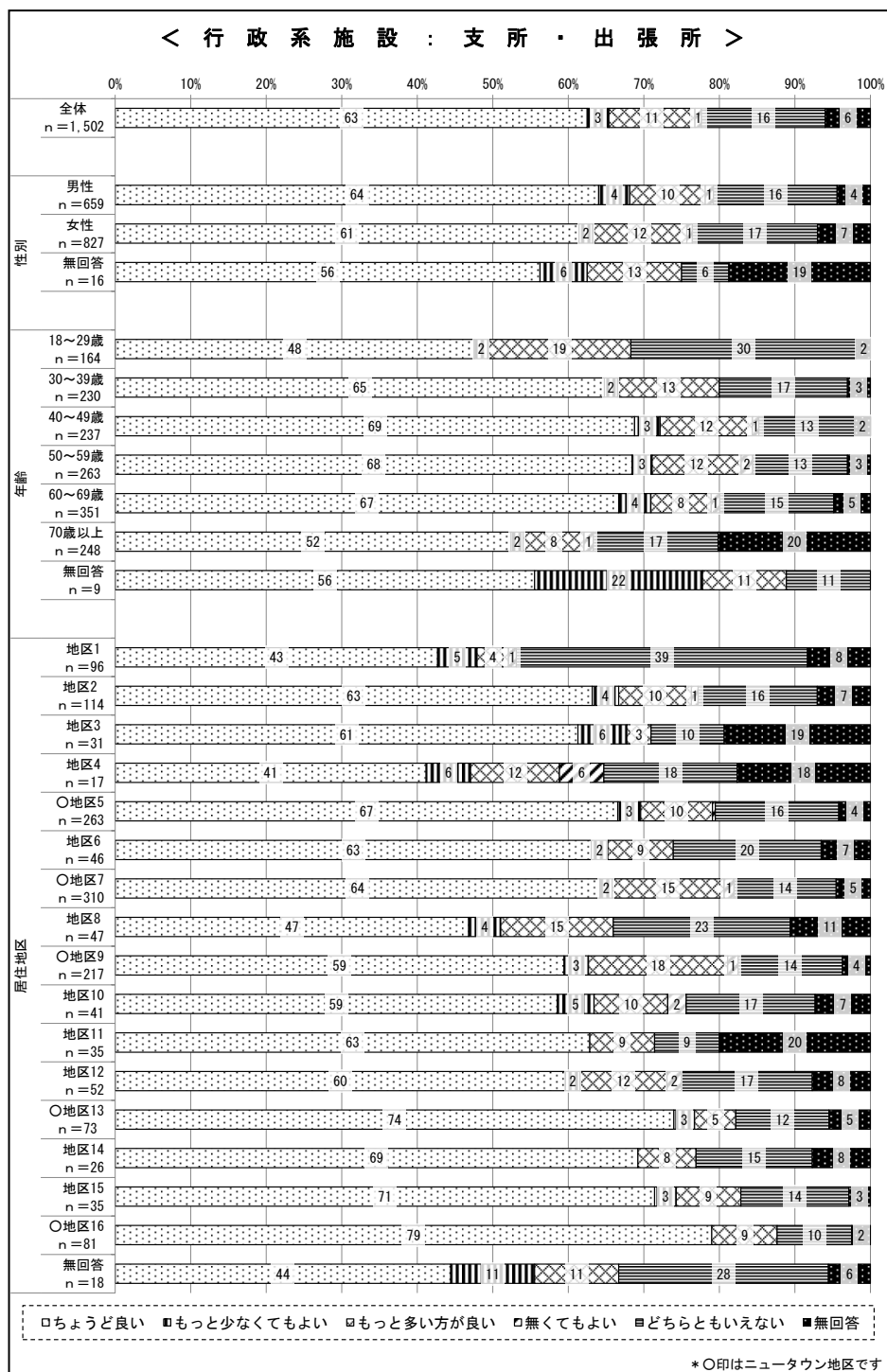
■行政系施設：市役所庁舎

○男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
 ○年齢別でみると、全年齢層とも「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「無くてもよい」「もっと少なくても良い」の回答がほとんどありません。
 ○地区別にみると、全地区とも「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「地区4（12%）」では「もっと少なくても良い」が1割を超えています。



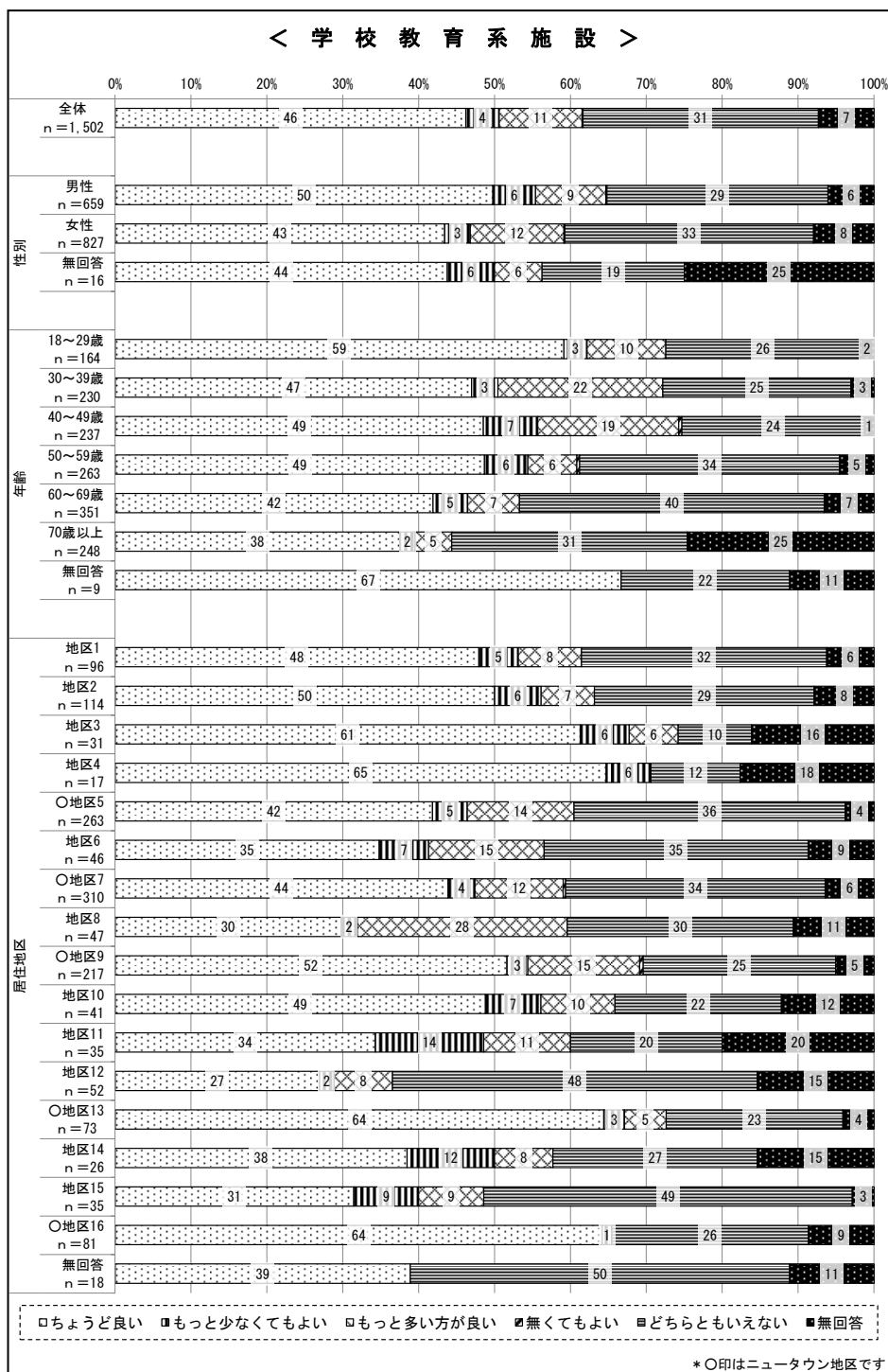
■行政系施設：支所・出張所

- 男女別にみると、傾向の差はほとんど見られません。
- 年齢別でみると、全年齢層とも「ちょうど良い」が最も高く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、「無くてもよい」「もっと少なくとも良い」の回答がほとんどありません。
- 地区別にみると、「地区1」「地区4」「地区8」を除き「ちょうど良い」が、約6割を超えています。また、「地区7 (15%)」「地区8 (15%)」「地区9 (18%)」では「もっと多い方が良い」の回答が他施設に比べ高い傾向にあります。



■学校教育系施設

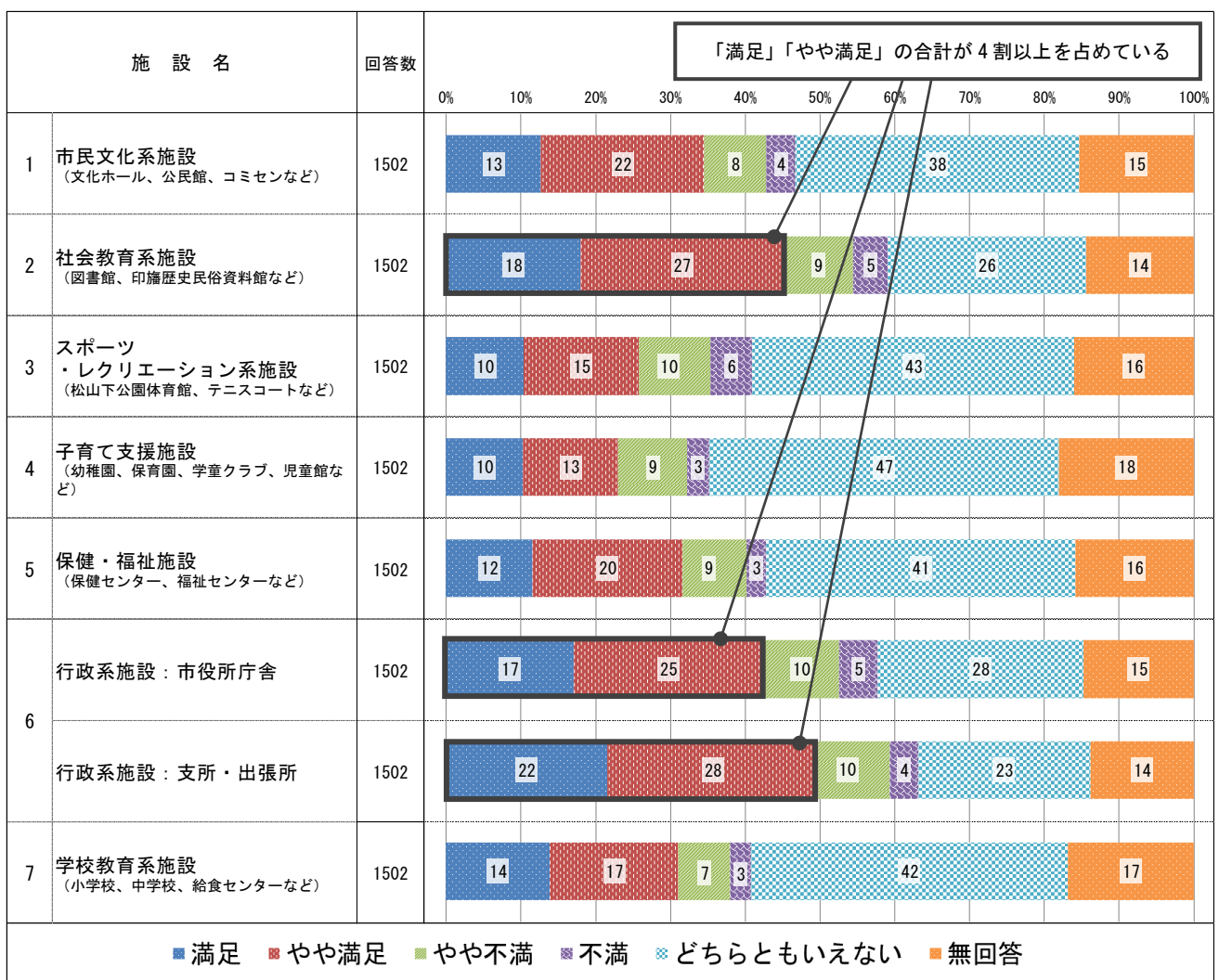
- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別でみると、「もっと多い方が良い」の割合が「30～39歳（22%）」「40～49歳（19%）」では他の年齢に比べ高くなっています。
- 地区別にみると、「もっと多い方が良い」の割合は「地区8（28%）」が最も高くなっています。一方、「もっと少なくても良い」の割合は、「地区11（14%）」と「地区14（12%）」が高い傾向であり、1割を超えています。



(6) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ②サービス内容

あなたは、下表に示す公共施設のサービス内容に満足していますか。対象施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 行政系施設：市役所庁舎、社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所では、「満足」と「やや満足」の合計が、回答割合の4割以上を占めています。
- 社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所を除く施設は、「どちらともいえない」の回答割合が最も高くなっています。

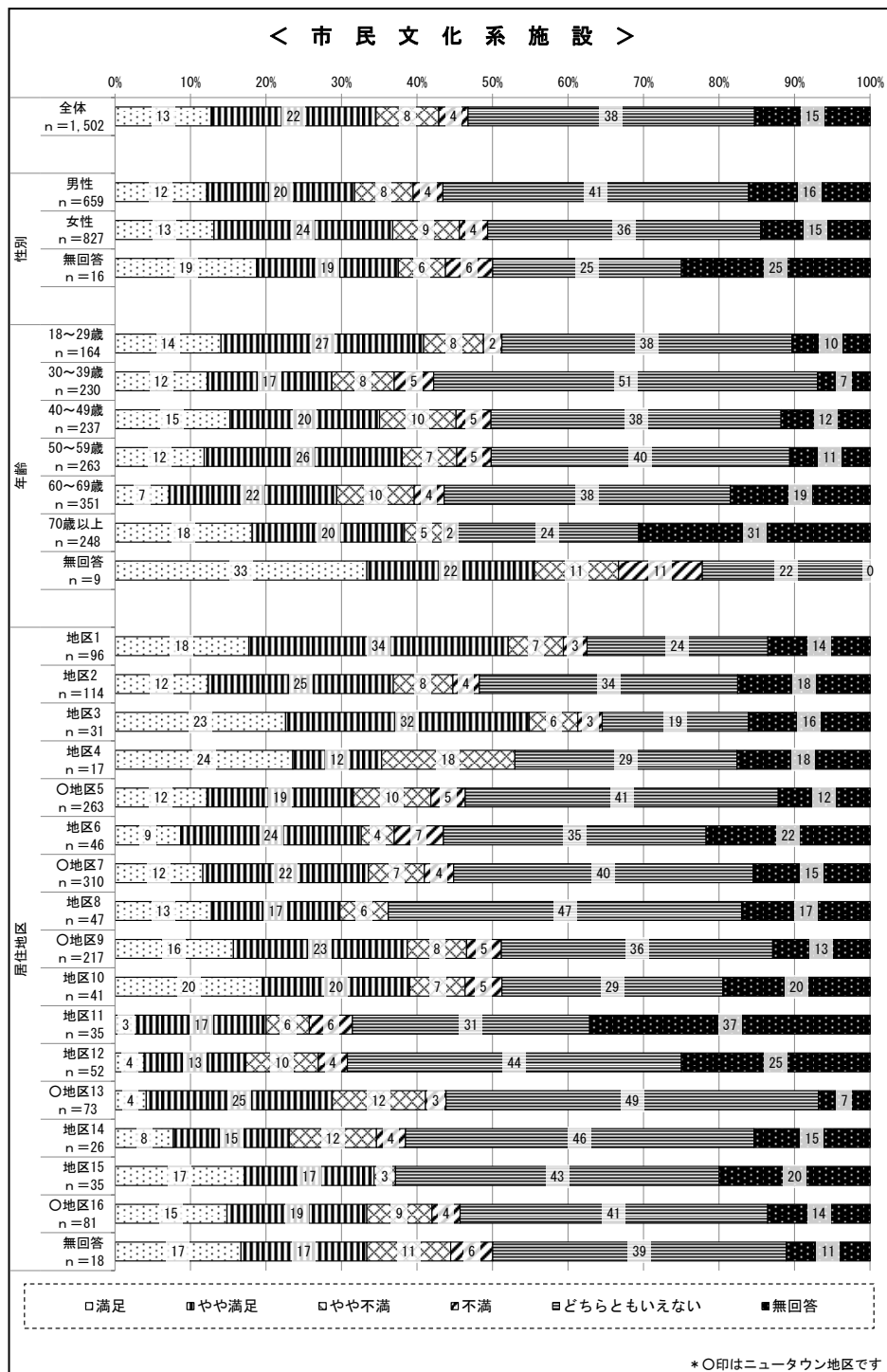


は、傾向が顕著な回答を示しています。

<属性別の回答傾向>

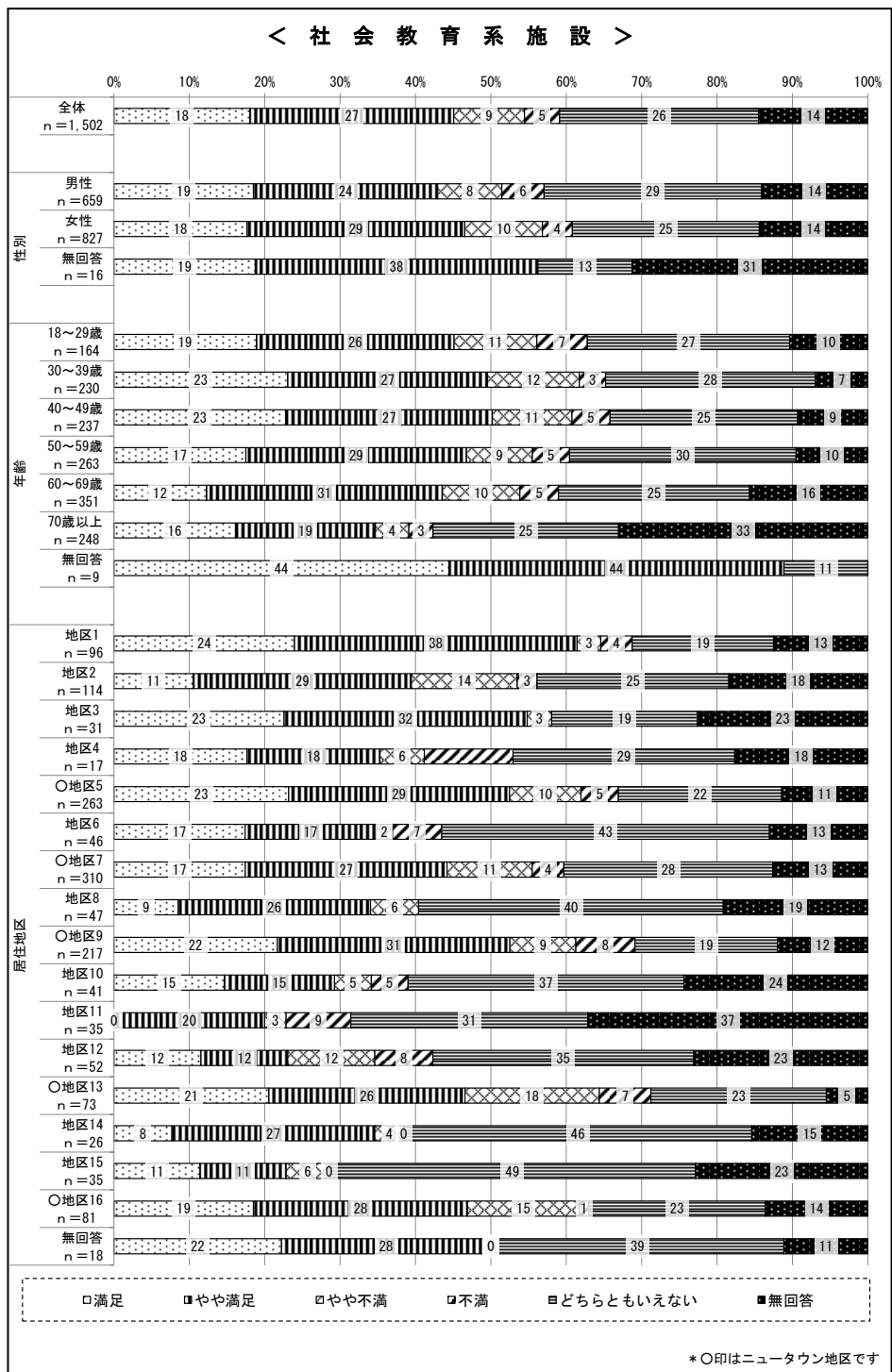
■ 市民文化系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「18-29歳（41%）」が最も高く、次いで「50-59歳（38%）」「70歳以上（38%）」となっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区3（55%）」が最も高く、次いで「地区1（52%）」となっています。一方、「地区11（20%）」「地区12（17%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区内外で傾向の差はみられません。



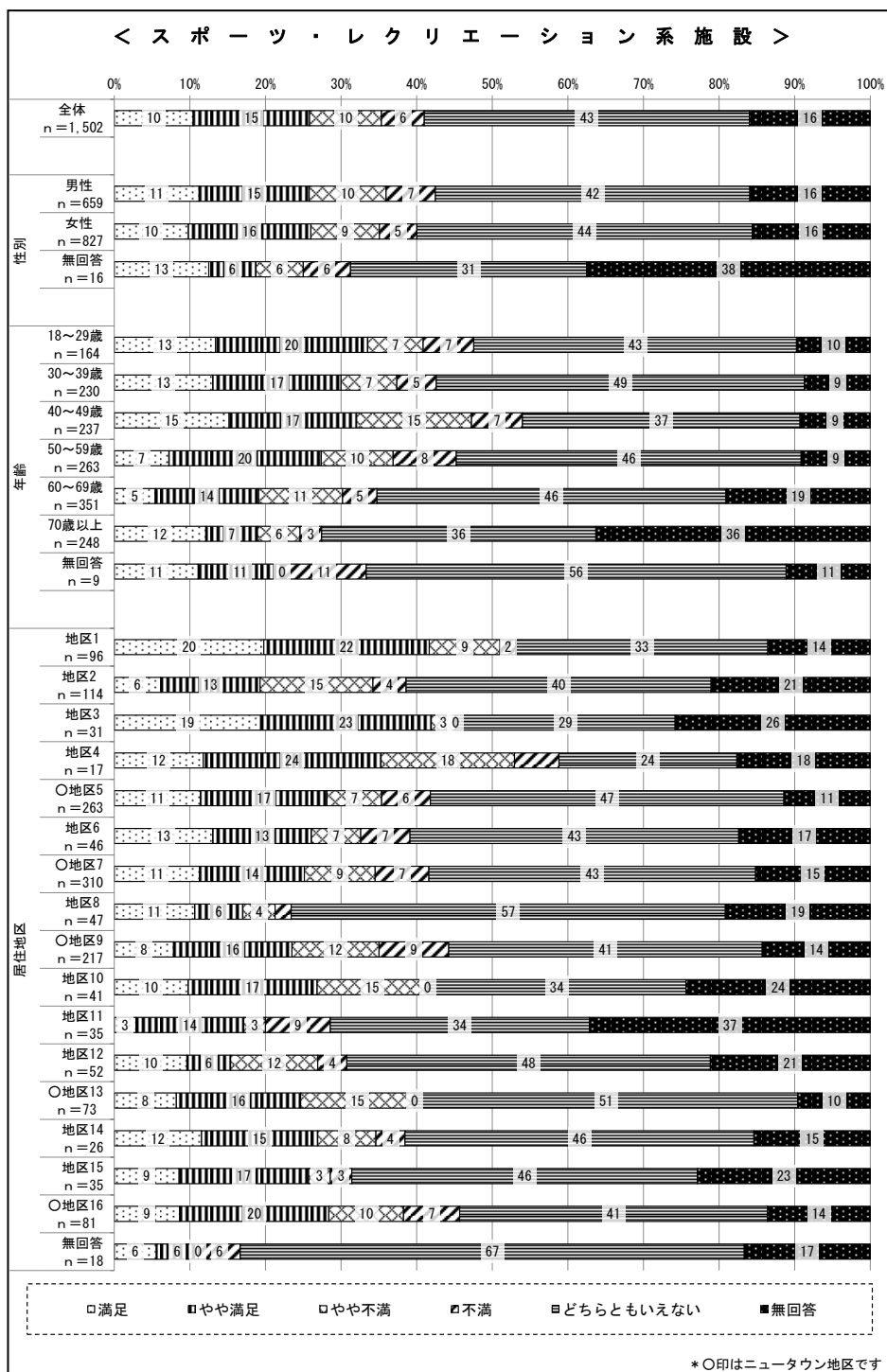
■社会教育系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は全年齢層で比較的高く、「30-39歳（50%）」「40-49歳（50%）」で最も高くなっています。一方、「70歳以上（35%）」では低い傾向です。
- 地区別にみると、全ニュータウン地区にて、「不満」「やや不満」の合計が1割台半ばを超えています。また、満足割合は「地区1（62%）」が最も高く、次いで「地区3（55%）」となっています。



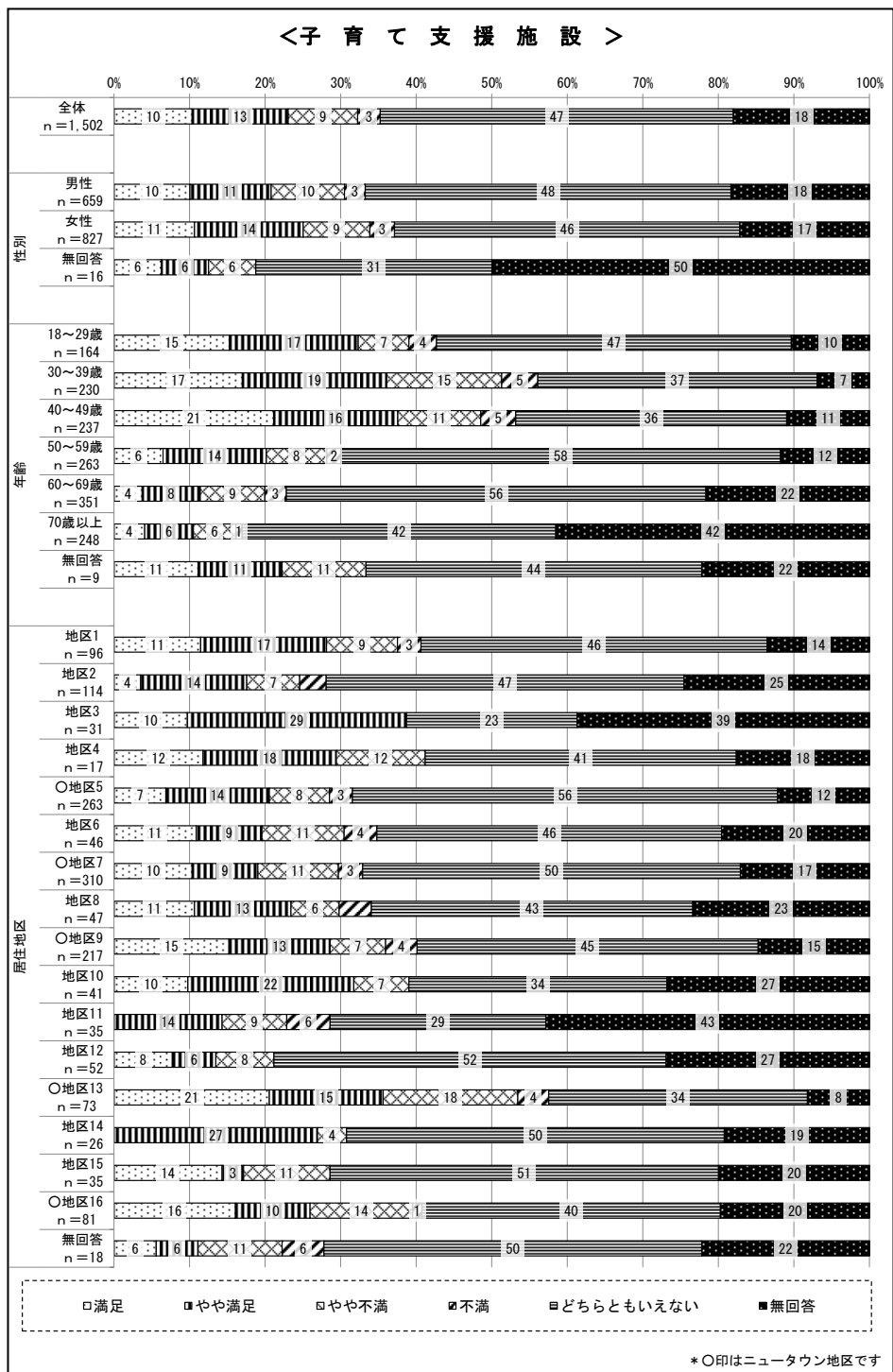
■ スポーツ・レクリエーション系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「18-29歳（33%）」「40-49歳以上（32%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区1（42%）」と「地区3（42%）」が高くなっています。一方、「地区11（17%）」「地区12（16%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区内外で傾向の差はみられません。



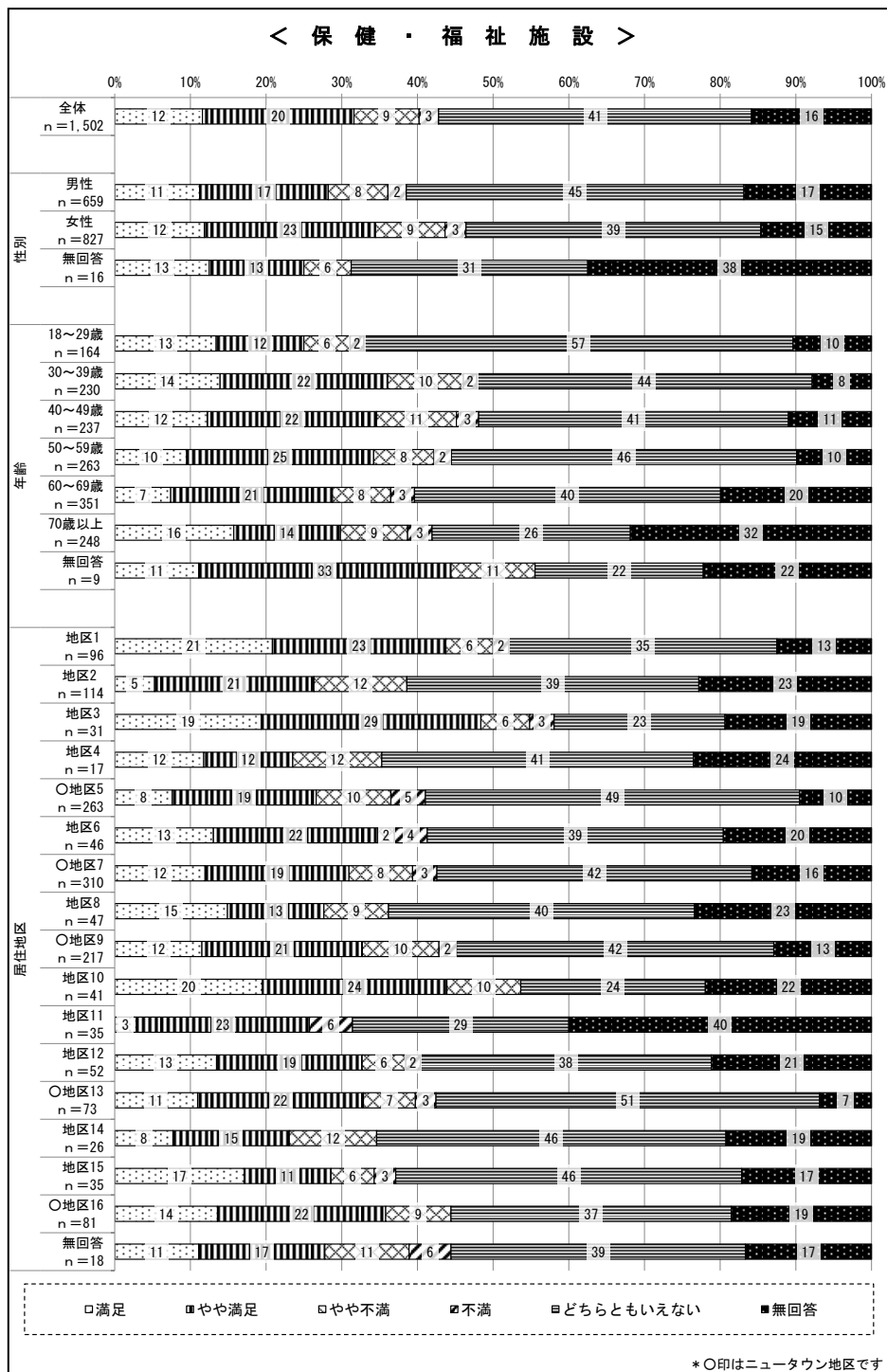
■子育て支援施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「40-49歳（37%）」「30-39歳（36%）」「18-29歳（32%）」の順で高くなっています。また、「70歳以上（10%）」「60-69歳（12%）」は、満足割合が1割程度です。
- 地区別にみると、満足割合は、「地区3（39%）」「地区13（36%）」「地区10（32%）」の順で高くなっています。また、ニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が優先割合は低い傾向にあります。



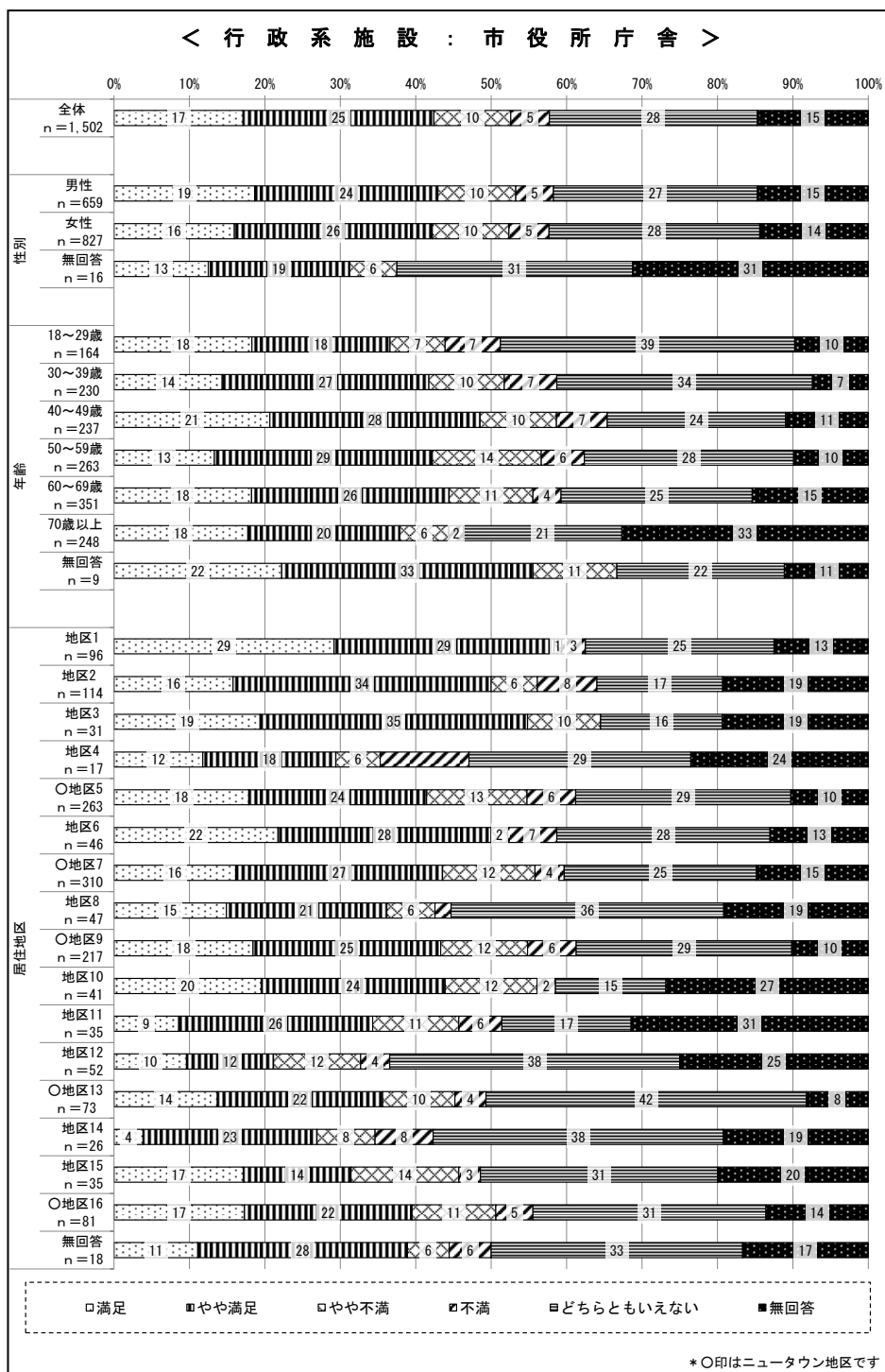
■保健・福祉施設

- 男女別にみると、「女性（35%）」の方が「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）が高い傾向にあります。
- 年齢別にみると、満足割合は「30-39歳（36%）」「50-59歳（35%）」「40-49歳（34%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区3（48%）」が最も高く、次いで「地区1（44%）」「地区10（44%）」となっています。一方、「地区14（23%）」「地区4（24%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区内外の傾向の差はみられません。



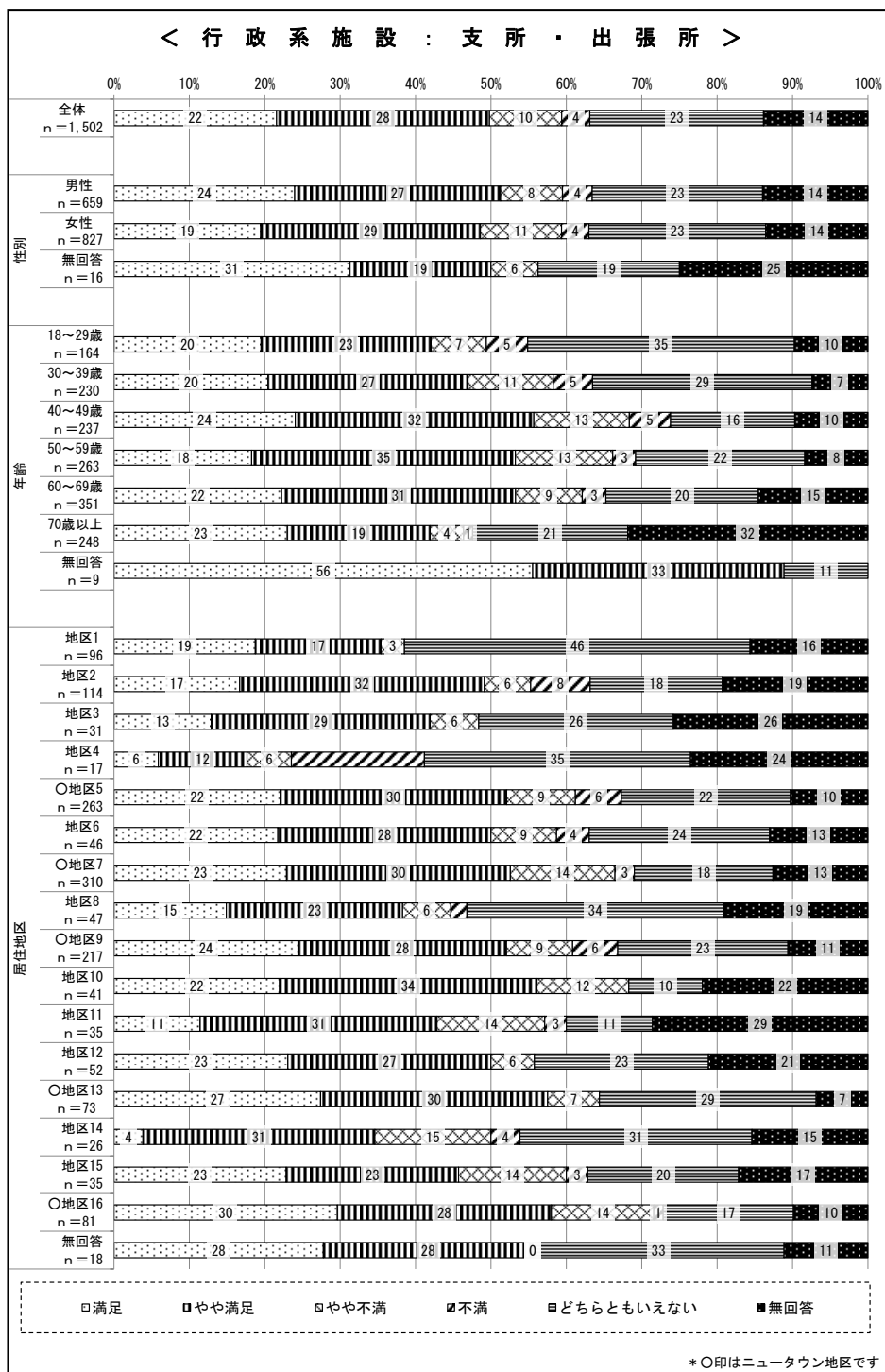
■行政系施設：市役所庁舎

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「40-49歳（49%）」「60-69歳（44%）」の順で高くなっています。一方、「50-59歳（20%）」では、「やや不満」「不満」の合計が他の年齢層より高くなっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区1（58%）」が最も高く、次いで「地区3（54%）」となっています。一方、「地区12（22%）」「地区14（27%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区内外の傾向の差はみられません。



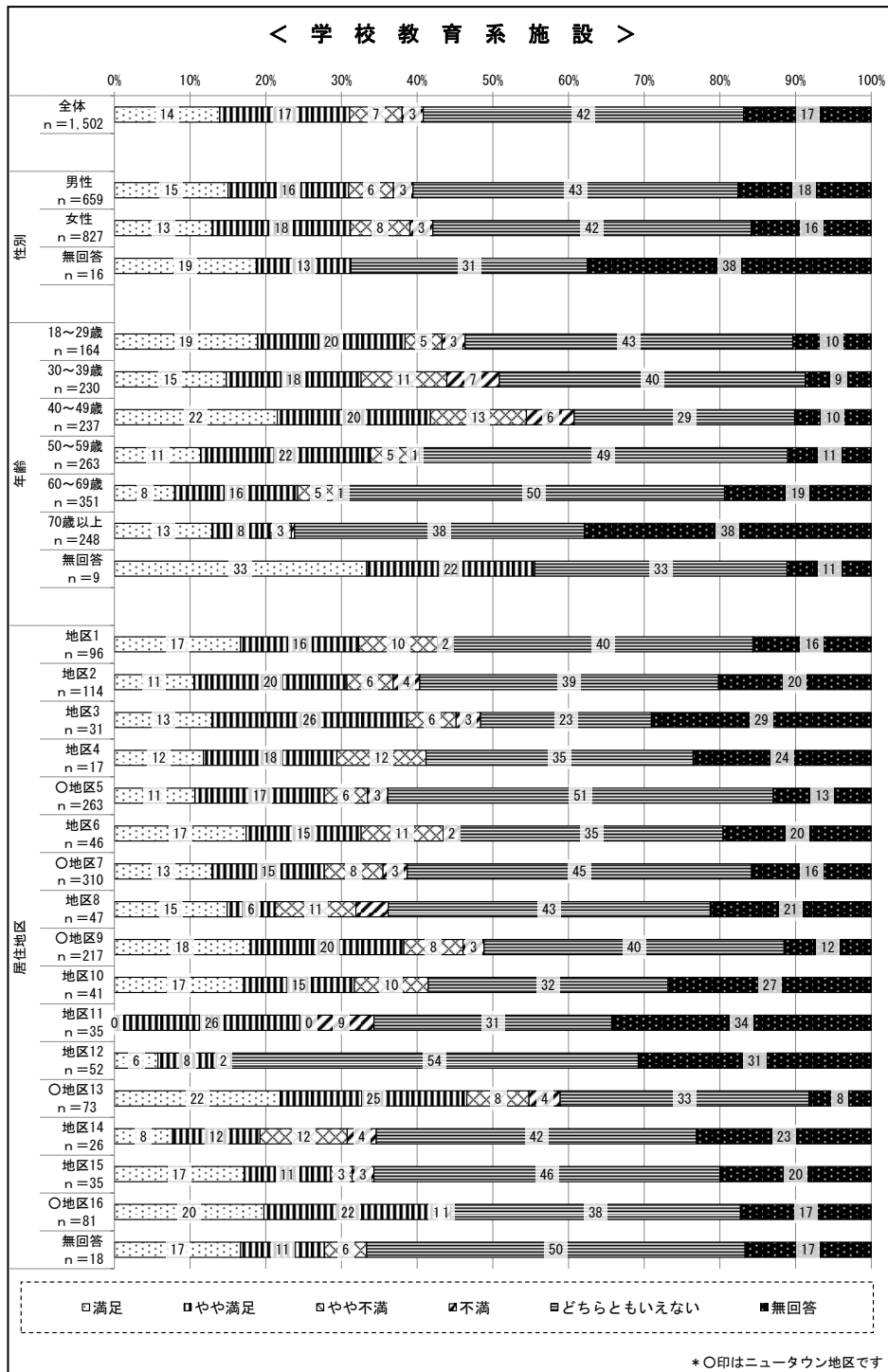
■行政系施設：支所・出張所

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「40-49歳（56%）」「50-59歳（53%）」「60-69歳（53%）」の順で高くなっています。一方、「40-49歳（18%）」では、「やや不満」「不満」の合計も他の年齢層より高くなっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区13（57%）」が最も高く、次いで「地区10（56%）」となっています。一方、「地区4（18%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が低い傾向にあります。



■学校教育系施設

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「満足」「やや満足」の合計割合（以下「満足割合」とする）は「40-49歳（42%）」「18-29歳（39%）」の順で高くなっています。また、「70歳以上（21%）」では低い傾向です。一方、「40-49歳（19%）」「30-39歳（18%）」では、「やや不満」「不満」の合計も他の年齢層より高くなっています。
- 地区別にみると、満足割合は「地区13（47%）」が最も高く、次いで「地区3（39%）」「地区9（38%）」となっています。一方、「地区14（20%）」「地区12（14%）」では低くなっています。また、ニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が低い傾向にあります。



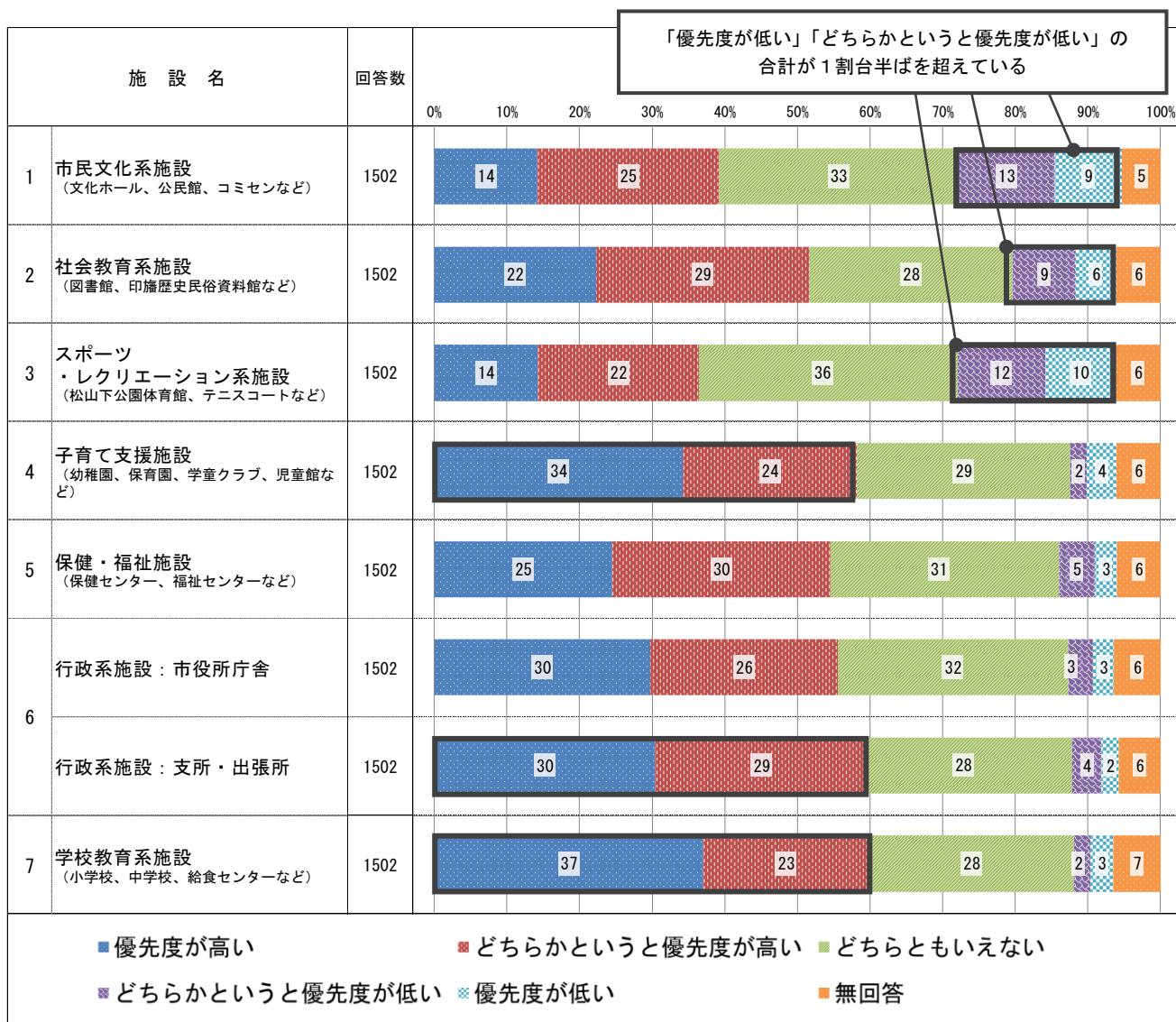
(7) 問4 公共施設の存続優先度 ①優先度

あなたは、印西市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えていますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いもの一つを選んで下さい。

○市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設を除く施設は、「優先度が高い」と「どちらか」というと優先度が高いの合計が、回答割合の5割以上を占めています。

特に学校教育系施設（60%）、行政系施設：支所・出張所（59%）、子育て支援施設（58%）は高くなっています。

○市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、社会教育系施設では、「優先度が低い」と「どちらか」というと優先度が低い」の合計が1割台半ばを超えています。

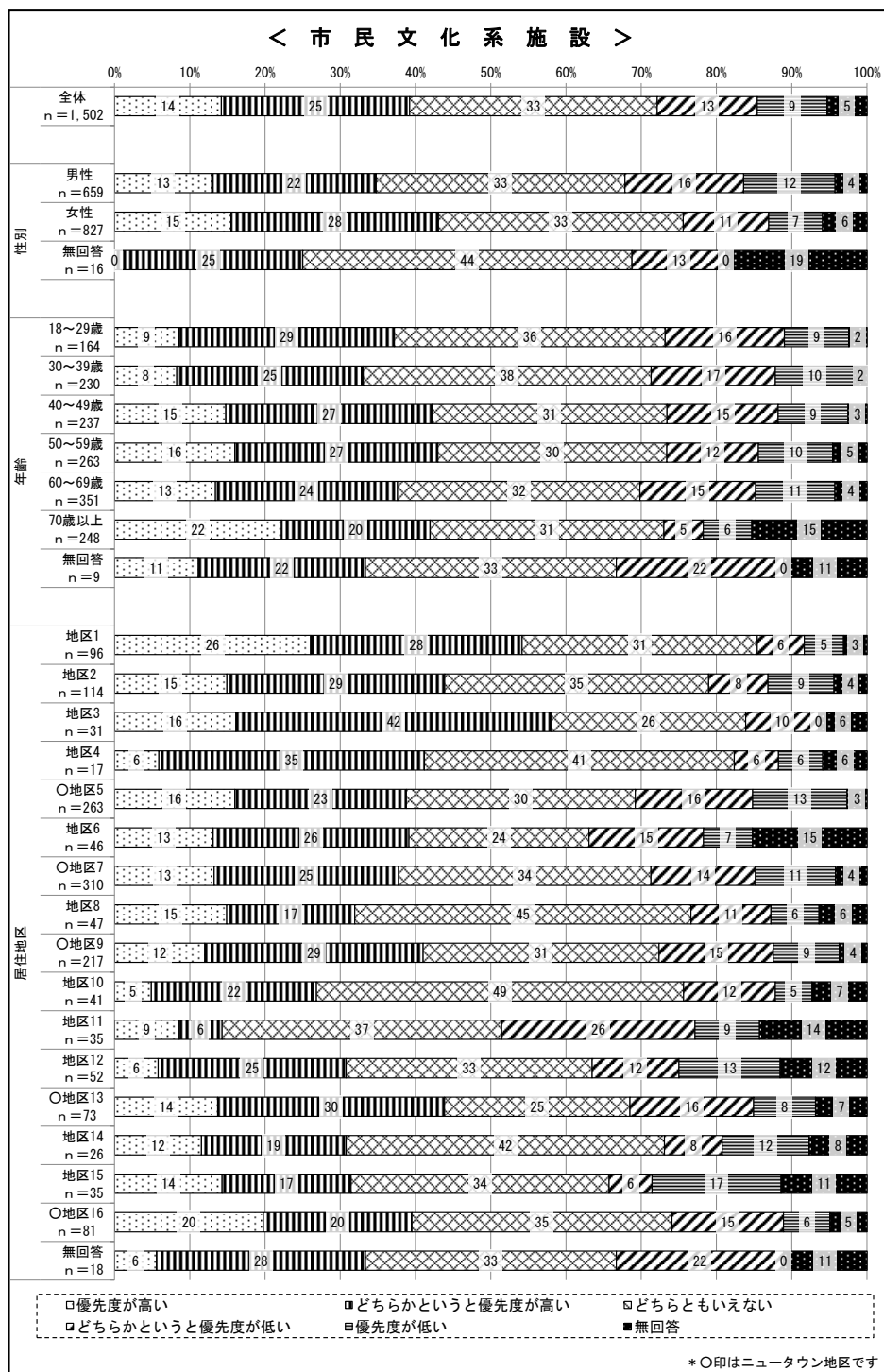


は、傾向が顕著な回答を示しています。

<属性別の回答傾向>

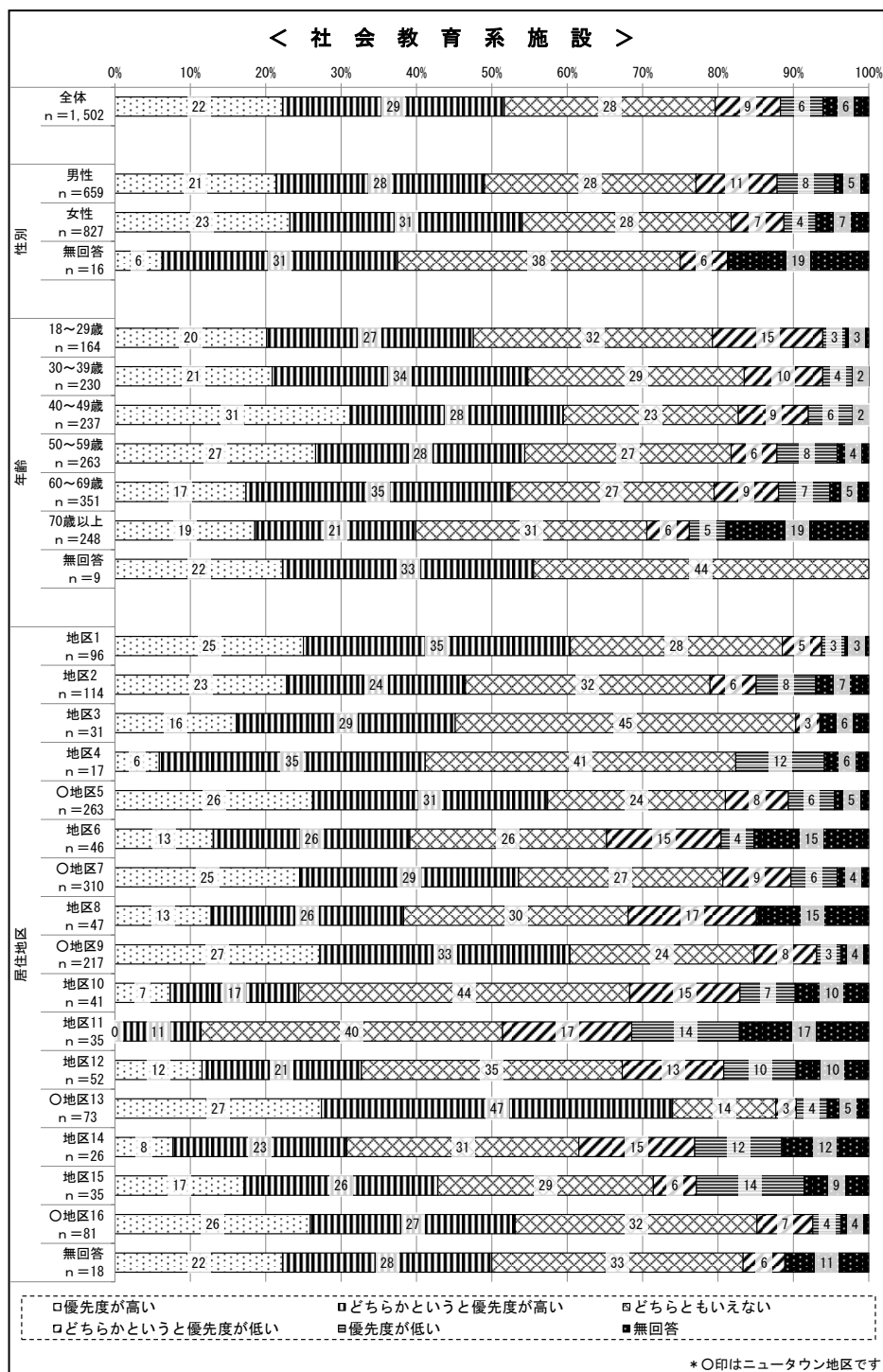
■ 市民文化系施設

- 男女別にみると、「女性（43%）」の方が「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）が高い傾向にあります。
- 年齢別にみると、どの年齢層でも「どちらともいえない」が3割を超えています。また、優先割合は「50~59歳（43%）」「40~49歳（42%）」「70歳以上（42%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、「地区3（58%）」「地区1（54%）」の順で優先割合が高くなっています。また、「地区11」では「どちらかと優先度が低い」「優先度が低い」が他地区より高い傾向にあります。



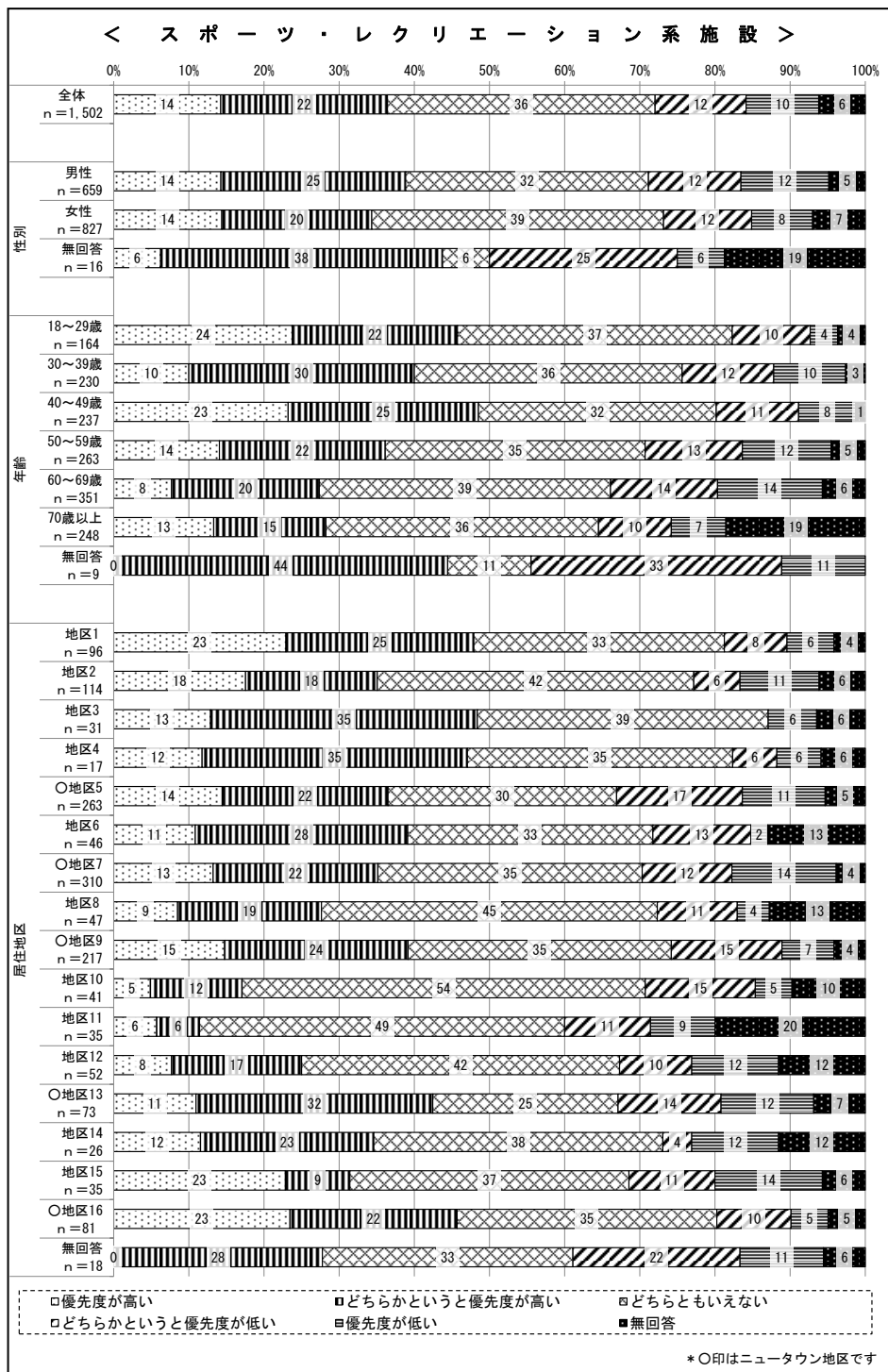
■社会教育系施設

- 男女別にみると、「女性（54%）」の方が「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）が高い傾向にあります。
- 年齢別にみると、優先割合は「40-49歳（59%）」「30-39歳（55%）」「50-59歳（55%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、低い傾向にあり、「地区13（74%）」の優先割合は突出して高くなっています。



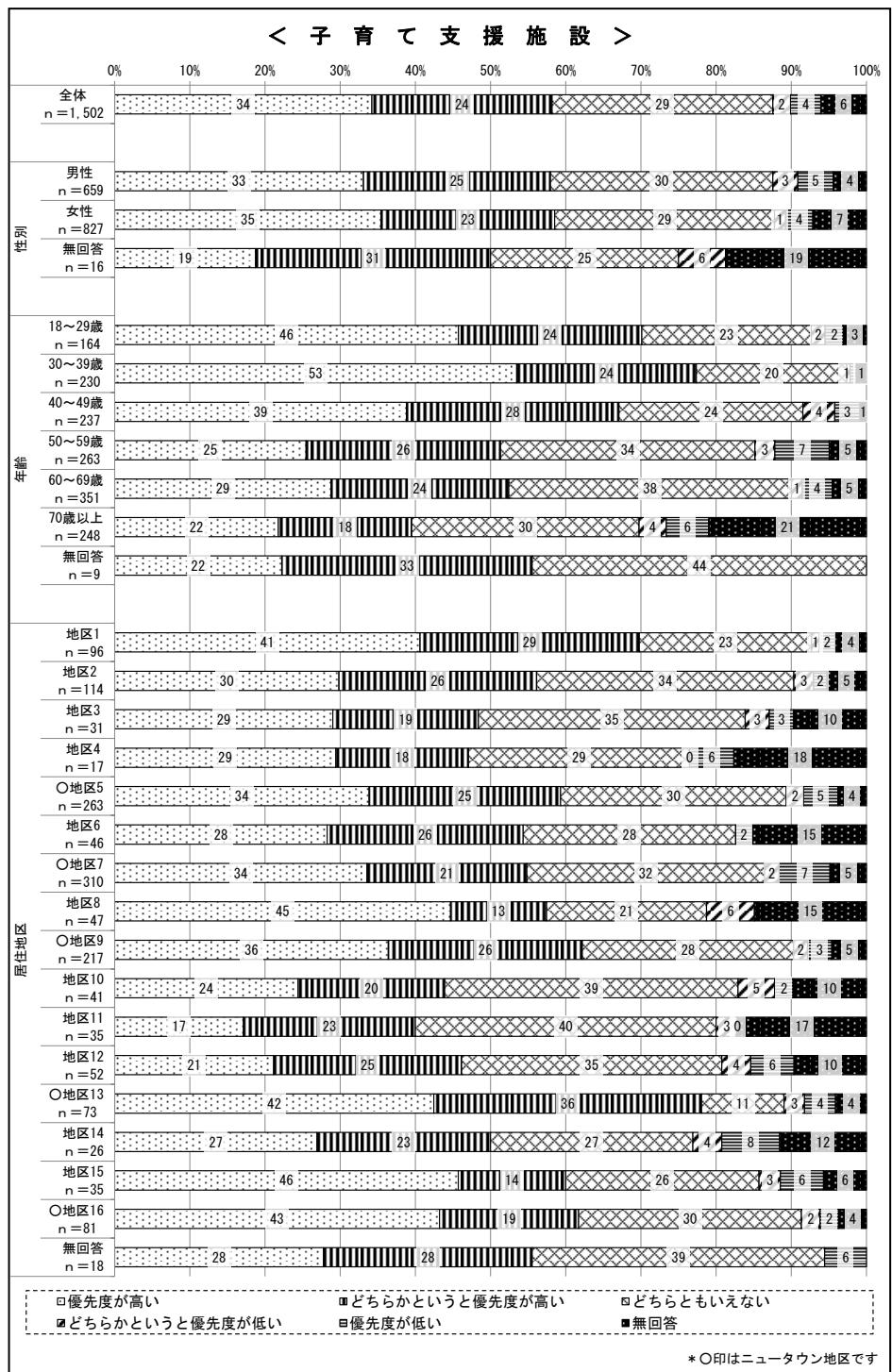
■ スポーツ・レクリエーション系施設

- 男女別にみると、「男性（39%）」の方が「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）が高い傾向にあります。
- 年齢別にみると、優先割合は「40-49歳（48%）」「18-29歳（46%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、比較的高い傾向にあり、「地区1（48%）」「地区3（48%）」「地区4（47%）」の順で優先割合が高くなっています。



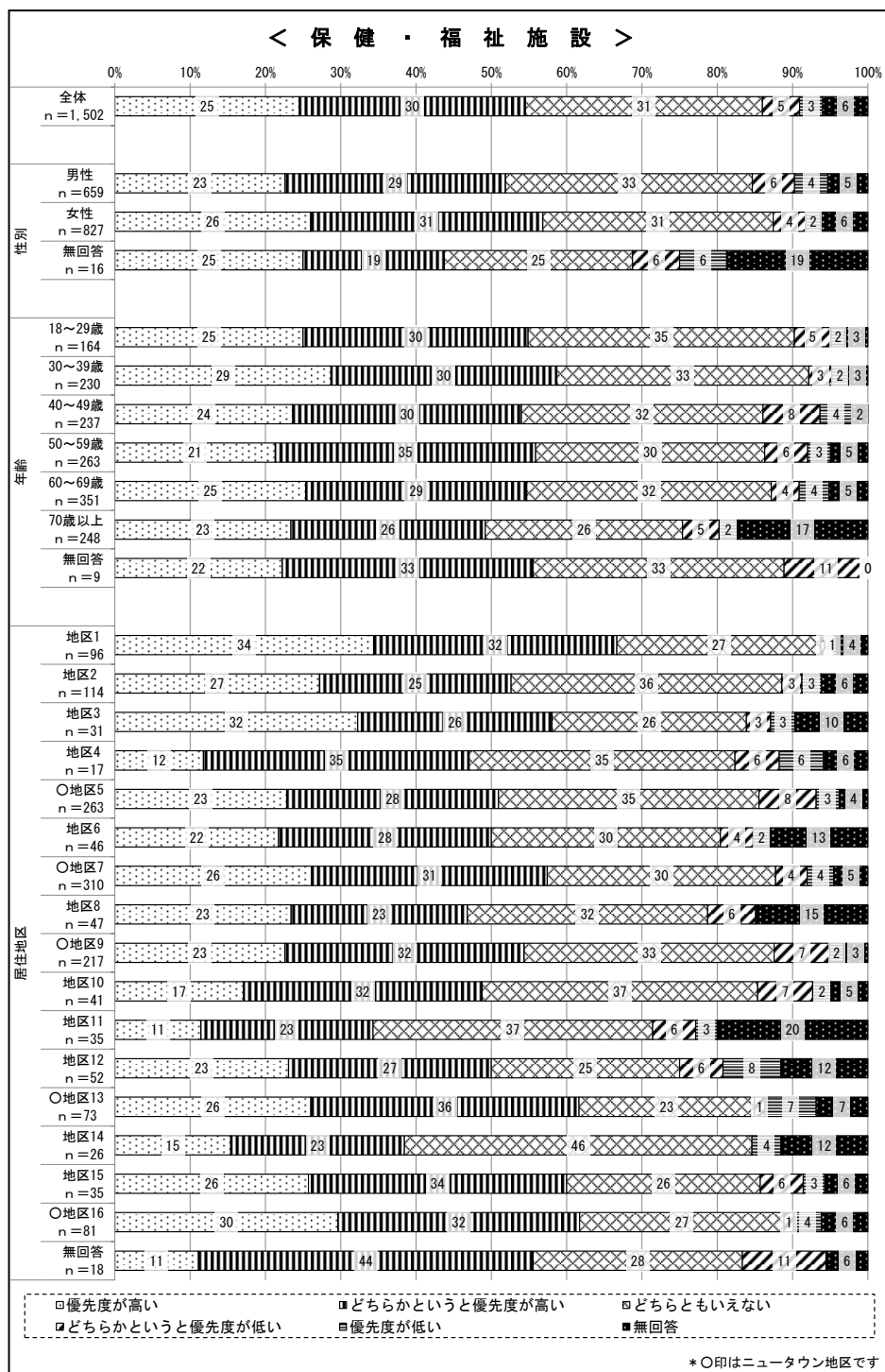
■子育て支援施設

- 男女別にみると、「男性（58%）」「女性（58%）」とも、「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）は、約6割を超えています。
- 年齢別にみると、優先割合は「30-39歳（77%）」「18-29歳（70%）」の順で高くなっています。「70歳以上」以外の年齢層にて、優先割合は5割を超えています。
- 地区別にみると、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、低い傾向にありますが、「地区13（78%）」「地区1（70%）」の優先割合は突出して高くなっています。



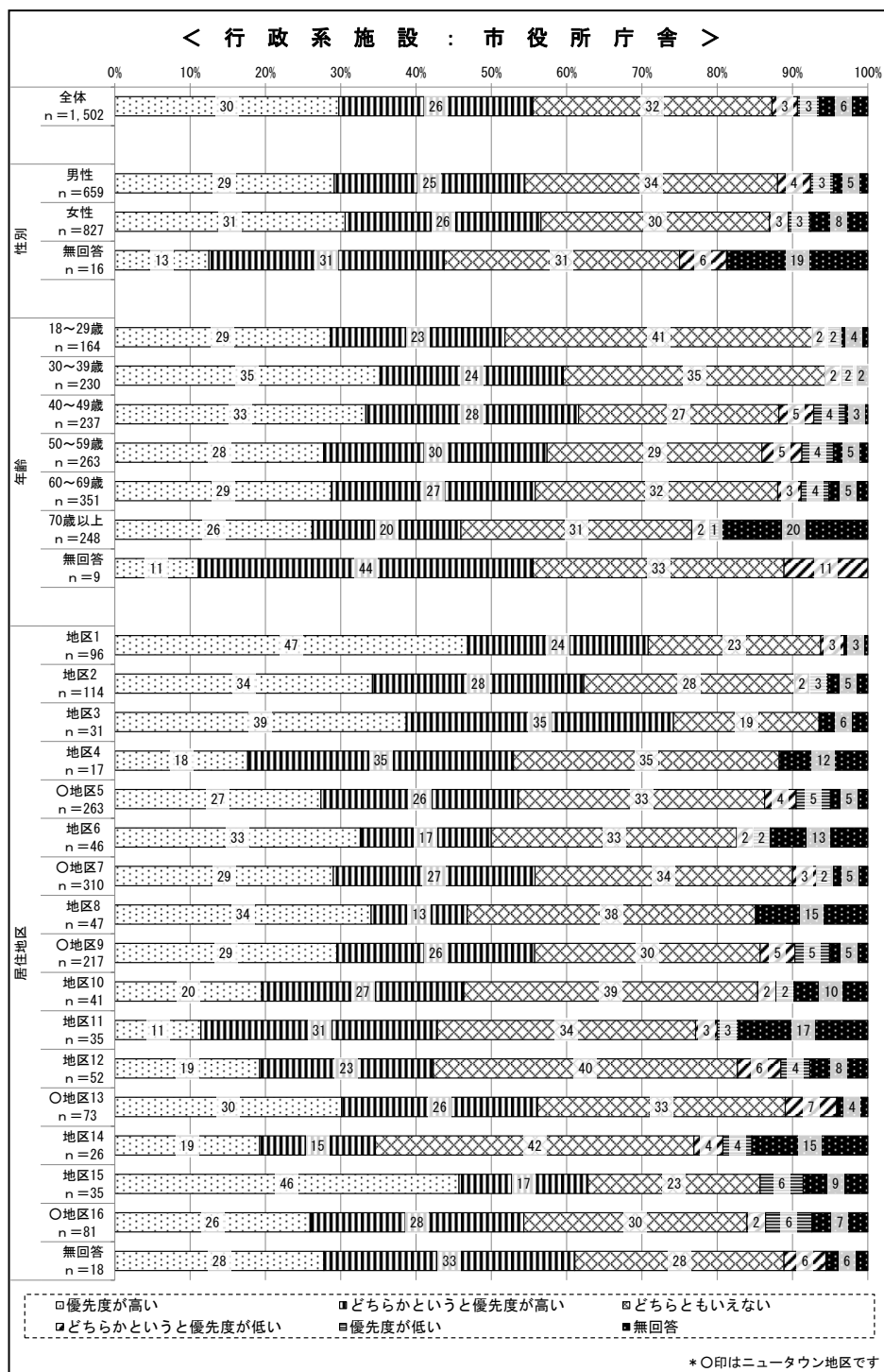
■保健・福祉施設

- 男女別にみると、「男性（52%）」「女性（57%）」とも、「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）は、5割を超えています。
- 年齢別にみると、全年齢層において、優先割合は約5割を超えています。
- 地区別にみると、「地区1（66%）」「地区13（62%）」「地区16（62%）」の優先割合が高くなっています。また、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が低い傾向にあります。



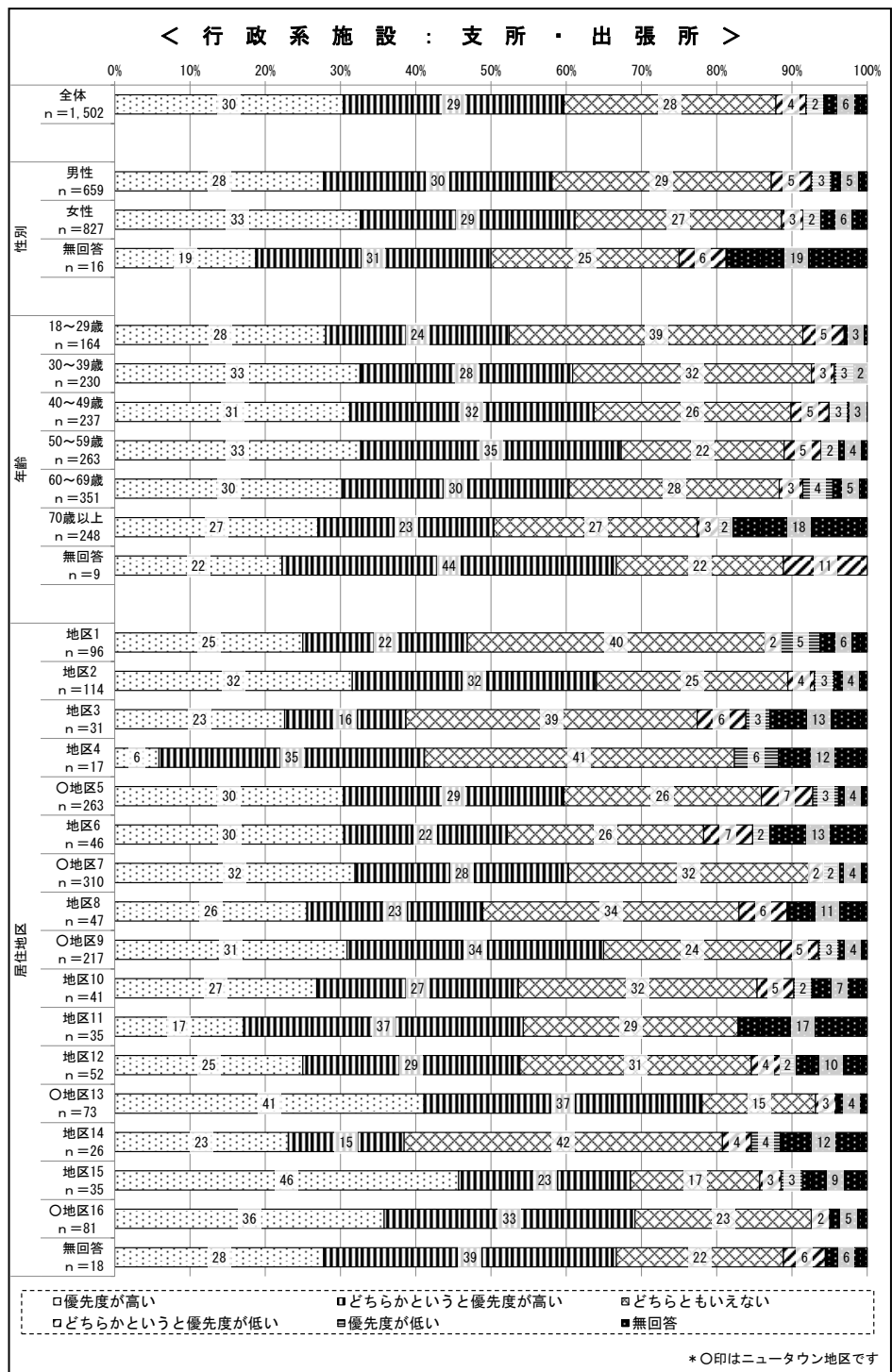
■行政系施設：市役所庁舎

- 男女別にみると、「男性（54%）」「女性（57%）」とも、「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）は、5割台半ばを超えています。
- 年齢別にみると、傾向の差はほとんどみられませんが、「70歳以上」を除く年齢層において、優先割合は5割を超えています。
- 地区別にみると、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が、比較的低い傾向にありますが、「地区3（74%）」「地区1（71%）」の優先割合は突出して高くなっています。一方、「地区14（34%）」では低い結果になっています。



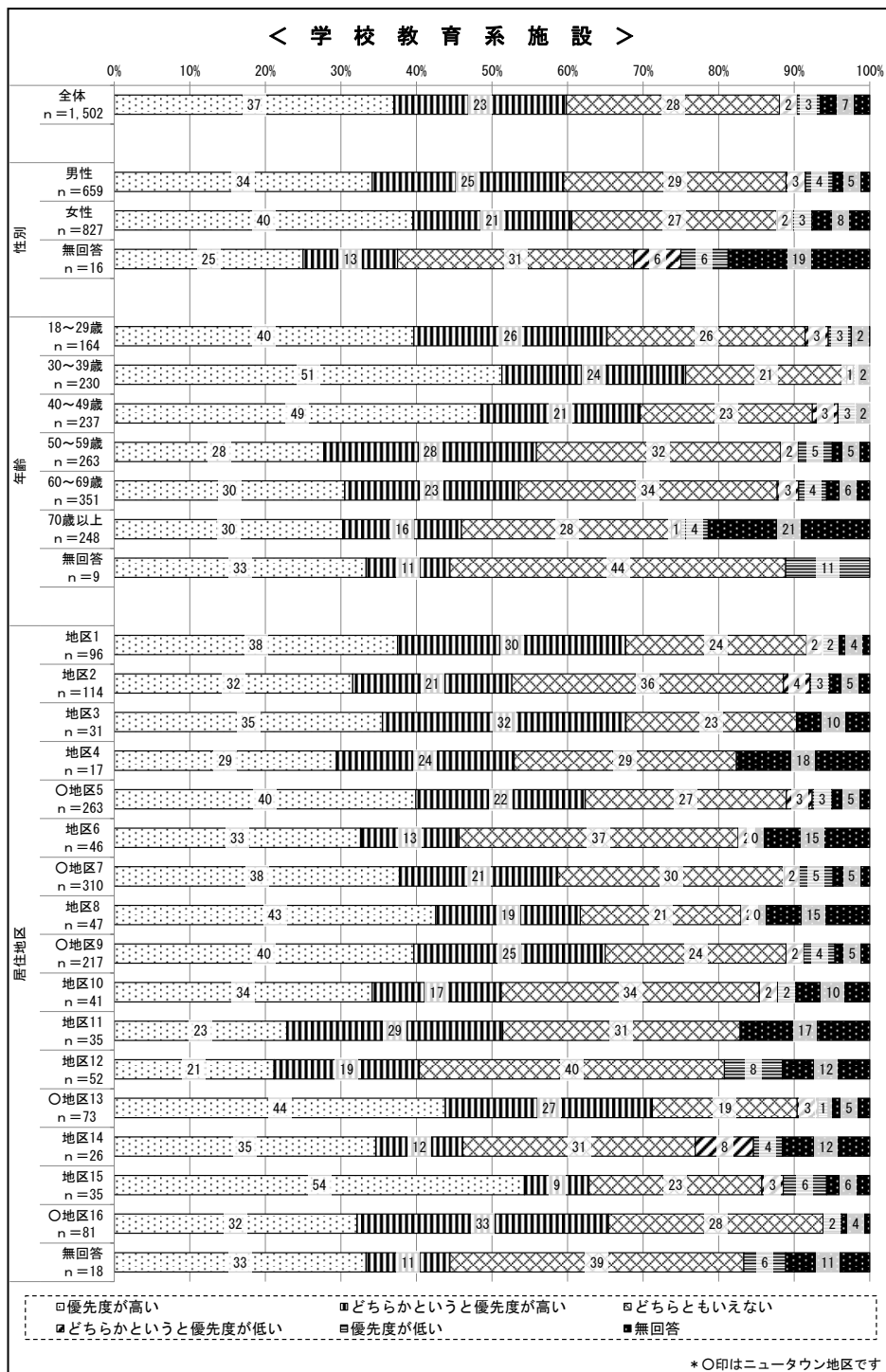
■行政系施設：支所・出張所

- 男女別にみると、「男性（58%）」「女性（62%）」とも、「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）は、約6割を超えています。
- 年齢別にみると、優先割合は「50~59歳（68%）」が最も高く、次いで「40~49歳（63%）」となっています。また、全年齢層にて、優先割合は5割を超えています。
- 地区別にみると、優先割合は「地区13（78%）」が最も高く、次いで「地区15（69%）」「地区16（69%）」となっています。一方、「地区14（38%）」「地区3（39%）」では低い結果になっています。



■学校教育系施設

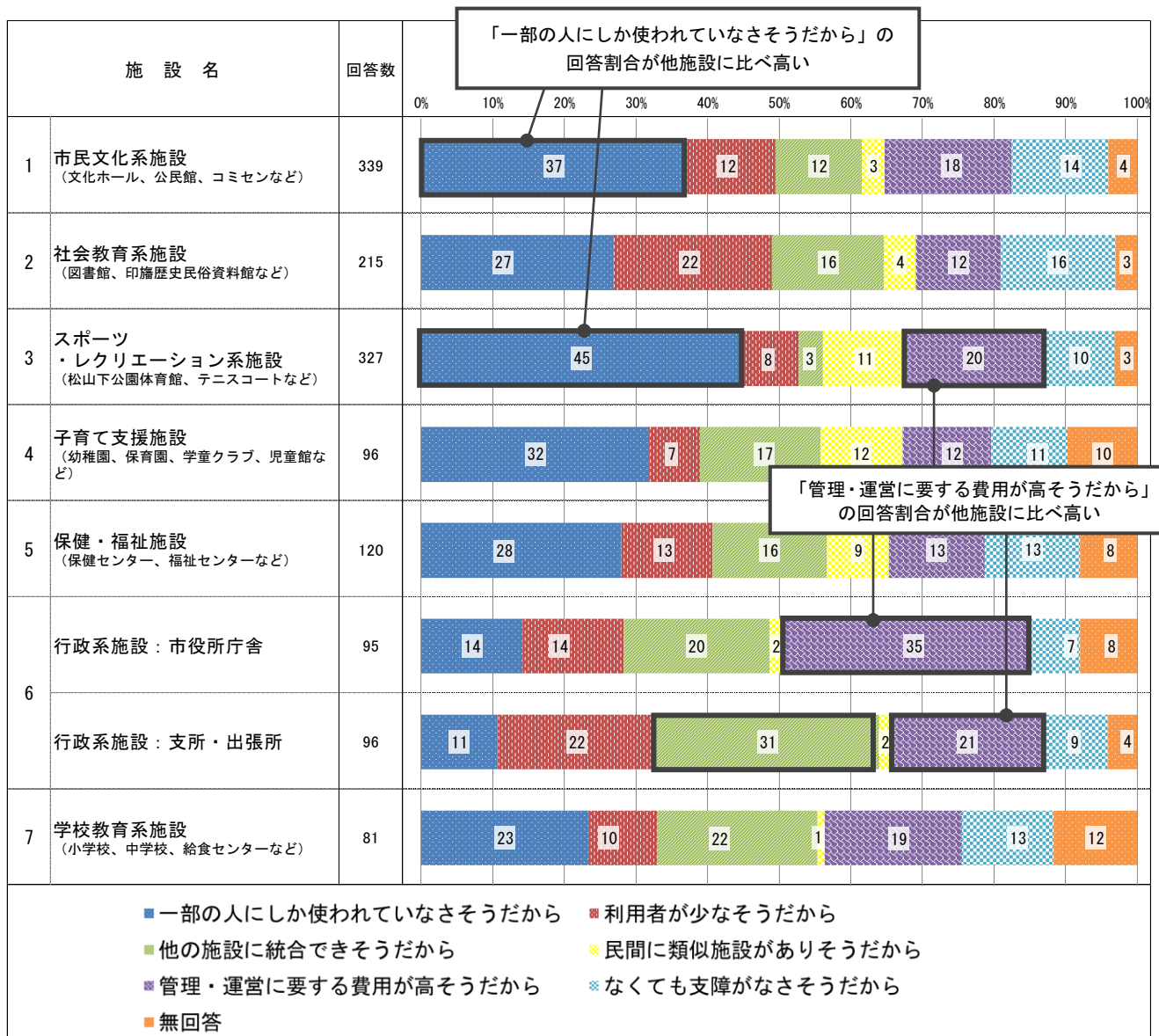
- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられませんが、「男性（59%）」「女性（61%）」とも、「優先度が高い」「どちらかと優先度が高い」の合計割合（以下「優先割合」とする）は、約6割を超えています。
- 年齢別にみると、「70歳以上」を除く年齢層にて、優先割合は5割を超えています。また、「30-39歳（75%）」「40-49歳（70%）」の順で高くなっています。
- 地区別にみると、優先割合はニュータウン地区に比べ、ニュータウン外の地区の方が低い傾向にあります。また、「地区13（71%）」「地区1（68%）」の優先割合は高くなっています。



(8) 問4 公共施設の存続優先度 ②優先度が低い理由

「問4-①優先度」で「どちらかというと優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、「②優先度が低い理由」より、その理由を二つまで選んでください。

- 行政系施設、学校教育系施設を除く施設は「一部のみにしか使われていなさそうだから」の回答割合が高くなっています。
- 社会教育系施設（22%）、行政系施設：支所・出張所（22%）は「利用者が少なそうだから」の回答割合が他施設に比べて高くなっています。
- 行政系施設：市役所庁舎（35%）、支所・出張所（21%）、スポーツ・レクリエーション系施設（20%）では「管理・運営に要する費用が高そうだから」の回答割合が、他施設に比べて高くなっています。
- スポーツ・レクリエーション系施設を除く施設は、「他の施設に統合ができそうだから」の回答割合が高く、特に行政系施設：支所・出張所（31%）が高くなっています。



 は、傾向が顕著な回答を示しています。

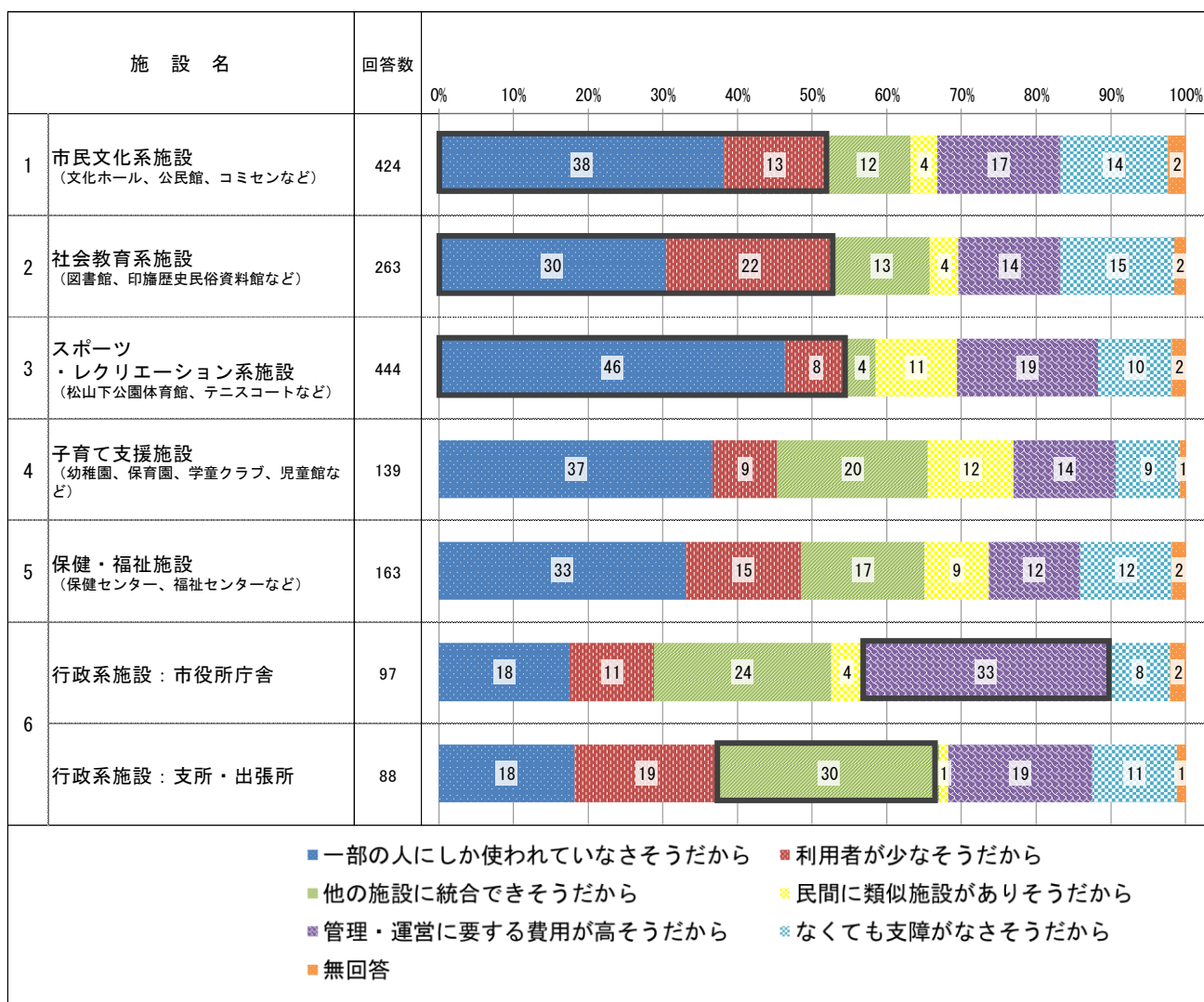
＜施設未利用者※の回答傾向＞

※施設未利用者：問1の公共施設の利用状況で、「過去に利用したことがある」「利用したことがない」を回答された方です。

なお、学校教育系施設については利用状況の設問を設けていないため対象外です。

○行政系施設を除く施設では、「一部の人にしか使われていなさそうだから」が、回答の3割以上を占めています。また、市民文化系施設（51%）、社会教育系施設（52%）、スポーツ・レクリエーション系施設（54%）では、「一部の人にしか使われていなさそうだから」と「利用者が少なそうだから」の合計が、回答の5割を超えています。

○行政系施設：市役所庁舎（33%）では「管理・運営に要する費用が高そうだから」が、行政系施設：支所・出張所（30%）では「他の施設に統合できそうだから」が最も高くなっています。

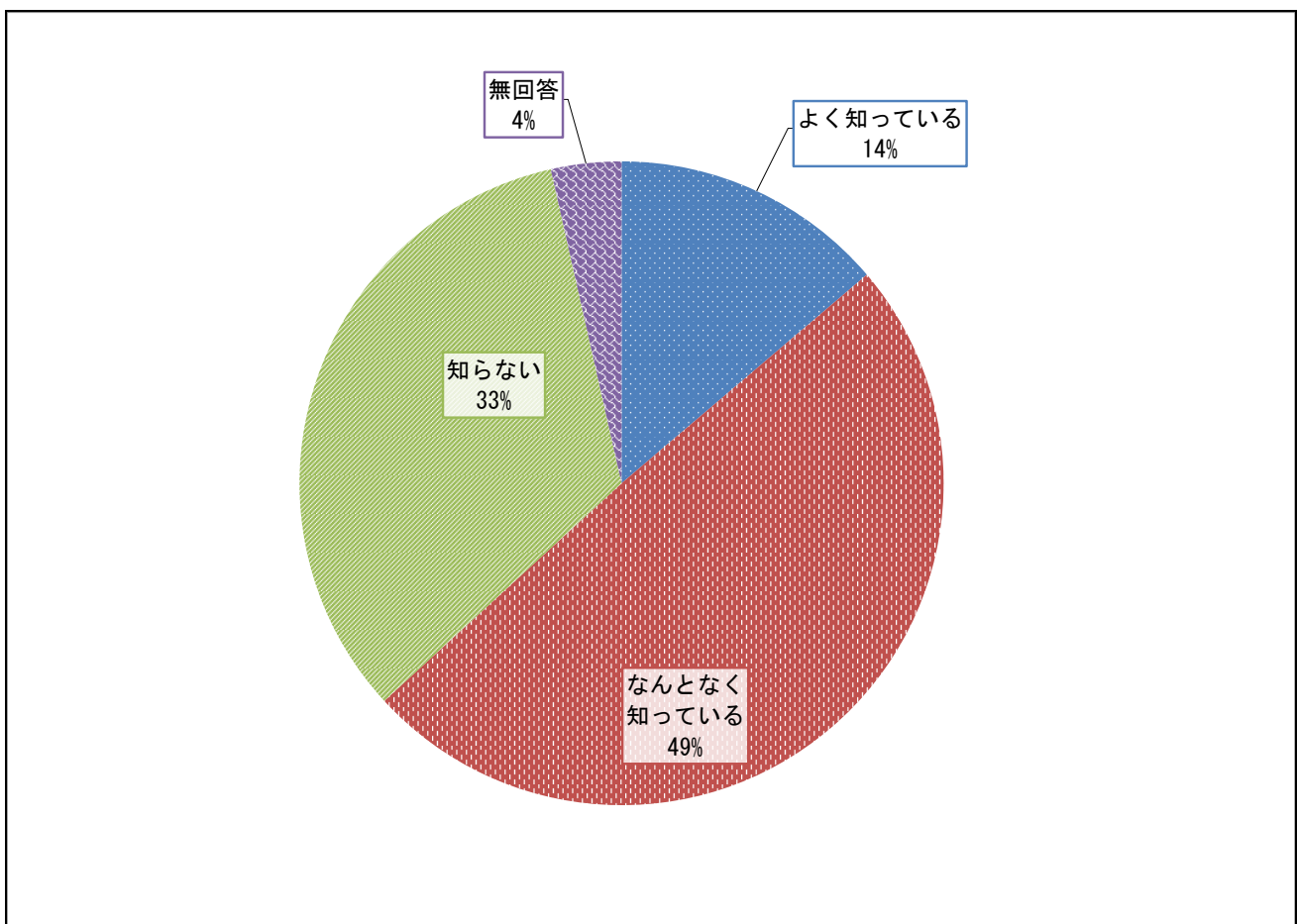


 は、傾向が顕著な回答を示しています。

(9) 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度

印西市の公共施設は、昭和59年以降に建てられたものが多く、老朽化とともに、近い将来一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは全国的な傾向ですが、あなたはこのような状況をご存じでしたか。以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

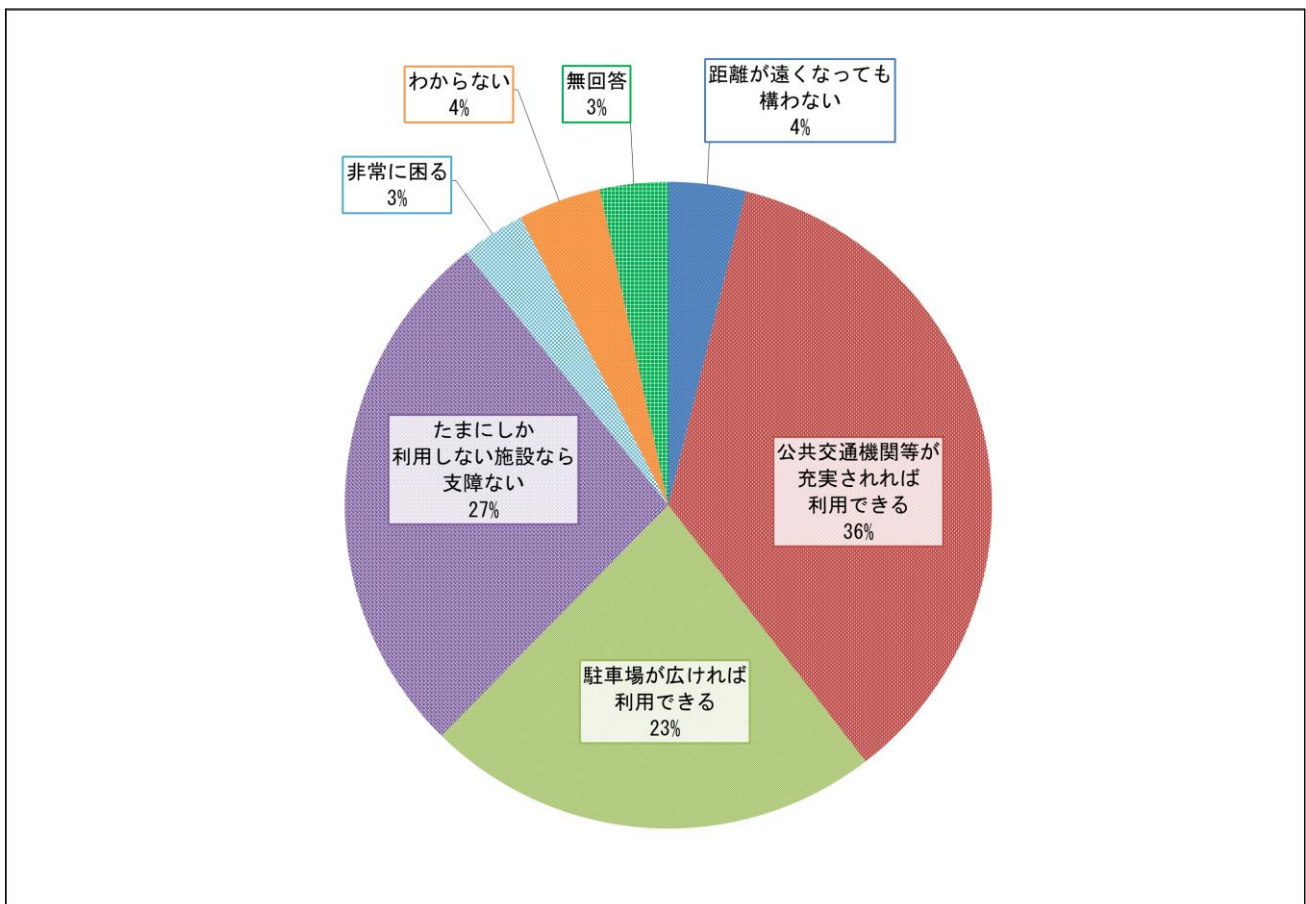
○「なんとなく知っている (49%)」「よく知っている (14%)」の合計が、回答割合の6割台半ばを占めており、多くの方が社会情勢の変化を認知されています。



(11) 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響

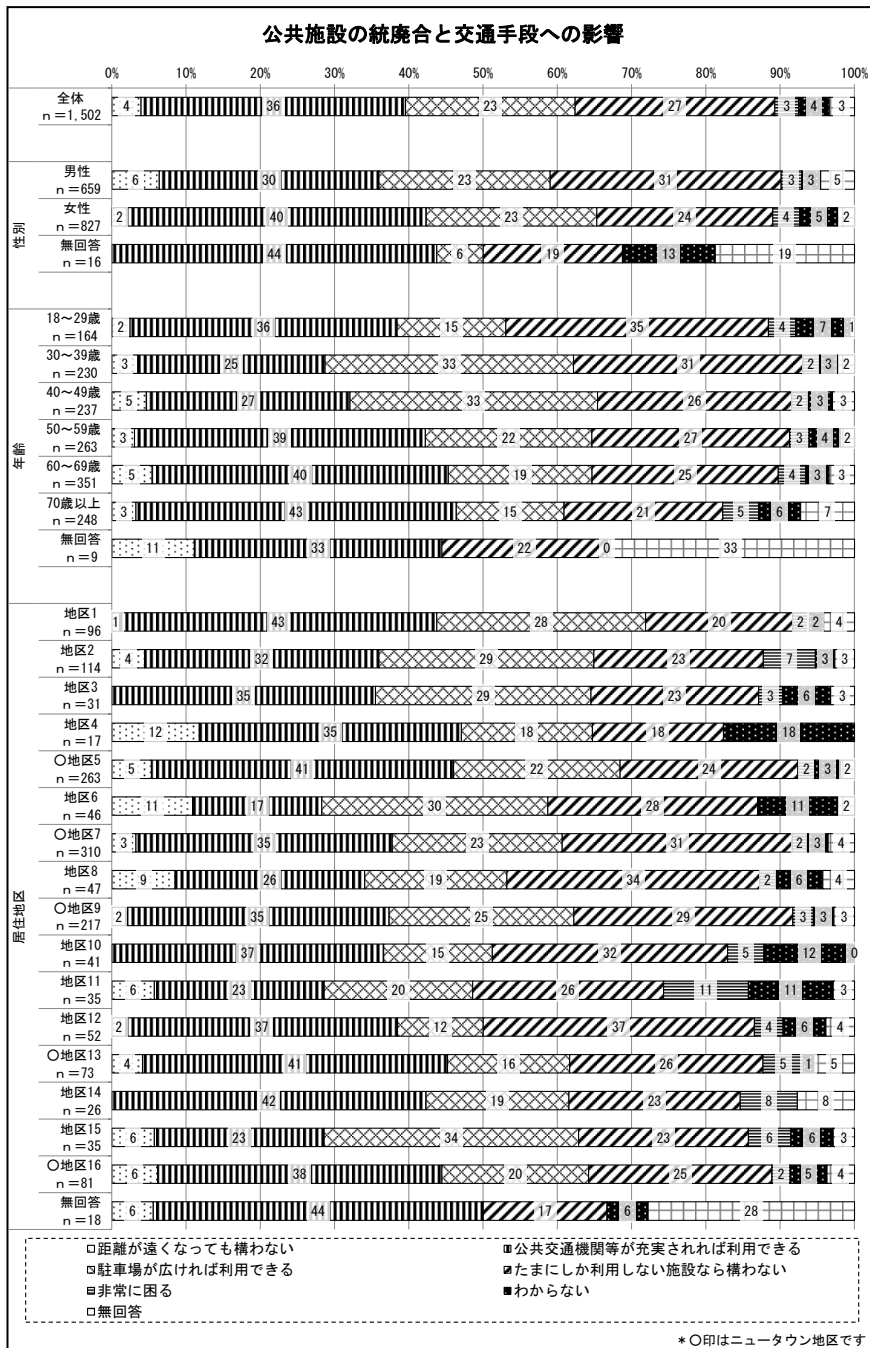
今後、もし公共施設の統廃合を行った場合は、現在より公共施設までの距離が遠くなることも考えられます。その場合、あなたは許容できますか。

- 「公共交通機関等が充実されれば利用できる(36%)」の回答割合が最も高くなっています。次いで、「たまにしか利用しない施設なら支障ない(27%)」「駐車場が広ければ利用できる(23%)」が高くなっています。
- 自由意見において、「非常に困る」理由として、「自動車の運転ができない・いずれできなくなる」と「公共交通機関が無い事」、「公共施設までの距離が遠い事」が挙げられていました。



<属性別の回答傾向>

- 男女別にみると、傾向の差はほとんどみられません。
- 年齢別にみると、「18-29歳」では、「公共交通機関等が充実できれば利用できる（36%）」が最も高くなっています。「30-39歳」では「駐車場が広げれば利用できる（33%）」が最も高く、その後、年齢層が上がるごとに「公共交通機関等が充実できれば利用できる」が増え、「駐車場が広げれば利用できる」が減る傾向になっています。
- 地区別にみると、どの地区でも「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」が多くを占めています。特に「地区1（71%）」では、合計割合が突出して高い傾向にあります。また、ニュータウン地区では「公共交通機関等が充実できれば利用できる」の方が、ニュータウン外の地区では「駐車場が広げれば利用できる」の方が、比較的高い傾向にあります。



(12) 自由意見

自由意見は、565 人の方からご意見がありました。次のように分類し、主なご意見をご紹介します。なお、なるべく原文のまま記載していますが、一部意見の趣旨を損なわない程度に表現を変えて表記している場合があります。

1、公共施設に関するご意見（問6の設問に準じて分類しています。）

①今ある施設を統廃合や機能集約することで、施設全体の数を減らす

統廃合は避けられないのではないかといったご意見がありました。また併せて、単に行うのではなく、施設までの交通手段や建設地への配慮が必要だにご指摘を頂いています。

（ご意見例）

- 施設の中にほとんど利用していない部屋がいくつもあるようだが、建物の数が多かったり、外観が立派でも、それを活用できないのなら意味がないので、施設の建て替えや改修をする際、思い切って減築したり、旧印旛村役場を解体したように施設をなくす。（不明・70歳以上・地区14）
- 今後印西市は老人が増加します。自家用車を手放す家庭も増えてきます。ふれあいバスをもっと充実すべきだと思います。時間帯、本数共に少ないと思います。バスを充実させて公共施設は統廃合し、老朽化施設は減少させていけばいいと思います。ただし、学校教育系施設は減少させず、しっかり改修して、避難場所として確保した方がいいと思います。（女性・50～59歳・地区5）
- 人口分布と公共施設の配置が対応していないため、一部の人がしか使わない施設が多いのではないかと。また人口に対する小学校は他市（白井市、船橋市等）と比較して明らかに過大。統廃合を進めた上で小学校が真に必要な地区（戸神台等）に配置すべき。（男性・30～39歳・地区7）
- 印西、本埜、印旛の1市2村が合併したので、公共施設が非常に多いと思われます。適度に公共施設の数を減らすことが必要であると思います。市税の金額には限りがありますので、もっと必要なところへ手厚く対応する部分があると思います。絶対統廃合は必要であると思います。（男性・30～39歳・地区15）
- 予算は限りあるものなので、統廃合や近隣市町との共有はしかたがないと思う。ただし、施設から遠い方（子ども、高齢者、リスクのある方など）についての配慮は必要だと思う。また民間施設の借り上げ等も視野に入れるのは良いことだと思う。（男性・50～59歳・地区16）

②近隣の自治体と共用できる施設は、市域を超えた利用をすることで、施設全体の数を減らす

近隣都市との共用できる施設を増やし、施設数を減らすことについて賛成のご意見がありました。

特に文化ホール等の施設について市域を超えた利活用のご意見がありました。

一方で、懸念点として、共用には公共交通機関の充実が必要であるとの意見や、市域外の施設を利用する際の利用料について等の意見が併せて寄せられています。

(ご意見例)

○公民館前は近隣に比し非常に充実しており、むしろ市の実力に比し、立派すぎです。ただし、文化ホールは、むしろ手狭です。(むしろ近隣に比し少なすぎる、大イベントの時に定員オーバーが予想される)。他市町と、連携し、お互いに市域を超えた活用・促進を計り、有効に利用すべきだと思われれます。(男性・70歳以上・地区7)

○公共交通機関等を充実すれば、公共の施設を利用することで印西市だけでなく、もっと白井市との共有を考えたい。学校教育と社会教育の施設の活用等、もっと共有する方法論はあると思います。

(女性・70歳以上・地区9)

○市民ホール等は、市ごとにある必要はない。人口が減っていくのであれば、市区町村をまたいで施設の統合をした方が良い。労働力が不足するはずなので、女性が働きやすい環境づくりにお金を使ってほしい。そうすれば自然と税収も増えると思う。(男性・40～49歳・地区2)

○総合福祉センターや本塾ふれあいプラザなどは小さい子どもや高齢者しか(センターは障害者も可だけど)利用できず、近くにあっても利用できない。対象を限定せず、近隣にひとつのようにしてはどうか。(女性・50～59歳・地区16)

○近隣の市との共有できる施設の場合、他の市民が利用するにあたっては使用料金がかかる場合がある。(女性・70歳以上・地区2)

③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用し、コストカットを図る

施設の管理・運営を民間企業へ委託することによって、管理・運営費の削減や経常的な収益が見込まれるのではないかと、といったご意見がありました。

また、空き施設を民間企業へ貸出することや、民間施設を借用して公共サービスを提供すること等によって、相互の施設を有効的に活用できるというご提案も見受けられました。

(ご意見例)

○一箇所で全ての用が足りる様な総合的な施設であれば、少しぐらい距離が遠くなくても構わない。民間のノウハウを取り入れることは必要だと思う。(女性・18～29歳・地区1)

○公共施設の存続が本当に必要か否かを、利用状況やコストを考えた上で存続を検討していただきたいです。公共施設の機能を分散させて民間に委託し、補助金などを出すと施設管理費、人件費が削減できるのではないのでしょうか。(女性・30～39歳・地区13)

○統廃合せずに他の利用価値のあるものは、そのまま利用すれば良いのではと考えています(壊すのにも、お金がかかります)。どうしても、利用者がいなくて負担になるのなら仕方ないですが、空いている施設や部屋は民間に貸し出してはいかがでしょうか？(女性・50～59歳・地区9)

④地域に密着した施設は、町内会などが管理運営することで、市が管理する施設を減らす

公民館等の地域に密着した施設については、利用地域の住民による管理運営を行ってはどうか、というご意見がありました。

また、管理運営にボランティアを活用するというご意見も寄せられています。一方で、管理運営をすることによる、一部住民への負担に対する不満や懸念の声も見受けられました。

(ご意見例)

- 退職された中高年の方たちが公民館やコミセン等で様々な趣味を楽しんでおられます。今後ますます利用者が増えることを考えると駐車場の不足が考えられます。建物の寿命はなるべく伸ばし、管理運営も地元でやりながら駐車場はできるだけ増やして欲しいです。(女性・60～69歳・地区5)
- 利用度、利用者の広がり具合を調べ、限られた利用状況であれば、利用している人たちには申し訳ないが、縮小していくべきでは？もしくは、利用地域の人達による運営管理とすることで残す。(女性・40～49歳・地区5)
- 地域の核となる施設は地域住民の利用頻度により、少額であれ、地域住民が負担して維持する。(男性・60～69歳・地区5)
- 高齢化になりボランティアの方も決まった人たちでやっているのが現実です。コミセンもあれば何かと便利ですが利用者もほとんど決まっていますね。正直高齢者には最高、若者には負担です。この先、財政状況が悪化するのならやめてもらいたいと思うのが本心です。(女性・60～69歳・地区7)

⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばし、更新費用を減らす

施設の統廃合や複合化にともなって新設や建替えを行うのではなく、補修や補強をして、既存の建物を維持していくというご意見がありました。

一方で、避難施設や行政系施設については、今後、施設を修繕することを前提とした建築物として、新設や建替えを行う必要がある、というご意見もありました。

(ご意見例)

- 公共施設は極力少なくすべきだと思います(借金しなくて維持できれば別ですが)。最近体育館をつくったり、立派な駅をつくり替えたりしましたが、本当に必要なのでしょうか。単線のJR駅ではエレベーターだけを設置すれば十分だったと思います。今後増設は一切やめて、老朽化したものは撤去し、使えるものは補修して、歳出を極力少なくなるようお願いします。(男性・70歳以上・地区2)
- 建て替えは最低限にして、補修して継続する。既存の施設を多目的に使用し(曜日ごとに目的を変えるなど)、建物は少なくサービスは最低限継続したい。(男性・50～59歳・地区12)
- 今までの施設で利用価値のあった建物は立て直し、または修繕すべきだと思います。利用価値のなかったものは、つぶすべきですね。(男性・70歳以上・地区7)
- 補強することで安全確保できるものは補強して、一斉に建替えとしないようにする。(女性・30～39歳・地区7)
- 災害時の避難場所は積極的に建替え、修繕を行うべきだ。(男性・50～59歳・地区5)
- 絶対に必要な施設(市役所、出張所等)は修理、修繕しやすい建設物として新設(無論、老朽化するまで使用したうえで)する。(男性・60～69歳・地区5)

⑥施設を減らす代わりに民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対する助成を行う

民間施設の利用に対する助成について賛成のご意見がありましたが、全体として寄せられたご意見は僅かです。

（ご意見例）

○施設を減らして民間施設を利用するのを促進させるための助成は、とても良いことだと思う。

（男性・50～59歳・地区5）

○一部の人しか利用しない施設は使用料金の引き上げ、又は統廃合して民間施設利用に対する助成で良いのでは？（女性・30～39歳・地区7）

⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる。

または、現在無料の施設も、可能な限り有料化し、財源を増やしていく

財源確保および施設の存続のために利用料の徴収や引き上げを行うことについては、賛成あるいは、やむを得ないといったご意見が寄せられています。

一方で、一部の施設では、現在の利用料が高いというご意見もあり、今後、利用料金を設定する際は、一律に引き上げ、あるいは徴収を行うのではなく、施設ごとに利用状況等を把握した上で決定して欲しいとの要望があります。

（ご意見例）

○週に1度～2度サークル活動で公民館を利用させていただいています。私は1人ではなく、サークルのメンバー全員が通える場所ではなくなってしまうと、サークルの存続自体も難しくなってしまうことが考えられるので、料金の値上げをされても施設が無くなってしまふことは避けて欲しいと思います。（女性・50～59歳・地区13）

○なんでも有料化、使用料引き上げというのではなく、受益者負担というか大半の市民が利用するもの、利用する方が限られているものなど、それぞれ分けて料金についての増額等を考えてほしい。

（女性・40～49歳・地区13）

○公共施設は可能な限り全般的に皆が活用できるようにすべきであるが、公平性が保たれないようであれば、活用しない人達に不満が出来るだけ出ないように費用を圧縮、または有料化すべきであると考えます。（男性・30～39歳・地区7）

○財政を考えると仕方がないことは多々あると思いますが、松山下公園の中の体育館などは、いつ見てもガラガラです。料金が高すぎて使用できないのも、問題であると考えます。（女性・60～69歳・地区5）

2、公共交通機関・インフラ資産に関するご意見

①公共交通機関の充実に関するご意見

公共施設への交通手段が少ないとのご意見がありました。

施設の駐車場については手狭である・不足しているといったご意見が多く、特に市民文化系施設、社会教育系施設及び保健・福祉施設では駐車場を拡充してほしい、とのご要望を頂きました。

また、今後、自動車の運転が困難になることを懸念した声が多く見受けられ、高齢者や児童等の交通手段として、コミュニティバスの拡充を求める声が多くありました。

さらに、JRの運行本数の少なさや北総線の運賃の高さに対するご意見もありました。

(ご意見例)

- 今現在も文化ホールで行われているコンサートなど、行ってみたいと思っても、車の運転ができないため、交通手段がないので行けません。千葉ニュータウン中央地区～文化ホールの臨時バスなど出していただけたら、行けると思います。(女性・50～59歳・地区5)
- よく図書館や児童館を利用するのだが、駐車場が狭くて困っている。子ども連れやお年寄りも利用するのだから、少し駐車スペースを広めに、台数がたくさん止められるようにしてほしい(せっかく出向いても車が止められず、あきらめて帰ることもあります)。(女性・30～39歳・地区8)
- 公民館、松山下公園体育館など限られた人しか利用していないと思います。利用するにしても駐車場が限られていたり、車を自分で運転しても近道を通らないと遠かったりして行きづらい。時間はかかってもバスなどの充実を図って、安い料金で便利に印西の中を行き来できるのが良いと思います。少し印西はバラバラで、移動するのが大変ですが、年をとると自動車の運転も危ない気がします。(女性・60～69歳・地区7)
- 住民の生活の充実のために、公共施設の存在は不可欠なものだと思いますが、高齢者など移動手段を持たない人たちが利用できるよう、移動手段を確保することが大切なのではないかと思う。住民の世代を越えた接点をつくり出す場としての重要な場として活用することも、必要となってくるのではないかと思います。(女性・50～59歳・地区1)
- 行政系施設(支所・出張所)は重要。交通機関が充実していないため、利用するにあたり、なくされると書類等などの用事などに困る。市役所庁舎は遠すぎる。(女性・40～49歳・地区11)
- 今はどの施設にも車で行かれますが、高齢になって車が利用できなくなった場合、どの施設に行くにもバスの本数が少なすぎて困ります。公共施設の充実とともに交通面も充実してほしいと思います。(女性・50～59歳・地区2)
- 成人は車を利用すればいいが、子どもやお年寄りは利用できなくなる。その世代こそがよく公共施設を利用すると思う。統廃合が必要なら、無料巡回バスを出すべき。(女性・40～49歳・地区11)
- 今は自分で車を運転して多少離れた場所でも行くことができますが、歳をとると車でなければいけないような場所に公共施設があるのは不便に感じられると思います。北総線は料金が高いですし、バスは1日に4回くらいしか来ません(しかも、乗り継ぎをしなければ目的地にたどり着けません)。公共施設は、誰でも利用できるような場所にあってほしいと思います。(女性・40～49歳・地区13)
- 北総鉄道の運賃引き下げにかかわる実効的な方策を検討してほしい。(男性・30～39歳・地区7)

②道路・公園などのインフラ資産に関するご意見

道路については標識や街灯、道路標示の管理について、ご不満の声が寄せられており、一部の地域では豪雨時に冠水するとのご指摘があります。

公園については利用者のマナーが順守されていないといったご意見が寄せられています。また、遊具の劣化や歩道の不備等のご指摘も寄せられています。さらに、公園については地域によって遊具や公園の数に差があるという、ご不満の声が見受けられました。

(ご意見例)

- 毎日の通学、通勤するものとして、道路標示の整備について管理を強化していただきたいと思えます。中央駅の近辺の横断歩道でも、劣化してもしばらくそのままになっている事を感じます。左折車と接触事故にも会い、危険を感じます(夕～夜)。(男性・50～59歳・地区7)
- 印西市においては、施設のほとんどが千葉ニュータウン牧の原エリア(旧印西市エリア)に集中しており、私ども旧印旛村エリアには合併のメリットは感じられない。さらに2年前の大雨の際には、順大から酒々井駅に抜ける県道および周辺の道路が冠水(橋の付近の水深は最大1.2mほど)して、バスも止まり買い物にも行けず。せめてこのような生活不安を感じさせないように、道路のかさ上げ、整備を行ってほしい。(男性・60～69歳・地区12)
- 道路沿いの街灯が消えているものが多く危ない。(女性・18～29歳・地区13)
- 西部公園を利用しています。芝が綺麗に整備されて使いやすいです。でも、犬の糞が多く落ちていて、困っています。孫などが元気よく遊んでいる時に靴についてしまって困ります。公共の施設をルールを守って使ってほしいです。(女性・60～69歳・地区11)
- 大塚前公園から駅に行く歩道の平板がぐらついて段差もあり、修理してほしい。
(男性・60～69歳・地区5)
- 滝野公園は犬公園です。幼児を遊ばせようと思っても、犬の糞尿が全面にされていてとても困ります。(女性・70歳以上・地区16)
- 牧の原地区の公園の遊具の古さがとても目立つうえ、傷みや幼児に優しい設備ではない(例えばすべり台の階段が広すぎる。段差の間の補強もない)ため、取り換えてほしいです。(女性・40～49歳・地区2)
- 既存のまちには、公園のひとつもないというのが現状で、すごく不満を感じる。子どもがニュータウンには多いから当たり前なのかもしれないが、古くからある町村にも子どもは生まれます。整備されて公園に行くには、ニュータウンや有料の遊技場に出向くしかありません。(女性・70歳以上・地区14)

3.3. 施設分類毎の集計結果

アンケートの対象とした施設分類毎に、交通手段の状況や総合的、長期的な保全・活用方策等を整理し、まとめました。

〈分析の対象〉

◎各施設において、問1①利用頻度について「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」のいずれかを選択した人（＝施設を利用している人）を対象としました。

①施設量

・施設類型毎に問3「①施設数に対する意向」を整理しました。

②主な交通（移動）手段と所要時間

・問2の「①主な移動手段」と「②所要時間」を施設類型毎に集計し、利用者の交通手段毎の時間圏域を整理しました。

③統廃合に伴う代替手段

・問2の「①主な移動手段」のうち、「自転車」「徒歩」を選択した方を対象として、問7の「公共施設までの距離」についての設問とのクロス集計を行い、統廃合により距離が遠くなった場合の影響について整理しました。

④総合的、長期的な保全・活用方策

・問6の総合的、長期的な保全・活用方策における各施策について、「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の全体に対する割合を整理しました。

⑤施設類型毎のサービス内容と優先度の関係

・問3「②サービス内容（満足度）」と問4「①優先度」の回答内容を、下表にもとづき点数化して散布図を作成し、今後の施設の対応方針を整理しました。

〈スコア〉

設問	点数				
	5点	4点	3点	2点	1点
サービス内容	満足	やや満足	どちらとも いけない	やや不満	不満
優先度	優先度が 高い	どちらか という 優先度が高い	どちらとも いけない	どちらか という 優先度が低い	優先度が 低い

<散布図の見方>

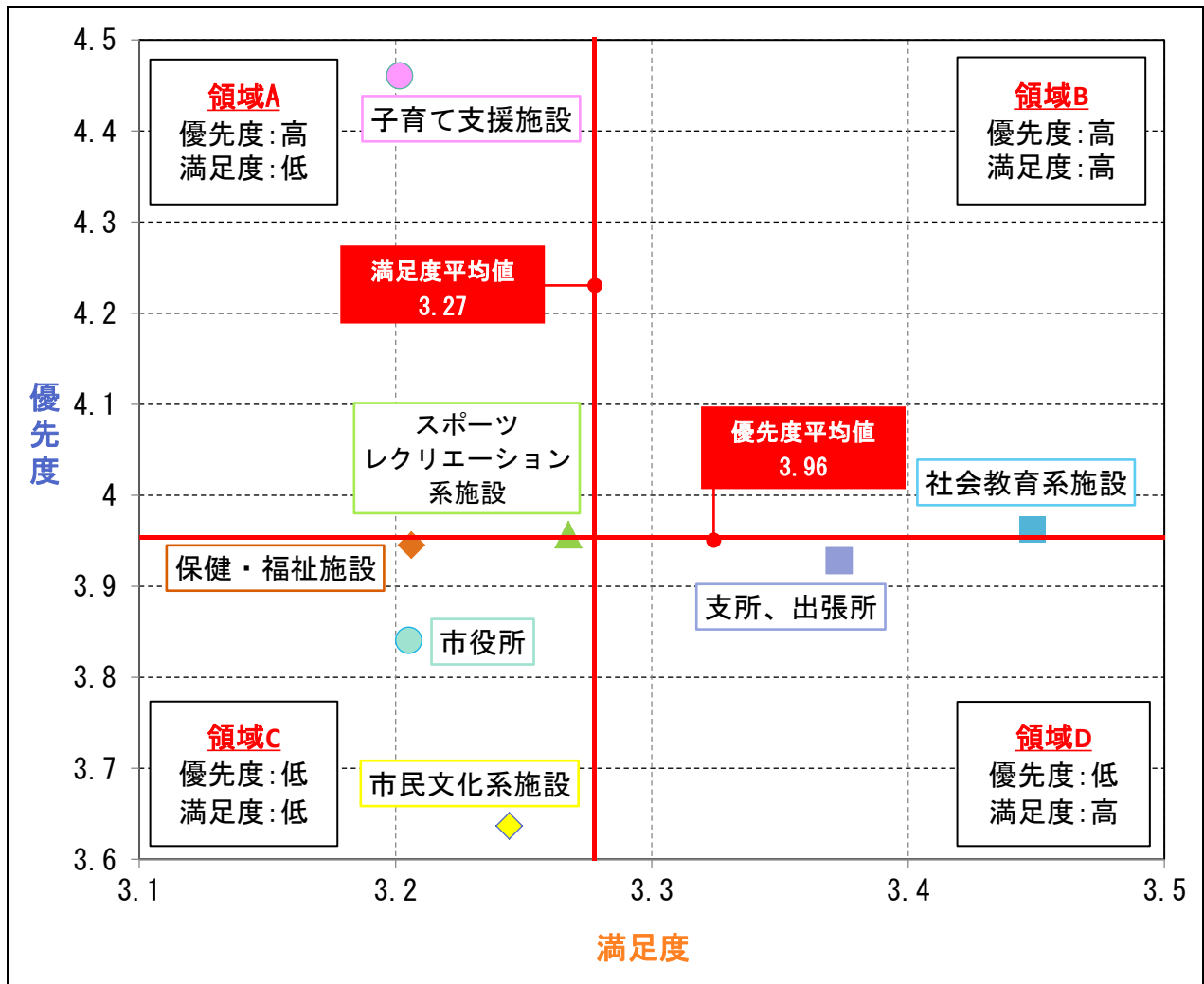
回答者全員が満足又は重要と回答していれば 5.0 となり、逆に全員が不満又は重要でないと回答していれば 1.0 となります。

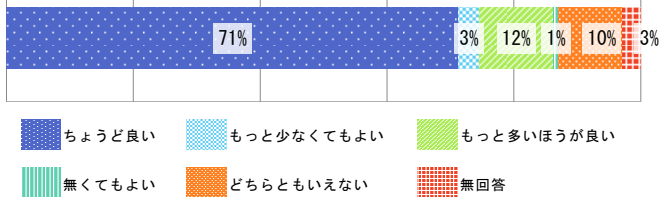
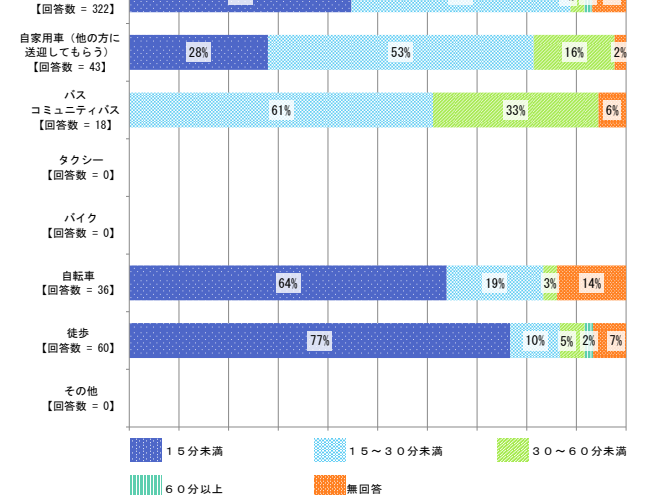
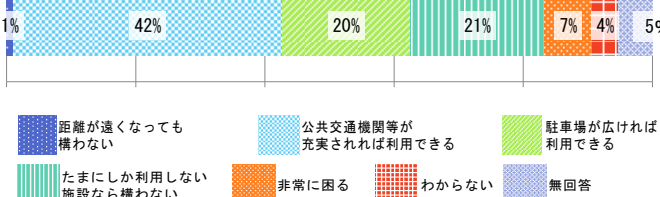
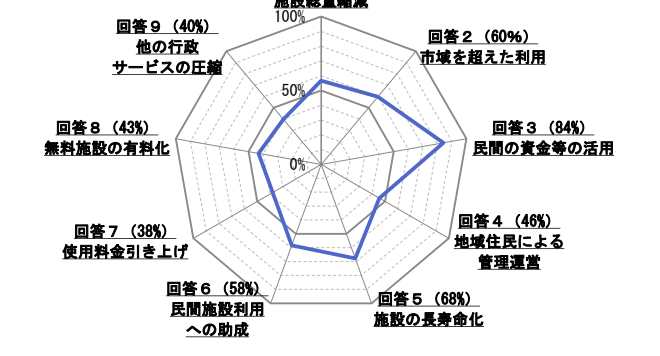
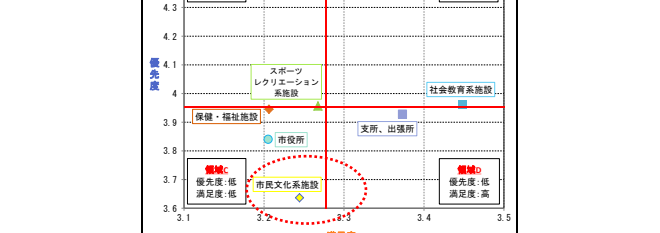
今回の調査結果では、満足度が「3.1～3.5」の間、優先度が「3.6～4.5」の間にそれぞれ分布しており、その範囲は下図に示す通りです。対象とした施設分類については、満足度・優先度とも高く認識されている事が分かりました。

また、施設分類毎の今後の方針を検討するため、平均値を基準に以下の4領域とその対応方針を設定し、施設分類間で相対的に整理しました。

▼領域毎の対応方針

- A：優先度は高いが満足度は低い施設…サービス水準の向上を図る
- B：満足度、優先度ともに高い施設…サービス水準の維持を図る
- C：満足度、優先度ともに低い施設…施設のあり方の見直しを図る
- D：優先度は低いが高満足度は高い施設…サービス水準を維持しつつ、運営方法等の見直しを図る

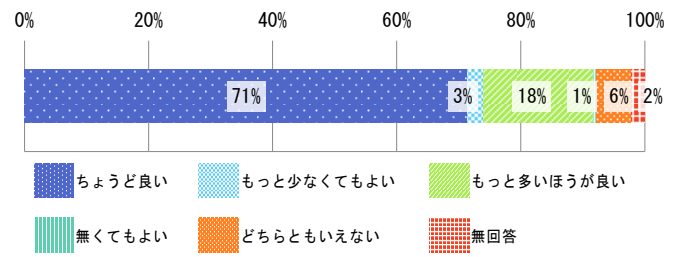


施設分類	市民文化系施設	対象者数	479人
①施設量		0% 20% 40% 60% 80% 100%	
<p>○71%の方が「ちょうど良い」と回答されています。また、12%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。</p>			
②主な交通手段と所要時間		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	
<p>○「自転車」や「徒歩」で来館される方の所要時間は、「15分未満」が6割台半ば以上を占めています。</p> <p>○「自家用車（自分で運転）」で来館される方の所要時間は、「15分未満」もしくは「15～30分未満」がそれぞれ4割台半ばを占めています。</p> <p>○「バス・コミュニティバス」で来館される方の所要時間は、「15～30分未満」が6割を超えています。</p>			
③統廃合による交通手段への影響		0% 20% 40% 60% 80% 100%	
<p>○「距離が遠くなくても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が6割台半ばを占めています。</p>			
④総合的、長期的な保全・活用方策			
<p>○「3：民間ノウハウ・資金活用に関する方策（84%）」が、多くの方の賛同を得ています。次いで「5：施設の長寿命化に関する方策（68%）」となります。</p> <p>○「7：使用料金の引き上げに関する方策（38%）」「9：施設運営費の財源の見直しに関する方策（40%）」については、特に低い結果となっています。</p>			
⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係			
<p>○「満足度も優先度も低い」領域に位置しています。他施設に比べて優先度が最も低く、施設そのもののあり方の見直しが期待されていると言えます。</p>			

施設分類	社会教育系施設	対象者数	706人
-------------	---------	-------------	------

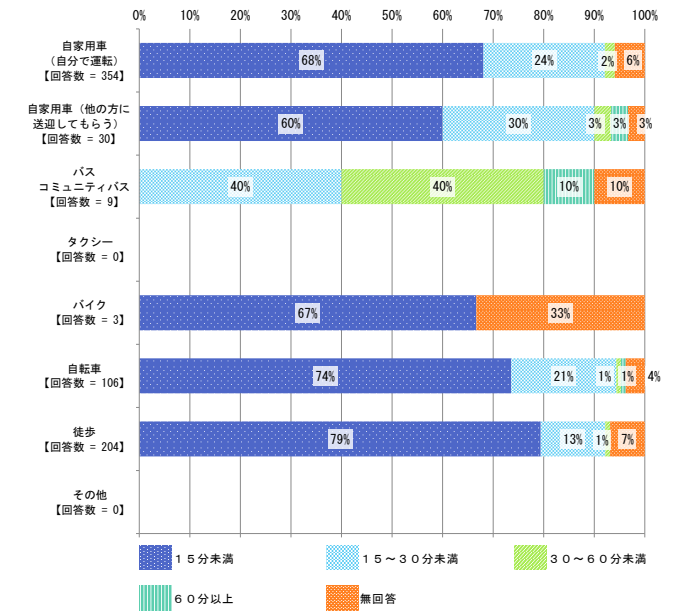
①施設量

○71%の方が「ちょうど良い」と回答されています。
また、18%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。



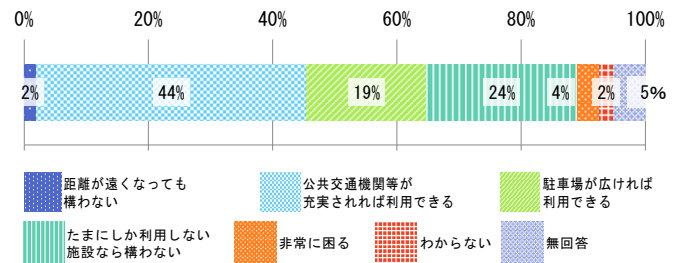
②主な交通手段毎の所要時間

○多くの施設利用者の所要時間は「15分未満」です。
○「バス・コミュニティバス」で来館される方の所要時間は、「15～30分未満」もしくは「30～60分未満」が最も多くを占めています。



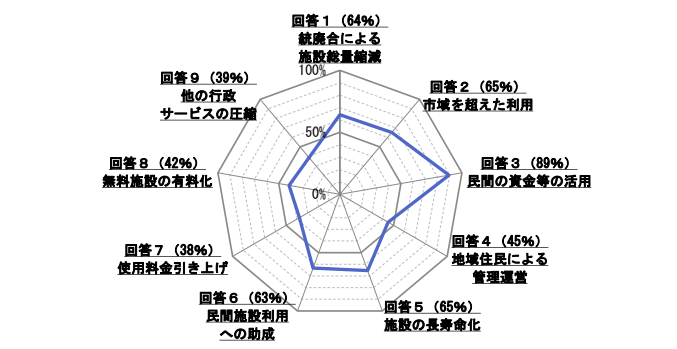
③統廃合による交通手段への影響

○「距離が遠くなっても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」の合計が6割台半ばを超えています。



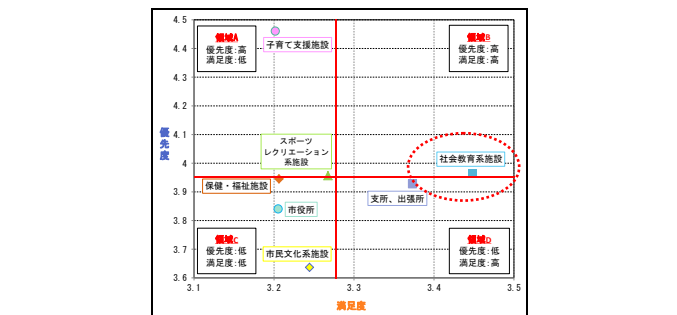
④総合的、長期的な保全・活用方策

○「3：民間ノウハウ・資金活用に関する方策 (89%)」が、最も多くの方の賛同を得ています。
○「7：使用料金の引き上げに関する方策 (38%)」「9：施設運営費の財源の見直しに関する方策 (39%)」については、特に低い結果となっています。



⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係

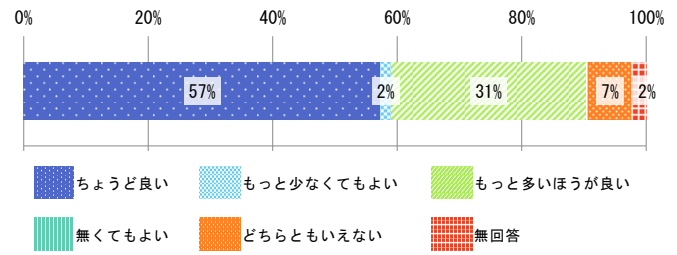
○「満足度も優先度も高い」領域に位置しています。現状のサービス水準を維持する事が期待されると言えます。



施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設	対象者数	617人
-------------	-------------------------	-------------	-------------

①施設量

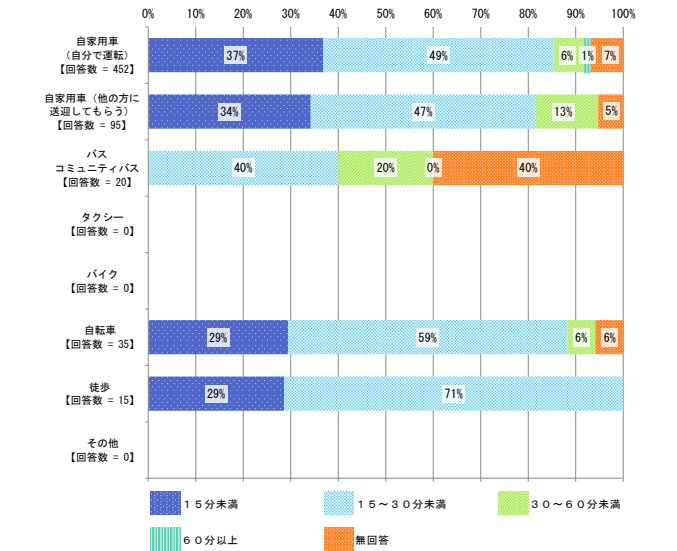
○57%の方が「ちょうど良い」と回答されています。また、31%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。



②主な交通手段毎の所要時間

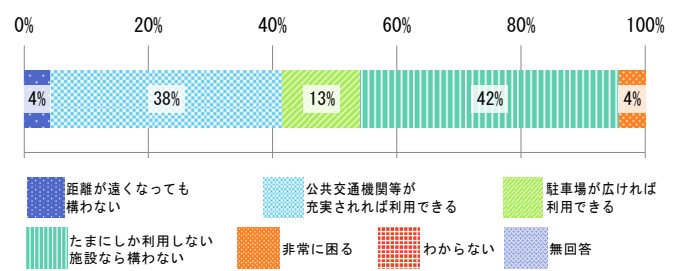
○全ての交通手段にて、施設利用者の所要時間は、「15～30分未満」が最も多くを占めています。「自転車」や「徒歩」の方も、多くが同様の時間を要しています。

○「バス・コミュニティバス」で来館される方の所要時間は、「15～30分未満」が最も多くを占めています。



③統廃合による交通手段への影響

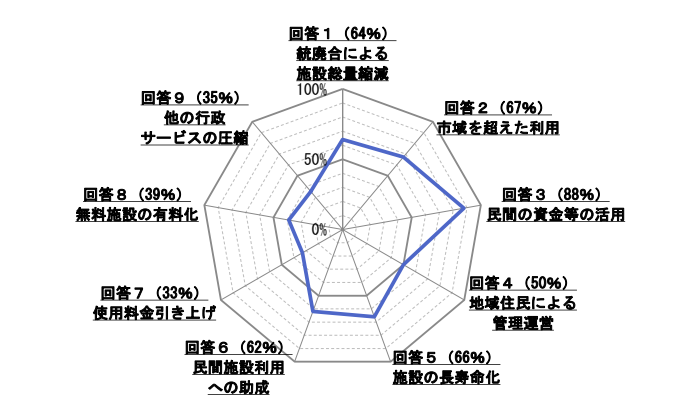
○「距離が遠くなっても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」の合計が5割台半ばを超えています。



④総合的、長期的な保全・活用方策

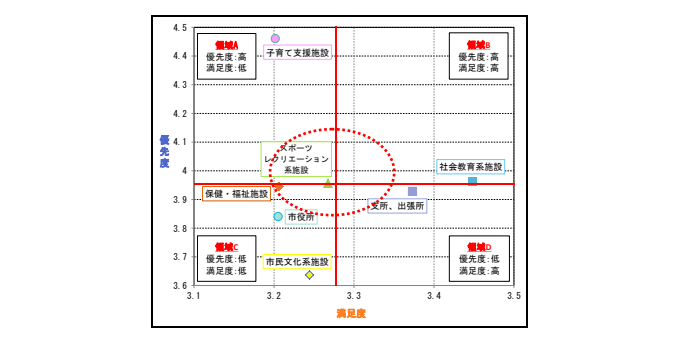
○「3:民間ノウハウ・資金活用に関する方策 (88%)」が、最も多くの方の賛同を得ています。次いで「2:近隣市との施設の共用に関する方策 (67%)」「5:施設の長寿命化に関する方策 (66%)」となります。

○「7:使用料金の引き上げに関する方策の方策 (33%)」「9:施設運営費の財源の見直しに関する方策 (35%)」は、低い結果となっています。



⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係

○「満足度も優先度も低い」領域に位置していますが、ほぼ平均に位置しています。サービス水準の向上を図り、満足度を高めることが期待されると言えます。

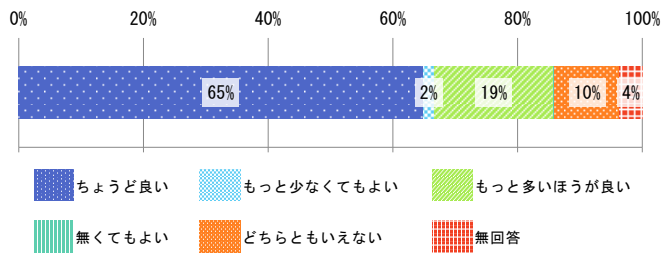


施設分類	子育て支援施設	対象者数	214人																																																						
<p align="center">①施設量</p>																																																									
<p>○50%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。また、40%の方が「ちょうど良い」と回答されています。</p>		<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ちょうど良い</td><td>40%</td></tr> <tr><td>もっと少なくてもよい</td><td>7%</td></tr> <tr><td>もっと多いほうが良い</td><td>50%</td></tr> <tr><td>無くてもよい</td><td>3%</td></tr> </table>		回答	割合	ちょうど良い	40%	もっと少なくてもよい	7%	もっと多いほうが良い	50%	無くてもよい	3%																																												
回答	割合																																																								
ちょうど良い	40%																																																								
もっと少なくてもよい	7%																																																								
もっと多いほうが良い	50%																																																								
無くてもよい	3%																																																								
<p align="center">②主な交通手段毎の所要時間</p>																																																									
<p>○全ての交通手段にて、施設利用者の所要時間は、「15分未満」が最も多くを占めています。「自転車」や「徒歩」の方も、多くが同様の時間を要しています。</p> <p>○「自家用車（他の方に送迎）」と「バス・コミュニティバス」を利用される方の一部は、「30～60分未満」の時間で来館されています。</p>		<table border="1"> <tr><th>交通手段</th><th>15分未満</th><th>15～30分未満</th><th>30～60分未満</th><th>60分以上</th><th>無回答</th></tr> <tr><td>自家用車（自分で運転）</td><td>79%</td><td>13%</td><td>1%</td><td>7%</td><td></td></tr> <tr><td>自家用車（他の方に送迎してもらう）</td><td>75%</td><td></td><td>25%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バス</td><td>40%</td><td>20%</td><td>20%</td><td>20%</td><td></td></tr> <tr><td>タクシー</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>バイク</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>自転車</td><td>76%</td><td>10%</td><td>14%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>徒歩</td><td>86%</td><td>12%</td><td>2%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		交通手段	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	60分以上	無回答	自家用車（自分で運転）	79%	13%	1%	7%		自家用車（他の方に送迎してもらう）	75%		25%			バス	40%	20%	20%	20%		タクシー						バイク						自転車	76%	10%	14%			徒歩	86%	12%	2%			その他					
交通手段	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	60分以上	無回答																																																				
自家用車（自分で運転）	79%	13%	1%	7%																																																					
自家用車（他の方に送迎してもらう）	75%		25%																																																						
バス	40%	20%	20%	20%																																																					
タクシー																																																									
バイク																																																									
自転車	76%	10%	14%																																																						
徒歩	86%	12%	2%																																																						
その他																																																									
<p align="center">③統廃合による交通手段への影響</p>																																																									
<p>○「距離が遠くなっても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」の合計が5割台半ばを超えています。</p>		<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>距離が遠くなっても構わない</td><td>3%</td></tr> <tr><td>公共交通機関等が充実できれば利用できる</td><td>35%</td></tr> <tr><td>駐車場が広げれば利用できる</td><td>17%</td></tr> <tr><td>たまたしかに利用しない施設なら構わない</td><td>37%</td></tr> <tr><td>非常に困る</td><td>1%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>1%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>6%</td></tr> </table>		回答	割合	距離が遠くなっても構わない	3%	公共交通機関等が充実できれば利用できる	35%	駐車場が広げれば利用できる	17%	たまたしかに利用しない施設なら構わない	37%	非常に困る	1%	わからない	1%	無回答	6%																																						
回答	割合																																																								
距離が遠くなっても構わない	3%																																																								
公共交通機関等が充実できれば利用できる	35%																																																								
駐車場が広げれば利用できる	17%																																																								
たまたしかに利用しない施設なら構わない	37%																																																								
非常に困る	1%																																																								
わからない	1%																																																								
無回答	6%																																																								
<p align="center">④総合的、長期的な保全・活用方策</p>																																																									
<p>○「3：民間ノウハウ・資金活用に関する方策（90%）」が、多くの方の賛同を得ています。次いで「2：近隣の市との施設の共用に関する方策（70%）」となります。</p> <p>○「7使用料金の引き上げに関する方策（35%）」「8：施設の有料化に関する方策（38%）」については、低い結果となっています。</p>		<table border="1"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>統廃合による施設総量縮減</td><td>66%</td></tr> <tr><td>市域を超えた利用</td><td>70%</td></tr> <tr><td>民間の資金等の活用</td><td>90%</td></tr> <tr><td>地域住民による管理運営</td><td>48%</td></tr> <tr><td>施設の長寿命化</td><td>55%</td></tr> <tr><td>民間施設利用への助成</td><td>64%</td></tr> <tr><td>使用料金引き上げ</td><td>35%</td></tr> <tr><td>施設の有料化</td><td>38%</td></tr> <tr><td>他の行政サービスの荘縮</td><td>39%</td></tr> </table>		回答	割合	統廃合による施設総量縮減	66%	市域を超えた利用	70%	民間の資金等の活用	90%	地域住民による管理運営	48%	施設の長寿命化	55%	民間施設利用への助成	64%	使用料金引き上げ	35%	施設の有料化	38%	他の行政サービスの荘縮	39%																																		
回答	割合																																																								
統廃合による施設総量縮減	66%																																																								
市域を超えた利用	70%																																																								
民間の資金等の活用	90%																																																								
地域住民による管理運営	48%																																																								
施設の長寿命化	55%																																																								
民間施設利用への助成	64%																																																								
使用料金引き上げ	35%																																																								
施設の有料化	38%																																																								
他の行政サービスの荘縮	39%																																																								
<p align="center">⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係</p>																																																									
<p>○「満足度は低い」が「優先度が高い」領域に位置しています。優先度が最も高いながらも、満足度は他施設より低いため、サービス水準のさらなる向上が期待されていると言えます。</p>		<table border="1"> <tr><th>サービス</th><th>優先度</th><th>満足度</th></tr> <tr><td>子育て支援施設</td><td>4.4</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>スポーツレクリエーション施設</td><td>4.1</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>社会教育系施設</td><td>4.0</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>民間施設利用への助成</td><td>3.9</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>民間文化系施設</td><td>3.7</td><td>3.2</td></tr> </table>		サービス	優先度	満足度	子育て支援施設	4.4	3.2	スポーツレクリエーション施設	4.1	3.2	社会教育系施設	4.0	3.4	民間施設利用への助成	3.9	3.2	民間文化系施設	3.7	3.2																																				
サービス	優先度	満足度																																																							
子育て支援施設	4.4	3.2																																																							
スポーツレクリエーション施設	4.1	3.2																																																							
社会教育系施設	4.0	3.4																																																							
民間施設利用への助成	3.9	3.2																																																							
民間文化系施設	3.7	3.2																																																							

施設分類	保健・福祉施設	対象者数	364人
-------------	---------	-------------	------

①施設量

○65%の方が「ちょうど良い」と回答されています。また、19%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。

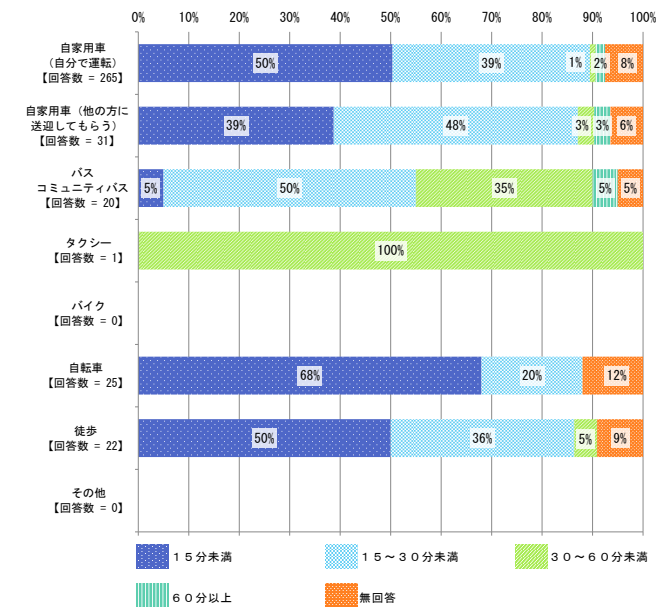


②主な交通手段毎の所要時間

○「自転車」もしくは「徒歩」で来館される方の所要時間は、「15分未満」が最も多くを占めています。

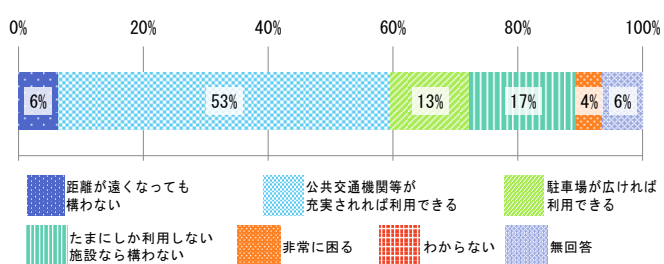
○「自家用車（自分で運転）」で来館される方の所要時間は、「15分未満」が最も多くを占めています。また、「自家用車（他の方に送迎）」の所要時間は「15-30分未満」が最も多くを占めています。

○「バス・コミュニティバス」で来館される方の所要時間は、「15-30分未満」が最も多くを占めています。一部の方は「30-60分未満」の時間を要しています。



③統廃合による交通手段への影響

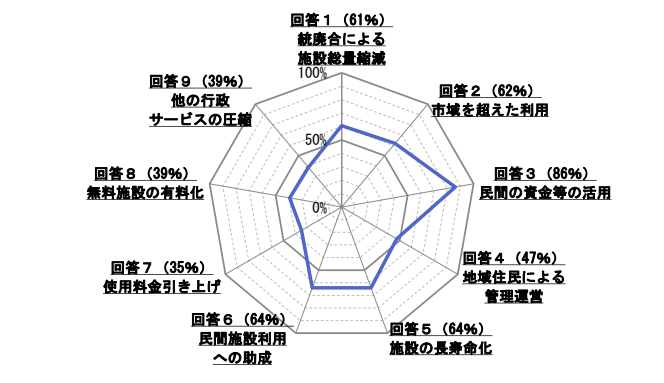
○「距離が遠くなくても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広ければ利用できる」の合計が7割を超えています。



④総合的, 長期的な保全・活用方策

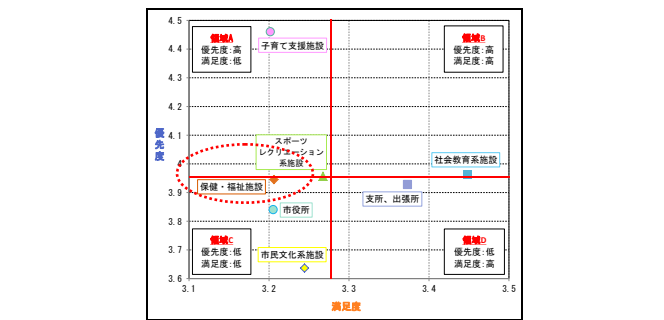
○「3:民間ノウハウ・資金活用に関する方策 (86%)」が、多くの方の賛同を得ています。次いで「5:施設の長寿命化に関する方策 (64%)」「6:民間施設利用への助成に関する方策 (64%)」となります。

○「7:使用料金の引き上げに関する方策 (35%)」については、低い結果となっています。



⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係

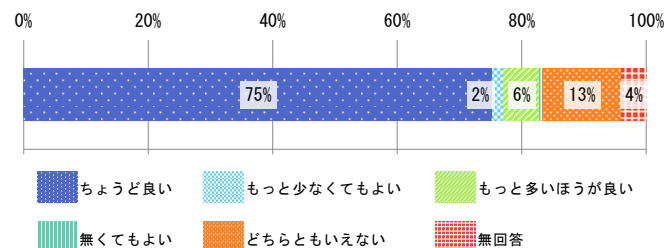
○「満足度も優先度も低い」領域に位置していますが、優先度はほぼ平均に位置しています。満足度が低い場合、サービス水準の向上が期待されると言えます。



施設分類	行政系施設：市役所庁舎	対象者数	543人
-------------	-------------	-------------	------

①施設量

○75%の方が「ちょうど良い」と回答されています。

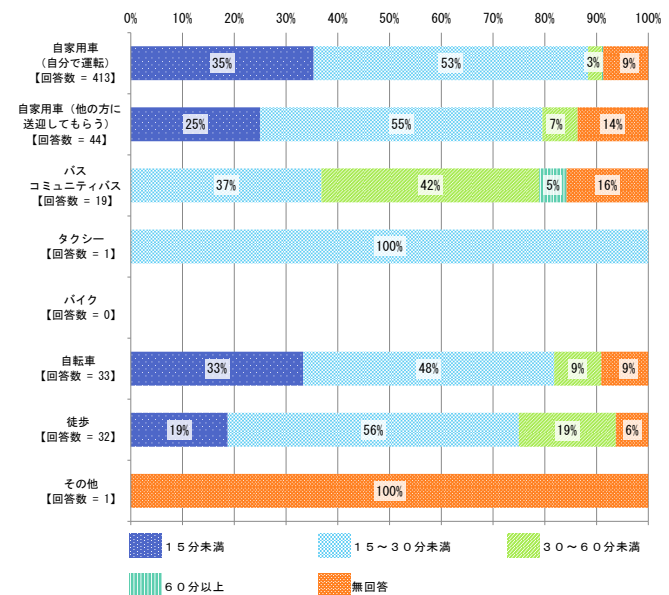


②主な交通手段毎の所要時間

○「バス・コミュニティバス」を除き、施設利用者の所要時間は「15～30分未満」が最も多くを占めています。

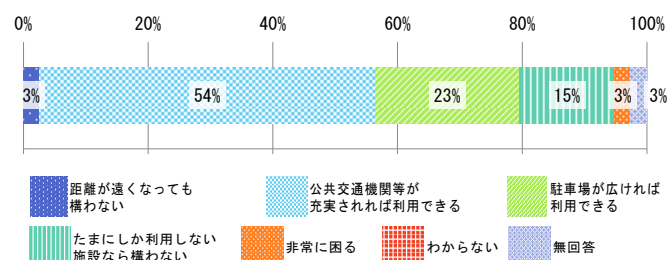
○「自転車」もしくは「徒歩」で来庁される方の内、約2割を超える方が、「15分未満」で来庁されています。

○「バス・コミュニティバス」で来庁される方の内、4割を超える方が、「30-60分未満」で来庁されています。



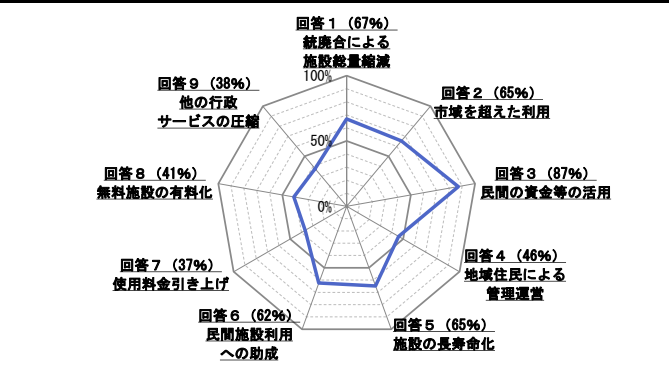
③統廃合による交通手段への影響

○「距離が遠くなっても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」の合計が8割を占めています。



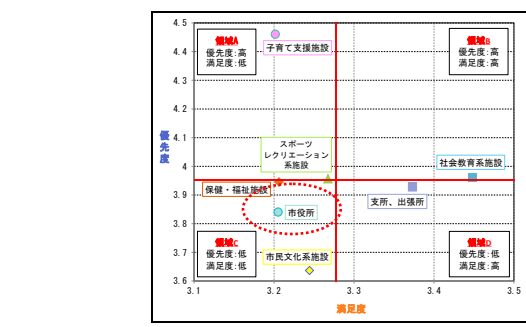
④総合的, 長期的な保全・活用方策

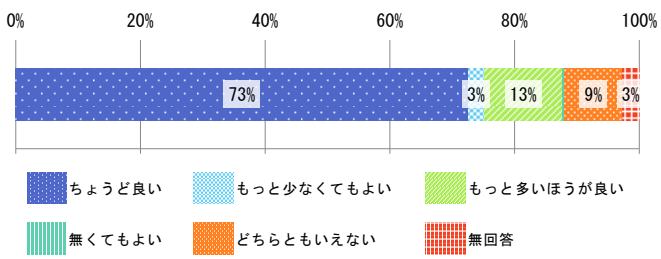
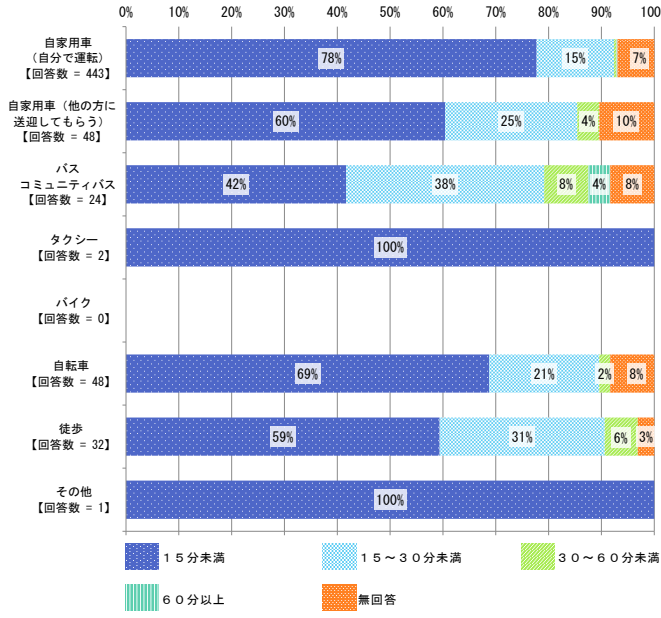
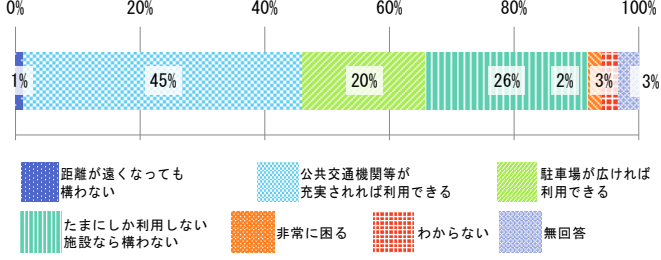
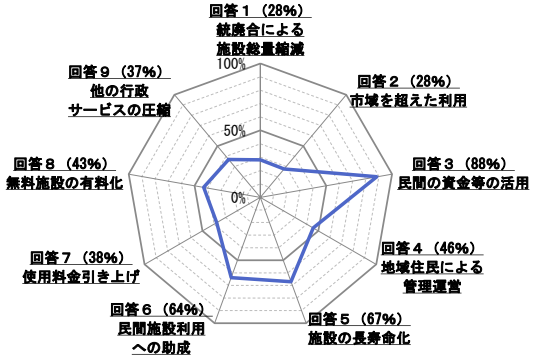
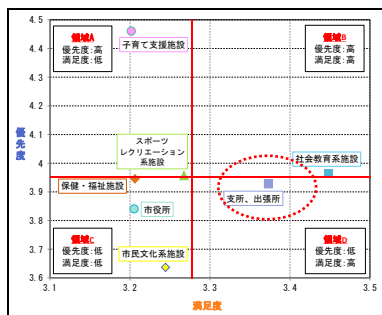
○「3：民間ノウハウ・資金活用に関する方策 (87%)」が、多くの方の賛同を得ています。次いで「1：施設総量削減に関する方策 (67%)」「2：近隣市との施設の共用に関する方策 (65%)」「5：施設の長寿命化に関する方策 (65%)」となります。



⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係

○「満足度も優先度も低い」領域に位置しています。それぞれの向上を図るため、施設そのもののあり方の見直しが期待されていると言えます。



施設分類	行政系施設：支所・出張所	対象者数	598人
①施設量			
<p>○73%の方が「ちょうど良い」と回答されています。また、13%の方が「もっと多いほうが良い」と回答されています。</p>			
②主な交通手段毎の所要時間			
<p>○全ての交通手段にて、施設利用者の所要時間は「15分未満」が最も多くを占めています。</p> <p>○「バス・コミュニティバス」で来館される方の内、約1割の方が「30分以上」の時間を要しています。</p>			
③統廃合による交通手段への影響			
<p>○「距離が遠くなっても構わない」「公共交通機関等が充実できれば利用できる」「駐車場が広げれば利用できる」の合計が6割台半ばとなっています。</p>			
④総合的、長期的な保全・活用方策			
<p>○「3：民間ノウハウ・資金活用に関する方策 (88%)」が、多くの方の賛同を得ています。次いで「5：施設の長寿命化に関する方策 (67%)」となります。</p> <p>○「1：施設総量削減に関する方策 (28%)」「2：近隣市との施設の共用に関する方策 (28%)」については、特に低い結果となっています。</p>			
⑤サービス内容(満足度)と優先度の関係			
<p>○「満足度は高い」が「優先度が低い」領域に位置しています。現状のサービス水準を維持しつつも運営方法等、施設のあり方の見直しが期待されていると言えます。</p>			

4. 資料

4.1. 市民アンケート調査票

印西市の公共施設に関する市民アンケート調査票

◆ 記入にあたってのお願い ◆

- ・ このアンケートは、あて名のご本人がお答えください。
- ・ ご回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んだり、具体的に記述するなど、設問ごとに異なります。指定された方法でご記入ください。
- ・ ご回答で「その他」を選択した場合は、() 内に簡単にその内容をご記入ください。
- ・ 調査は無記名で行いますので、封筒やアンケート用紙にお名前を記入する必要はありません。

◆ アンケートの回収について ◆

- ・ アンケート用紙のご記入がすみましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、12月24日（木）までに、郵便ポストへご投かんください。

◆ 調査対象・目的 ◆

- ・ 調査は、平成27年10月31日現在で市内にお住まいの、満18歳以上の方から、無作為に3,000人を選ばせていただきました。
- ・ 調査は、無記名で行い、集計結果はすべて統計的に処理し、今後の検討の基礎資料とすることを目的としていますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

【 アンケートに関する問い合わせ先 】

印西市 総務部 行政管理課 行政管理班（内線491・493）

電話：0476（42）5111 / FAX：0476（42）7242

＜普段から利用されている公共施設の利用状況についておたずねします＞

【問1】 あなたは、下表に示す普段利用されと思われる公共施設をどのくらい利用していますか。
 対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選び、番号に○をつけてください。「①利用頻度」で「過去に利用したことがある」又は「利用したことがない」を選択した場合は、②利用しない理由よりその理由を選んで、番号に○をつけてください。（複数可）

対象施設	①利用頻度 (○は一つ)					②利用しない理由 (○はいくつでも)							
	よく利用している(週一回以上)	たまに利用している(月数回程度)	ごくたまに利用している(年数回程度)	過去に利用したことがある ↓この場合は②へ	利用したことがない ↓この場合は②へ	場所が不便で行きにくい	利用できる時間が合わない	施設が存在自体を知らない	サービスの内容を知らない	利用する必要がない	設備や利用料金に不満がある	他市の類似施設を利用するため	民間の類似施設を利用するため
※以下の1～6の施設ごとに、 右側の①・②についてお答えください。													
(記入例) ○○○○施設	→ 1	2	3	4	5	①	2	③	4	5	6	7	8
1 市民文化系施設 (文化ホール、公民館、コミセンなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
2 社会教育系施設 (図書館、印旛歴史民俗資料館など)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
3 スポーツ・レクリエーション系施設 (松山下公園体育館、テニスコートなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
4 子育て支援施設 (幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館など)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
5 保健・福祉施設 (保健センター、福祉センターなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
6 行政系施設：市役所庁舎	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
行政系施設：支所、出張所	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			

【問2】 あなたは、これまで下表に示す公共施設を利用されたとき、主にどの交通（移動）手段を使われましたか。また、その場合の所要時間はどれぐらいでしたか。対象施設ごとに、①主な交通（移動）手段と②所要時間を、一つずつ選び、番号に○をつけてください。

なお、①で「利用しない（したことがない）」を選択した場合は、②の所要時間の記入は不要です。

対象施設	①主な交通(移動)手段 (○は一つ)									②所要時間 (○は一つ)			
	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (他の方に送迎してもらう)	バス・ コミュニティバス	タクシー	バイク	自転車	徒歩	その他 (記入下さい)	利用しない (したことがない)	15分未満	15分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分以上
※以下の1～6の施設ごとに、 右側の①・②についてお答えください。													
(記入例) ○○○○施設	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
1 市民文化系施設 (文化ホール、公民館、コミセンなど)	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
2 社会教育系施設 (図書館、印旛歴史民俗資料館など)	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
3 スポーツ・レクリエーション系施設 (松山下公園体育館、テニスコートなど)	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
4 子育て支援施設 (幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館など)	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
5 保健・福祉施設 (保健センター、福祉センターなど)	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
6 行政系施設：市役所庁舎	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
行政系施設：支所、出張所	→ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4

＜あなたが考える公共施設の満足度や優先度についておたずねします＞

【問3】 あなたは、下表に示す公共施設の数やサービス水準に満足していますか。
対象施設ごとにあなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

対象施設	①施設数					②サービス内容					
	ちよつど良い	もつと少なくてもよい	もつと多い方がよい	無くてもよい	どちらともいえない	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらともいえない	
※以下の1～7の施設ごとに、 右側の①・②についてお答えください。											
(記入例) ○○○○施設	➔ ①	2	3	4	5	1	②	3	4	5	
1 市民文化系施設 (文化ホール、公民館、コミセンなど)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 社会教育系施設 (図書館、印旛歴史民俗資料館など)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 スポーツ・レクリエーション系施設 (松山下公園体育館、テニスコートなど)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 子育て支援施設 (幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館など)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 保健・福祉施設 (保健センター、福祉センターなど)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 行政系施設：市役所庁舎	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政系施設：支所、出張所	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 学校教育系施設 (小学校、中学校、給食センターなど)	➔	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【問4】 あなたは、印西市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

なお、①で「どちらかというと優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、②優先度が低い理由より、その理由を二つまで選び、番号に○をつけてください。

対象施設	①優先度 (○は一つ)					②優先度が低い理由 (○は二つまで)					
	優先度が高い	どちらかという と優先度が高い	どちらとも いえない	どちらかという と優先度が低い ↓この場合は②へ	優先度が低い ↓この場合は②へ	一部の 人にしか 使われて いない	利用者 が少な そうだから	他の施設 に統合 できそう だから	民間に 類似施設 があり そうだから	管理・運 営に要 する費用 が高そう だから	なくとも 支障が なさそう だから
※以下の1～7の施設ごとに、 右側の①・②についてお答えください。											
(記入例) ○○○○施設	→ 1	2	3	4	⑤	1	2	③	4	⑤	6
1 市民文化系施設 (文化ホール、公民館、コミセンなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
2 社会教育系施設 (図書館、印旛歴史民俗資料館など)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
3 スポーツ・レクリエーション系施設 (松山下公園体育館、テニスコートなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
4 子育て支援施設 (幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館など)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
5 保健・福祉施設 (保健センター、福祉センターなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
6 行政系施設：市役所庁舎	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
行政系施設：支所、出張所	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
7 学校教育系施設 (小学校、中学校、給食センターなど)	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

<今後の公共施設のあり方についておたずねします>

【問5】 印西市の公共施設は、昭和59年以降に建てられたものが多く、老朽化とともに、近い将来一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは、全国的な傾向ですが、あなたは、このような状況をご存じでしたか。以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

1 よく知っている	2 なんとなく知っている	3 知らない
-----------	--------------	--------

【問6】 将来も安全で使いやすい施設を提供していくためには、公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策を検討していく必要があります。下表の方策はその一例ですが、あなたは、各方策についてどのように考えますか。

それぞれの方策ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策例	方策の実施 (○は一つ)			
	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
※以下の1～9の方策例ごとにお答えください。				
(記入例) ○○○○の方策	→ 1	②	3	4
1 今ある施設を統廃合や機能集約することで、施設(建物)全体の数を減らす。	→ 1	2	3	4
2 近隣の市と共用できる施設は、市域を越えた利用をすることで、施設全体の数を減らす。	→ 1	2	3	4
3 施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用し、コストカットを図る。	→ 1	2	3	4
4 地域に密着した施設は、町内会などが管理運営することで、市が管理する施設を減らす。	→ 1	2	3	4
5 建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばし、更新費用を減らす。	→ 1	2	3	4
6 施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う。	→ 1	2	3	4
7 現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる。	→ 1	2	3	4
8 現在無料の施設も、可能な限り有料化し、財源を増やしていく。	→ 1	2	3	4
9 他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する。	→ 1	2	3	4

※注 統廃合：公共施設の統合と廃止。施設や機能などを廃止したり、統合したりすることです。

【問7】 今後、もし公共施設の統廃合を行った場合は、現在より公共施設までの距離が遠くなることも考えられます。その場合、あなたはどのような方法なら、統廃合を行っても公共施設を利用できると考えますか。

以下の中から、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 距離が遠くなっても構わない
- 2 公共交通機関等が充実できれば利用できる
- 3 駐車場が広ければ利用できる
- 4 たまにしか利用しない施設なら構わない
- 5 非常に困る（⇒困る理由を自由意見に記載してください。）
- 6 わからない

※注 統廃合：公共施設の統合と廃止。施設や機能などを廃止したり、統合したりすることです。

<自由意見>

今後の公共施設のあり方に関して、ご意見、ご要望、アイデアなどがありましたらお聞かせください。

<あなた自身についておたずねします>

あなたに該当する内容を選び、番号に○をつけてください。

- ① あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 男性	2 女性
------	------

- ② あなたの年齢はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 18～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～69歳	6 70歳以上

- ③ あなたの家族構成はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 ひとり暮らし(単身世帯)	2 夫婦のみ	3 親と子(2世代)
4 親と子と孫(3世代以上)	5 その他	

- ④ あなたがお住まいの地区はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

-	地区名
1	木下、木下南一～二丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東一～四丁目、平岡
2	小林、小林北一～六丁目、小林浅間一～三丁目、小林大門下一～三丁目
3	大森、鹿黒、鹿黒南一～五丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前
4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
5	小倉台一～四丁目、大塚一～三丁目、牧の木戸一丁目、木刈一～七丁目、中央北一～三丁目
6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一～二丁目、結縁寺、多々羅田
7	内野一～三丁目、原山一～三丁目、高花一～六丁目、戸神台一～二丁目、中央南一～二丁目、武西学園台一～三丁目
8	草深、泉
9	西の原一～五丁目、原一～四丁目、東の原一～三丁目、牧の原一～六丁目
10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫
11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田
12	平賀、平賀学園台一～三丁目
13	美瀬一～二丁目、若萩一～四丁目、舞姫一～三丁目
14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木
15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直卜杭、安食卜杭、将監、本埜小林
16	滝野一～七丁目

4.2. 市民アンケート依頼資料

～この資料をご覧になってから、同封のアンケートにお答えください～

印西市の公共施設に関する市民アンケートへのお願い ～ みなさんのご意見をお聞かせください ～

日ごろから、市政にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、本市では、これまで、市民の皆様のニーズに対応した公共サービスを提供するため、様々な公共施設を建設してまいりました。

しかし近い将来、本市も少子高齢化を迎え、税収が減少する一方で、社会保障費などの支出が増加する見込みであり、財政状況の悪化が予想されます。また、公共サービスのニーズの変化や公共施設の老朽化などから、公共施設の建て替えや大規模な改修が必要となり、これらに要する多額の費用が、大きな負担となることが確実です。

そのため、本市では、昨年度より、総合的・長期的な視点を持って、適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための方策を検討し始めました。

そこでこの度、将来を見据えた公共施設のあり方、効率的な維持管理・運営について市民の皆様と一緒に考えていくため、「印西市の公共施設に関する市民アンケート」を実施することにいたしました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本アンケートにご協力をいただきますよう、お願いいたします。

平成27年12月 印西市長 板倉 正直

【 アンケートに関する問い合わせ先 】

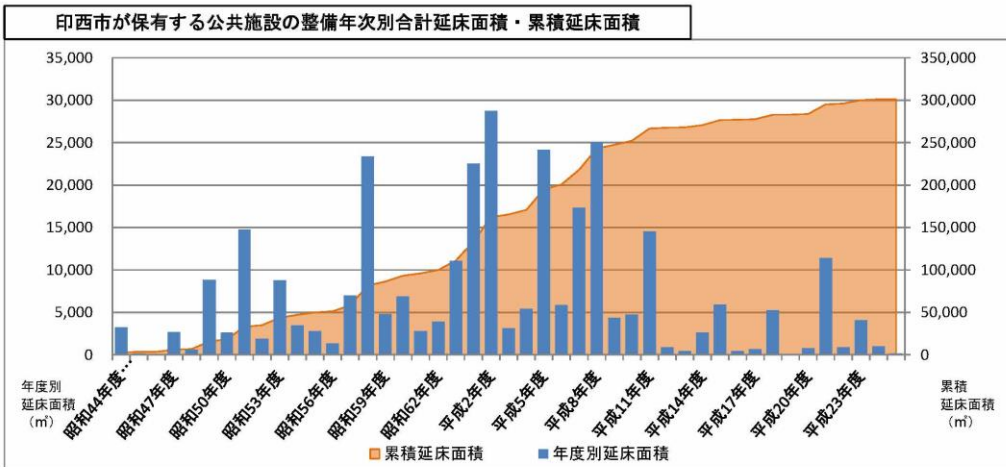
印西市 総務部 行政管理課 行政管理班（内線491・493）

電話：0476（42）5111 / FAX：0476（42）7242

～ 印西市の公共施設の現状と将来の見込みについて ～

1. 公共施設の整備年次別延床面積・累積延床面積

印西市が保有する公共施設の延床面積合計約30万㎡のうち、多くが昭和59年以降に整備されています。

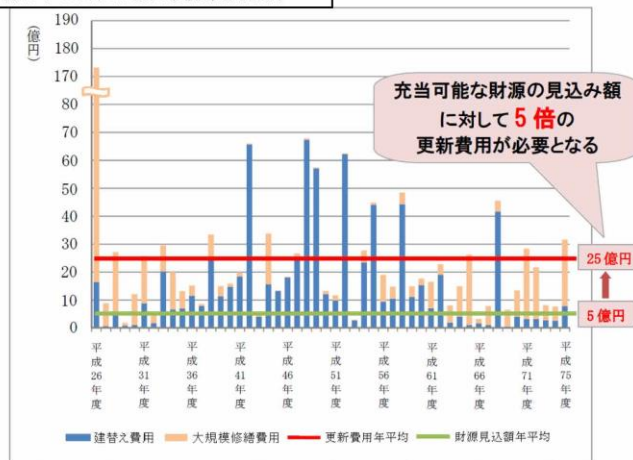


※出典：印西市（平成27年3月）「市有建築物の現況調査業務報告書」

2. 公共施設の将来の更新費用（試算）

印西市が保有する公共施設を今後50年間このまま更新（建替え及び大規模修繕）するという前提で必要となる費用を試算した結果、**約1,253億円**（1年あたりの平均で**約25億円**）になることがわかりました。印西市が平成24・25年度に公共施設の更新に支出している費用は**年間平均費用約5億円**であることから、**約5倍**の費用が必要となる計算であり、大きな財政負担となることが確実です。

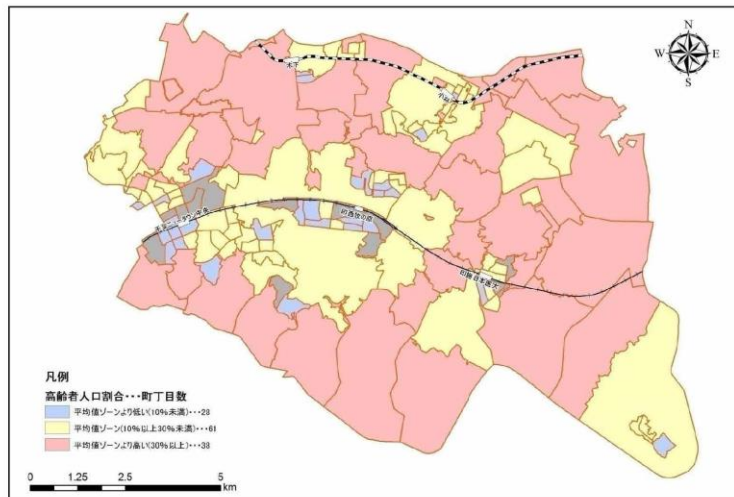
印西市が保有する公共施設の更新費用推計



※出典：印西市（平成27年3月）「市有建築物の現況調査業務報告書」

3. 印西市の人口分布

印西市の人口は、**年少人口はニュータウン地区に、高齢者人口はそれら以外の場所に集中**しています。今後、少子高齢化を迎えるにあたり、**人口構造**に合わせた公共施設の配置や機能などの見直しが必要となることが予測されます。



※出典：印西市（平成 27 年 3 月）「市有建築物の現況調査業務報告書」

4. 主な施設分類と対象施設

下表は別添のアンケートをご回答いただく際の施設例です。（ ）内は印西市が所有する施設の数です。

施設分類	施設例
1 市民文化系施設	文化ホール(1)、公民館(5)、地域交流館(2)、コミュニティセンター(4)、集会所(3)、地区構造改善センター(13)、青年館(9) など
2 社会教育系施設	図書館(6)、医科器械歴史資料館(1)、印旛歴史民俗資料館(1)
3 スポーツ・レクリエーション系施設	松山下公園体育館(1)、テニスコート(8)、野球場(5) など
4 子育て支援施設	幼稚園(3)、保育園(7)、学童クラブ(22)、児童館(2)、子育て支援センター(2)、子どもふれあいセンター(1) など
5 保健・福祉施設	保健センター(4)、福祉センター(5)、高齢者就労支援センター(1) など
6 行政系施設	印西市役所(1)、支所(2)、出張所(7)
7 学校教育系施設	小学校(21)、中学校(9)、給食センター(5)、教育センター(1)